

ごみ処理基本計画策定に係る
市民及び事業所意識調査結果

平成 26 年 6 月
堺 市

目 次

第1章 意識調査の概要

1. 意識調査の実施概要	1
2. 市民用調査票	2
3. 事業所用調査票	13
4. 協力依頼はがき	26

第2章 市民意識調査結果

1. 現在のごみ排出、減量、リサイクルへの取り組みについて	27
2. 現在の市の取り組みについて	46
3. ごみ処理について	52
4. 今後のごみ行政について	57

第3章 事業所意識調査結果

1. ごみの排出と処理・リサイクル状況について	62
2. ごみ減量・リサイクルについて	85
3. 市のごみ行政について	98
4. 今後のごみ処理行政について	102

第 1 章 意識調査の概要

1. 意識調査の実施概要

(1) 調査の趣旨

現行計画である「第二次堺市一般廃棄物処理基本計画※」が目標年度(平成27年度)を控えていることから、次期(第三次)計画の策定に向けて、これまでの減量化・資源化施策に対する検証や新たな施策等の検討のための基礎資料とすることを目的として実施した。

※廃棄物処理法に基づき、市が長期的な視点に立って、ごみの発生抑制及び適正処理等に関する基本的事項を定めた計画

(2) 調査対象

- 市民調査：市内在住20歳以上の個人2,000人
(区別人口、性別比を勘案した無作為抽出)
- 事業所調査：市内の事業所2,000社
(業種や従業員数を考慮した無作為抽出)

(3) 調査方法・期間

郵送法

平成26年1月9日(調査票送付)～31日(回答期限)
(期間中に全調査対象者へ協力依頼はがきを送付)

(4) 回収状況

- 市民調査：最終回答件数…1,030票(回収率51.6%)
- 事業所調査：最終回答件数…813票(回収率40.7%)

2. 市民用調査票

(1) アンケート依頼文（市民）



堺市ごみ減量マスコット
キャラクター「ふーやん」

ごみに関するアンケート調査への ご協力をお願い

～ 堺市からのアンケート調査です ～

アンケート調査をお願いする市民の皆様へ

平素は、本市の環境行政にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。
さて本市では、ごみの減量化、資源化及び適正処理に関する長期計画である
「第三次堺市一般廃棄物処理基本計画」（以下、「第三次ごみ処理計画」）の策定
のため、市民の皆様の減量行動や考えを把握したいと考えております。
ご多忙のこととは存じますが、十分な調査結果を得るためには多くの皆様
の回答が必要ですので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成26年1月

堺 市

■調査のあつかい

1. 本アンケートは、市民の皆様の中から、**無作為で2,000名の方**にお送りしています。
2. **無記名**でお答えいただきますので、**どなたのお答えかは、わからない**ようになっています。
統計的（「〇〇」と答えた人は△△%でしたというような表現）に処理するだけで、皆様
にご迷惑をおかけすることはありません。
3. この調査は、上記の**目的以外に使用することはありません**。

■記入上の注意

1. 原則として、**あて名のご本人**がお答えになってください。
2. お答えは、ボールペンや鉛筆などで**あてはまるものの番号又は記号にハッキリと〇印**を
つけてください。

■調査票の回収

記入された調査票は、無記名のまま、同封の返信用封筒に入れ、**（切手は不要です）**、
1月31日（金）までに郵便ポストにご投函ください。

【問い合わせ先（といあわせさき）】

堺市環境局 環境事業部 廃棄物政策課（さかいし かんきょうきょく

かんきょうじぎょうぶ はいきぶつせいさくか）

担当（たんとう）：小山（こやま）

電話（でんわ）：072-228-7478

FAX（ファクス）：072-229-4454



ごみ処理計画のあらましと現在の状況

● ごみ処理計画ってなに？

市民や事業者が出すごみ（一般廃棄物）について、ごみの減量化、適正処理に関する取り組みや目標等を定めた基本的な計画です。

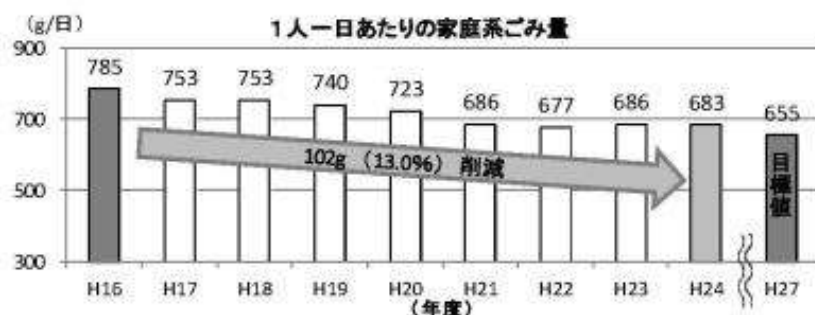
● 第三次ごみ処理計画ではどんなことを決めるの？

第三次ごみ処理計画では、第二次ごみ処理計画（平成18年度～27年度）での実績や課題の整理を行った上で、平成28年度を初年度として10～15年間の計画を定めます。

今後のごみ減量やリサイクルの目標値、適正処理のあり方、市民、事業者や市が取り組む施策等を定めます。

● 堺市のごみはどんな状況なの？

第二次ごみ処理計画では、家庭から出るごみの量を平成22年度で1人一日あたり665g、平成27年度で655gとする目標を立てました。それに対し、実際に堺市の家庭から出たごみの量は平成22年度で677gとなっており、着実に減量はしているものの、目標値には届きませんでした。また、平成24年度のごみ処理経費（収集運搬＋焼却処理＋埋立処分）は1人あたり年間で8,490円となっています。平成24年度の調査結果では、生活ごみの34%は紙類であり、8%はその他の資源化可能なごみとなっています。



● 堺市ではどんなふうにごみを処理しているの？

家庭から出されたごみのうち、リサイクルができないものについては、環境に大きな悪影響を与えないよう、また埋めるごみの量を減らすため、焼却し減容、減量化しています。

特に、昨年4月に稼働した焼却工場「クリーンセンター臨海工場」では、ごみを高温で溶融することにより溶融物（スラグ、メタル）を作り出して資源として再利用できるようにしており、埋立量を削減しています。

より詳しい内容は堺市ホームページへ

【基本計画】 http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/gyosei/shishin/kankyo/haikibutsu_kihon/index.html

【ごみ処理の状況】 <http://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/gomi/recycle/genryoshigen.html>

【焼却工場】 <http://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/gomi/annai/shisetsu/shokyaku.html>

(2) アンケート調査票（市民用）



率直なご意見を聞かせてね！

アンケート調査票（市民用）

1. 現在のごみ排出、減量、リサイクルへの取り組みについて

(1) 本市では平成18年3月に「第二次堺市一般廃棄物処理基本計画」を策定し、平成27年度までのごみ削減計画等を定めております。この計画の策定をご存じですか。該当するものに○をしてください。

1. 計画の策定を知っていた
2. 計画の策定を知らなかった

(2) 「生活ごみ」を排出する頻度はどのくらいですか。該当するもの一つだけに○をしてください。

1. 週に2回（収集日どおり）
2. 週に1回
3. 2週間に1回
4. 月に1回
5. その他（ ）

(3) 「生活ごみ」を排出する量は、1回あたりどのくらいですか。該当するもの一つだけに○をしてください。

1. 45ℓごみ袋2袋以上
2. 45ℓごみ袋1袋程度
3. レジ袋2袋程度
4. レジ袋1袋程度
5. レジ袋半分以下

(4) 市が分別収集を行っている資源物について、分別の状況や考え方についてお尋ねします。

ア.「缶・びん」（月2回収集）について



① どの程度分別をしていますか。該当するもの一つだけに○をしてください。

1. いつもしている →2ページ「イ. プラスチック製容器包装」の設問へお進みください
 2. 大体している
 3. とくときしている
 4. ほとんどしていない
 5. 全くしていない
- } →②の設問にお答えください

- ② ①で2. ～5. とお答えの方にお尋ねします。分別をしないときの理由は何ですか。該当するものすべてに○をしてください。

- | | |
|------------------------|---|
| a. 缶・びんの分別があることを知らなかった |) |
| b. 手間がかかる（どの過程が面倒ですか） | |
| c. リサイクルの必要性がわからない | |
| d. 出し方、分け方がわからない | |
| e. 収集曜日がわからない | |
| f. 洗うための水がもったいない | |
| g. 捨てたいときに捨てられない | |
| h. その他（具体的に：_____） | |

イ、「プラスチック製容器包装」（週1回収集）について



- ① どの程度分別をしていますか。該当するもの一つだけに○をしてください。

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. いつもしている | } →②の設問にお答えください |
| 2. 大体している | |
| 3. ときどきしている | |
| 4. ほとんどしていない | |
| 5. 全くしていない | |

- ② ①で2. ～5. とお答えの方にお尋ねします。分別をしないときの理由は何ですか。該当するものすべてに○をしてください。

- | | |
|-------------------------------|---|
| a. プラスチック製容器包装の分別があることを知らなかった |) |
| b. 手間がかかる（どこが面倒ですか） | |
| c. リサイクルの必要性がわからない | |
| d. 出し方、分け方がわからない | |
| e. 収集曜日がわからない | |
| f. 洗うための水がもったいない | |
| g. 捨てたいときに捨てられない | |
| h. その他（具体的に：_____） | |

ウ.「ペットボトル」(月2回収集)について



① どの程度分別をしていますか。該当するもの一つだけに○をしてください。

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. いつもしている | } →②の設問にお答えください |
| 2. 大体している | |
| 3. ときどきしている | |
| 4. ほとんどしていない | |
| 5. 全くしていない | |

② ①で 2. ～5. とお答えの方にお尋ねします。分別をしないときの理由は何ですか。該当するものすべてに○をしてください。

- | | |
|--------------------------|---|
| a. ペットボトルの分別があることを知らなかった |) |
| b. 手間がかかる (どこが面倒ですか: | |
| c. リサイクルの必要性がわからない | |
| d. 出し方、分け方がわからない | |
| e. 収集曜日がわからない | |
| f. 洗うための水がもったいない | |
| g. 捨てたいときに捨てられない | |
| h. その他 (具体的に: | |

エ.「小型金属」(月1回収集)について



① どの程度分別をしていますか。該当するもの一つだけに○をしてください。

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. いつもしている | } →②の設問にお答えください |
| 2. 大体している | |
| 3. ときどきしている | |
| 4. ほとんどしていない | |
| 5. 全くしていない | |

② ①で 2. ～5. とお答えの方にお尋ねします。分別をしないときの理由は何ですか。該当するものすべてに○をしてください。

- | | |
|------------------------|---|
| a. 小型金属の分別があることを知らなかった |) |
| b. 手間がかかる (どこが面倒ですか: | |
| c. リサイクルの必要性がわからない | |
| d. 出し方、分け方がわからない | |
| e. 収集曜日がわからない | |
| f. 捨てたいときに捨てられない | |
| g. その他 (具体的に: | |

2. 現在の市の取り組みについて

(1) 本市が行っている下表①～⑧の取り組みについて、ア、イそれぞれで該当するもの一つだけに○をしてください。7ページ⑨⑩については該当するものに○をしてください。

	ア. 実施・利用していますか				イ. 今後、実施・利用したいですか			
	いつもしている	よくしている	たまにしている	していない	ぜひしたい	機会があればしたい	はあまりしたくない	全くしたくないと思
① ごみの4R運動 ごみ減量のための行動として、Refuse（発生源でゴミを断つ）、Reduce（ゴミとなるものを減量する）、Reuse（繰り返し使う）、Recycle（資源として再利用する）を推進する運動	1	2	3	4	1	2	3	4
② ごみ1袋運動 収集日に出すゴミを1袋に、現在1袋の家庭はより小さな袋にすることで、ゴミの減量・排出マナーの向上・資源化を推進する運動	1	2	3	4	1	2	3	4
③ リサイクル情報板の設置 家庭で不要になった物で、再利用可能な物を無料で提供していただき、譲り受け希望者が活用するための情報板を各区役所に設置しています	1	2	3	4	1	2	3	4
④ 集団回収制度 地域の自治会や子ども会などで行われている古紙や古布の集団回収に対し、報償金(1kgあたり4円)を交付し推進しています	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤ 生きごみさん講習会 電気を使わない環境にやさしい生ゴミの処理方法である「生きごみさん」の方法についての講習会を開催しています	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥ 市内イベントでのブース設置 区民まつり等で、ごみ減量の啓発や、アンケート、リサイクル製品の展示などを行っています	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦ 「どこでもセミナー」～堺市生涯学習まちづくり出前講座～の実施 市の職員が講師として各地域に出向き、ごみ問題に関する講演を行っています	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧ 施設見学 クリーンセンター（ごみ焼却工場）やリサイクルプラザ（缶・びん選別施設）では施設見学を実施しており、ごみ問題の啓発と情報提供を行っています	1	2	3	4	1	2	3	4

※平成25年度「どこでもセミナー」～堺市生涯学習まちづくり出前講座～「ごみ」に関するテーマ
「あなたが出したごみのその先は・・・」 「ムー・ヤンおしえて！ごみもんだい」
「楽しく学んでみんなで分別」 「ダンボール箱で生ごみ減量体験」 「ごみ収集車ってなあに？」

	ご存じですか			
	よく知っている	少し知っている	名前だけ知っている	知らない
⑨ ごみ減量化推進員制度 ごみ減量・リサイクルを推進するため、地域のリーダーとして市と地域をつなぐ役割を担っていただく市民に対し、ごみ減量化推進員を依頼しています	1	2	3	4
⑩ ムーやん 本市のごみ減量マスコットキャラクターの「ムーやん」を活用して、啓発や情報発信を行っています 	1	2	3	4

- (2) 上記の「⑩ムーやん」についてお聞きます。今後「ムーやん」をどのように活用するのが効果的だと思いますか。アイデアがありましたらご記入ください。

3. ごみ処理について

- (1) 現在、ごみ減量に努めている人もそうでない人も一律のサービスとなっており、これが減量化が進まない要因とも考えられています。このことについてどう思いますか。該当するもの一つだけに○をしてください。

平成24年度ごみ処理経費[※]は年間1人あたり8,490円だよ

※ごみ処理経費とは、ごみ収集運搬・中間処理・埋立処分にかかる経費



- 特に何とも思わない。このままでよい。
- 減量に取り組んでいる人には不公平感はあるだろうがこのままでよい。
- 減量に取り組んだ分のメリットはある方がよい。
- その他（具体的に： _____）

- (2) ごみ減量やリサイクルに対する姿勢について、以下の①～④それぞれであなたの考えに最も近いものに○をしてください。

	そう思う	どちらか という そう思う	どちらか という そう思わ ない	そう思わ ない
①ごみをなるべく少なくするために、物の購入や使い方などを工夫する。	1	2	3	4
②出したごみがリサイクルされるように分別に協力する。	1	2	3	4
③出したごみが最終的にどのように処理されるかまで関心を持つ。	1	2	3	4
④市民の出すごみを処理するのは行政の責任であり、市民がごみ減量や分別に責任を持つ必要はない。	1	2	3	4

- (3) 本市ではごみ減量を進めるため、以下の①～④について分別収集の拡充などの調査・検討を進めています。拡充した場合、あなたは協力したいと思いますか。それぞれ該当するもの二つだけに○をしてください。

	ぜひ 協力したい	できる範囲で 協力したい	あまり協力 はできない	全く協力 できない
①古布・古紙（新聞、雑誌、段ボールなど）	1	2	3	4
②牛乳パック	1	2	3	4
③小型家電（携帯電話、デジタルカメラ、プリンタ、音楽プレーヤーなど）	1	2	3	4
④剪定枝（せんていし） ※枝木等	1	2	3	4

- (4) クリーンセンター臨海工場（ごみ焼却施設）が昨年4月から稼働していることをご存じですか。該当するものに○をしてください。

1. 知っている 2. 知らなかった

- (5) ごみを焼却した後の焼却灰は最終的に大阪湾の埋め立て地（大阪湾フェニックス）に埋め立てられていることをご存じですか。該当するものに○をしてください。

1. 知っている 2. 知らなかった

質問はあと少しだよ



- (6) 本市クリーンセンターの稼働率は全国の政令指定都市の中でもとりわけ高くなっており、余力のない状態でごみの処理をしているというのが現状です。また、クリーンセンターをはじめ各施設の老朽化が進行しており、整備が必要であることをご存じですか。該当するものに○をしてください。

1. 知っている 2. 知らなかった

4. 今後のごみ行政について

- (1) 今後、本市に希望する取り組みについてお尋ねします。

- ① 分別等の周知や情報提供の取り組みについて希望するものに2つまで○をしてください。

- a. 収集曜日お知らせメールの配信
- b. 詳細な分別品目表の配布（分別に関する辞典等）
- c. 市内で開催されるフリーマーケットやリサイクルショップの取扱品目、日時や場所等の情報提供
- d. 家具や服飾品などのリフォームショップの情報提供

- ② ごみ減量・リサイクルへの取り組みについて希望するものに2つまで○をしてください。

- a. インターネットで家具や服飾品などを仲介する事業
- b. 不要となった家具や服飾品などを市が引き取り、市民へ販売する事業
- c. 缶・びんなどを使用後、販売店に返却するとエコポイントが付く制度
- d. 紙や小型廃家電などの資源化可能なものを、市内の公共施設に持ち込める制度

- ③ ごみの処理施設の整備について希望するものに2つまで○をしてください。

- a. 市民の安全安心に配慮した施設整備
- b. ごみ減量等、市民の環境活動の拠点となる機能が充実した施設整備
- c. 災害時に発生する多量の廃棄物（家屋のガレキなど）への対応も可能な施設整備
- d. エネルギーや資源を多く回収できる先進的な施設整備

- (2) 上記のような新しい取り組みや既存の取り組みを市がお知らせする方法について、希望するものに2つまで○をしてください。

- a. 広報さかい b. 市役所等で配布するパンフレット c. 回覧板
- d. 市のホームページ e. 新聞折り込み f. 市からのメール送信
- g. フェイスブックやツイッターなどのSNS

--

以下の各項目について、該当するものに一つだけ○をしてください。「世帯人数」と「堺市での
通算居住年数」には数値をご記入ください。

居住区	1. 堺区 2. 中区 3. 東区 4. 西区 5. 南区 6. 北区 7. 美原区
性別	1. 男性 2. 女性
年代	1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代 6. 70代 7. 80代以上
職業	1. 会社員 2. 公務員・団体職員 3. 自営業・事業主 4. 家事専業 5. パート・アルバイト・派遣社員・契約社員 6. 学生 7. 無職 8. その他（具体的に： ）
世帯人数	（ ）人
住居の形態	1. 持家一戸建て住宅 2. 持家一戸建て住宅（事務所や店舗と兼用） 3. 持家集合住宅（分譲マンションなど） 4. 市営・府営などの公営賃貸住宅 5. 民間の借家・賃貸アパート・マンション 6. 社宅・寮・官公舎 7. その他（具体的に： ）
堺市での通算居住年数	（ ）年

3. 事業者用調査票

(1) アンケート依頼文（事業者用）

ごみに関するアンケート調査への ご協力をお願い

～ 堺市からのアンケート調査です ～

アンケート調査をお願いする事業者の皆様へ

平素は、本市の環境行政にご理解・ご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

さて本市では、ごみの減量化、資源化及び適正処理に関する長期計画である「第三次堺市一般廃棄物処理基本計画」の策定のため事業者の皆様のごみ排出状況やごみ処理に対するお考えを把握したいと考えております。

ご多忙の中、誠に恐縮ではございますが、十分な調査結果を得るためには多くの皆様のお答えが必要ですので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成26年1月

堺 市

■調査のあつかい

1. 本アンケートは、市内の事業所の中から、無作為で2,000社にお送りしています。
2. いただいたご回答は統計的（「〇〇」と答えた事業所は△△%でしたというような表現）に処理するだけで、事業者を特定する内容を公表することはありません。
3. この調査は、上記の目的以外に使用することはありません。

■記入上の注意

お答えは、ボールペンや鉛筆などであてはまるものの番号又は記号にハッキリと○印をつけてください。

■調査票の回収

記入された調査票は、同封の返信用封筒に入れ、（切手は不要です）、1月31日（金）までに郵便ポストにご投函ください。

【問い合わせ先（といあわせさき）】

堺市環境局 環境事業部 廃棄物政策課（さかいし かんきょうぎょく

かんきょうじぎょうぶ はいきぶつせいさくか）

担当（たんとう）：小山（こやま）

電話（でんわ）：072-228-7478

FAX（ファクス）：072-229-4454

(2) アンケート調査票（事業者用）

アンケート調査票（事業所用）

1. ごみの排出と処理・リサイクル状況について

- (1) 本市では平成 18 年 3 月に「第二次堺市一般廃棄物処理基本計画」を策定し、平成 27 年度までのごみ削減計画等を定めております。この計画が策定されていることをご存じでしたか。該当するものに○をしてください。

1. 計画の策定を知っていた
2. 計画の策定を知らなかった

- (2) 貴事業所でのごみの排出量や分別、処理方法等についてお尋ねします。

A 事業系一般廃棄物の排出量は年間どの程度ですか。

1. ①年間 () t ②日量 45 ㎥ごみ袋 () 袋程度
2. 把握していない

B ごみの処理費用についてお聞きます。

- ①事業系一般廃棄物の処理にかかる費用はどの程度ですか。

1. 年間 () 円 →下の②③にお答えください
2. 把握していない →2 ページ C へお進みください

- ②処理費用を把握されている方にお尋ねします。費用はどのように算出されていますか。該当するもの一つだけに○をしてください。

1. 重量ごと 2. 袋の数ごと 3. 月極め（量や大きさによらない）

- ③処理費用を把握されている方にお尋ねします。費用の負担感はいかがですか。該当するもの一つだけに○をしてください。

1. かなり高い 2. やや高い 3. 妥当 4. やや安い 5. かなり安い

多い順に番号をご記入ください→

1		2		3	
---	--	---	--	---	--

＜ごみの種類＞

- ①古紙（新聞・雑誌・段ボール・OA 紙等）
- ②紙くず（ちり紙、紙コップ等）
- ③生ごみ（料理くず、残飯、茶かす等）
- ④プラスチック製容器包装（プラスチック製の弁当容器、包装材、レジ袋等）
- ⑤缶・びん・ペットボトル
- ⑥木くず（木ざれ等）
- ⑦古繊維（古着・古布等）
- ⑧繊維くず（木綿くず、羊毛くず等）
- ⑨金属類

D ごみの分別はどのようにされていますか。該当するもの一つだけに○をしてください。

1. 分別はせずに全て混合し、排出をしている →5 ページ (3) へお進みください
2. 分別して、排出をしている →次の E をお答えください

E 上記Dで「2. 分別して、排出をしている」とお答えの方にお尋ねします。以下のごみの種類(①～⑧)ごとに、ア～イまたはウの各項目について該当するもの一つだけに○をしてください。「平成24年度実績量」については、数値を把握されている場合はご記入ください。

①焼却ごみ

ア. 平成 24 年度 実績量	総量 () t
イ. 処理の方法	1. 民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託 ^{※1} 2. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入 3. 貴事業所の処理施設で処理 4. 継続ごみ ^{※2} として市に収集を依頼 5. その他（具体的に：

※1 市が許可した一般廃棄物収集運搬業者（許可業者）に処理を委託すること。

※2 市が有料で収集しているごみ。

②牛ごみ類

ア. 分別していますか	1. はい → 下段「イ及びウ」をお答えください。 2. いいえ → 下段「イ、1. 総量」及び「ウ」をお答えください
イ. 平成 24 年度実績量	1. 総量 () t 2. 資源化量 () t
ウ. 処理の方法	1. 民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託 2. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入 3. 民間のリサイクル業者でリサイクル 4. 貴事業所の処理施設で処理 5. 継続ごみとして市に収集を依頼 6. その他（具体的に：)

③紙類（新聞・雑誌・段ボール・OA紙など）※機密書類は次の④でお答えください

ア. 分別していますか	1. はい → 下段「イ及びウ」をお答えください 2. いいえ → 下段「イ、1. 総量」及び「ウ」をお答えください
イ. 平成 24 年度実績量	1. 総量 () t 2. 資源化量 () t
ウ. 処理の方法	1. 民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託 2. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入 3. 民間のリサイクル業者でリサイクル 4. 貴事業所の処理施設で処理 5. 継続ごみとして市に収集を依頼 6. その他（具体的に：)

④機密書類

ア. ③の紙類と別に分別していますか	1. はい → 下段「イ及びウ」をお答えください 2. いいえ → 下段「イ, 1. 総量」及び「ウ」をお答えください
イ. 平成 24 年度実績量	1. 総量 () t 2. 資源化量 () t
ウ. 処理の方法	1. 民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託 2. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入 3. 民間のリサイクル業者でリサイクル 4. 貴事業所の処理施設で処理 5. 継続ごみとして市に収集を依頼 6. その他（具体的に： ）

⑤缶・びん

ア. 分別していますか	1. はい →下段「イ及びウ」をお答えください 2. いいえ →下段「イ、1. 総量」及び「ウ」をお答えください
イ. 平成 24 年度実績量	1. 総量 () t 2. 資源化量 () t
ウ. 処理の方法	1. 民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託 2. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入 3. 民間のリサイクル業者でリサイクル 4. スーパーなどの店頭回収を利用している 5. 継続ごみとして市に収集を依頼 6. 産業廃棄物として処理している 7. その他（具体的に： ）

⑥ペットボトル

ア. 分別していますか	1. はい →下段「イ及びウ」をお答えください 2. いいえ →下段「イ、1. 総量」及び「ウ」をお答えください
イ. 平成 24 年度実績量	1. 総量 () t 2. 資源化量 () t
ウ. 処理の方法	1. 民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託 2. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入 3. 民間のリサイクル業者でリサイクル 4. スーパーなどの店頭回収を利用している 5. 継続ごみとして市に収集を依頼 6. 産業廃棄物として処理している 7. その他（具体的に： ）

⑦プラスチック製容器包装（弁当・カップ麺などの容器や包装材などのプラスチック）

ア. 分別していますか	1. はい →下段「イ及びウ」をお答えください 2. いいえ →下段「イ、1. 総量」及び「ウ」をお答えください
イ. 平成 24 年度実績量	1. 総量 () t 2. 資源化量 () t
ウ. 処理の方法	1. 民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託 2. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入 3. 民間のリサイクル業者でリサイクル 4. スーパーなどの店頭回収を利用している 5. 継続ごみとして市に収集を依頼 6. 産業廃棄物として処理している 7. その他（具体的に： ）

⑧不燃ごみ

ア. 分別していますか	1. はい →下段「イ及びウ」をお答えください 2. いいえ →下段「イ、1. 総量」及び「ウ」をお答えください
イ. 平成 24 年度実績量	1. 総量（ ）t 2. 資源化量（ ）t
ウ. 処理の方法	1. 民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託 2. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入 3. 民間のリサイクル業者でリサイクル 4. 貴事業所の処理施設で処理 5. 継続ごみとして市に収集を依頼 6. その他（具体的に： ）

- （3）2 ページの D で 1 とお答えの方、または 3～5 ページの「②～⑧ア. 分別していますか」で 1 か所でも「2. いいえ」とお答えの方にお尋ねします。分別していない理由は何ですか。該当するものすべてに○をしてください。

- a. 何が資源化できるのかわからない
b. 資源物の発生量が少ない
c. 分別が手間
d. 分けた資源を置く場所がない
e. 分別しなくても収集してくれる
f. 分別ボックスを購入するなど費用がかかる
g. リサイクルを依頼する業者がわからない
h. 社員への分別の浸透が難しい
i. 分別してもごみ処理費用が安くならない、もしくは高くなる
j. その他（具体的に： ）

- （4）貴事業所からのごみ排出量はどのように変化していますか。5 年前と比べた印象について、該当するもの一つだけに○をしてください。

1. かなり増えた 2. やや増えた 3. 変わらない 4. やや減った
5. かなり減った 6. わからない 7. 事業所ができてからまだ 5 年経っていない

2. ごみ減量・リサイクルについて

(1) ごみ減量・リサイクルに関する方針を定めていますか。該当するもの一つだけに○をしてください。

- 1. 「ISO14001」の認証を取得している
- 2. 「エコアクション21」の認証を取得している
- 3. 運輸事業者を対象とした「グリーン経営認証」を取得している
- 4. その他のごみに関するマネジメントシステムの認証を取得している
→ (取得している認証の名称:)
- 5. 独自の方針を定めている
- 6. 定めていない → 下の(2)にお答えください

(2) 上記(1)で「6. 定めていない」とお答えの方にお尋ねします。今後、どのような条件があれば定めようと思いますか。該当するものすべてに○をしてください。

- a. 方針の運用にかかる手間やコストが今より少なくなるなら
- b. 方針を定めることで、受注に有利に働くなど利益に結びつくなら
- c. 方針を定めることで、社会貢献をアピールできるなら
- d. その他(具体的に:)
- e. 検討をしたことがないのでわからない
- f. どのような条件でも定めるつもりはない

(3) 事業所内でごみ減量に取り組む責任者を定めていますか。該当するもの一つだけに○をしてください。

- 1. 専任の責任者を定めている
- 2. 他の役割(総務など)との兼務としている
- 3. 定めていない

(4) ごみ減量・リサイクルに関する情報は主に何を参考としていますか。該当するものすべてに○をしてください。

- a. 堺市のホームページ、広報紙、パンフレットなど
- b. ビル管理会社からのお知らせ
- c. 収集業者からのお知らせ
- d. 同業種の組合、業界団体等からのお知らせや研修会
- e. 新聞、テレビ、ラジオなどの放送番組
- f. インターネットの関連サイト
- g. 口コミ

(9) 地域におけるまちの美化活動やごみ減量活動に取り組んでいますか。今後、取り組もうと思いますか。該当するもの一つだけに○をしてください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 積極的に取り組んでいる | } →下の A、B にお答えください |
| 2. できる範囲で取り組んでいる | |
| 3. 今後、取り組むつもりである | →下の B にお答えください |
| 4. 今後も取り組むつもりはない | } →下の C にお答えください |
| 5. 今後は分からない | |

A 上記(9)で1. 及び2. とお答えの方にお尋ねします。具体的にどのように取り組んでいますか。該当するものすべてに○をしてください。

- | |
|------------------------------------|
| a. 事業所周辺の美化活動 |
| b. ごみ減量に関する講習会の開催 |
| c. レジ袋有料化などの収益による地域還元 |
| d. 店頭で回収した資源物の売却益の地域還元 |
| e. フリーマーケットなどのごみ減量イベントに対する事業所施設の開放 |
| f. 地域でのごみ減量活動に対する協賛などの財政的な支援 |
| g. その他(具体的に:) |

B 上記(9)で1. 2. 及び3. とお答えの方にお尋ねします。今後、地域活動に参加していくために、または今の活動を更に進めていくためには、何が必要と思われますか。該当するものすべてに○をしてください。

- | |
|---------------------------------------|
| a. 行政がそれぞれの事業所に合った取り組みを周知・斡旋すること |
| b. 所属する業界団体がノウハウの提供や参加への呼びかけを率先して行うこと |
| c. 地域の住民などが事業者に協力してほしいことを呼びかけること |
| d. その他(具体的に:) |

C 上記(9)で4. 及び5. とお答えの方にお尋ねします。その理由について該当するものすべてに○をしてください。

- | |
|------------------------|
| a. 地域社会との関わりを行う人的余裕がない |
| b. 特に地域社会と関わる必要性を感じない |
| c. 検討をしたことがないのでわからない |
| d. その他(具体的に:) |

(10) その他、ごみ減量・リサイクルに関してどのような取り組みを行っていますか。該当するものすべてに○をしてください。

- | |
|--|
| a. ごみ減量・リサイクルを事業所内に呼びかけている |
| b. ごみ減量・リサイクルのマニュアルを作成している |
| c. ごみ問題について検討する組織を設置している |
| d. 取引先や納入業者に簡易包装や通い箱（繰り返し使用できる箱）の使用を依頼している |
| e. ペーパーレス化を推進している |
| f. 特に取り組んでいない |
| g. その他（具体的に |

3. 市のごみ行政について

(1) 市内の事業者がごみを排出する際には、「継続ごみ^{※1}」「許可業者への委託^{※2}」「直接搬入^{※3}」の3種類の排出方法があることをご存じですか。該当するものすべてに○をしてください。

※1 市が有料で収集している方法

※2 堺市が許可している堺市一般廃棄物収集運搬許可業者（許可業者）に委託する方法

※3 排出事業者自らが清掃工場へ搬入する方法

- | | | | |
|---------|-------------|---------|-------------|
| a. 継続ごみ | b. 許可業者への委託 | c. 直接搬入 | d. いずれも知らない |
|---------|-------------|---------|-------------|

(2) 許可業者に支払うごみ処理費用の中に、許可業者が市の処理施設へ支払う「処理手数料」[※]が含まれていることをご存じですか。該当するものに○をしてください。

※ 10 kgあたり 110 円（破砕機を使用するものは 10 kgあたり 170 円）

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

(3) 本市では、事業用大規模建築物[※]を所有する事業者を対象として、廃棄物管理責任者の設置及び減量計画書作成を義務付けています。

※事業の用に供される延床面積が3,000㎡以上の建築物、および大規模小売店舗については店舗部分の延床面積が1,000㎡を超える事業所

① このような制度があることをご存じですか。該当するものに○をしてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

② 今後のこの制度についてどうお考えですか。該当するもの一つだけに○をしてください。

- | | | |
|-------------|-----------------|--------------|
| 1. 推進・拡充すべき | 2. 現状のまま進めていくべき | 3. 廃止又は縮小すべき |
| 4. わからない | | |

4. 今後のごみ処理行政について

(1) 貴事業所のごみ排出量は、今後どの程度まで減らすことが可能か、あるいは増えるとお考えですか。該当するもの一つだけに○をしてください。

- 1. 半分以上減らせる
- 2. 3割程度は減らせる
- 3. 1割程度（若干）は減らせる
- 4. 現在の量から変わらないと思う
- 5. 現在の量より増えると思う
- 6. その他（具体的に： _____）

(2) 本市の清掃工場に搬入されるごみには資源化可能と考えられる紙ごみなどの資源物が多く見られます。このことについて、どうお考えですか。該当するもの一つだけに○をしてください。

- 1. できる限り資源物は分別するなど、リサイクルに協力したい
- 2. 資源物の回収料金が清掃工場への持ち込み料金より安い場合は、分別してリサイクルに協力したい
- 3. 分別はできない

(3) 生ごみの減量化・リサイクルについてどうお考えですか。該当するもの一つだけに○をしてください。

- 1. 多少費用や手間がかかっても取り組みたい
- 2. 現在のごみ処理費より安く済むなどのメリットがあれば取り組みたい
- 3. 生ごみの減量化・リサイクルはできない

(4) 今後、事業系ごみ減量・リサイクルを促進するために、本市に求める周知施策はどのようなものですか。重要だと思うものすべてに○をしてください。

- a. 法律や条例等の規制に関する情報提供
- b. 収集業者や処理業者に関する情報提供
- c. ニュースレターの配信
- d. 講習会の開催
- e. 事業所への出前研修会や相談員等の派遣
- f. 優良事例の紹介
- g. マニュアル等の情報提供
- h. 古紙類や缶・びん・ペットボトルなどの資源物のリサイクルルートの情報提供
- i. その他（具体的に： _____）

最後に、貴事業所の概要についてお答えください

事業所名	
回答者	部署（ ） 氏名（ ）
所在区	1. 堺区 2. 中区 3. 東区 4. 西区 5. 南区 6. 北区 7. 美原区
業種	1. 農業、林業 2. 建設業 3. 製造業 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 5. 情報通信業 6. 運輸業、郵便業 7. 卸売業、小売業 8. 金融、保険業 9. 不動産業、物品賃貸業 10. 学術研究、専門・技術サービス業 11. 宿泊業、飲食サービス業 12. 生活関連サービス業、娯楽業 13. 教育、学習支援業 14. 医療、福祉 15. 複合サービス業 16. サービス業 17. その他（ ）
事業形態	※複合している場合は、主たる業務形態をお答えください 1. 飲食店・レストラン 2. 食料品小売業 3. 食料品以外の小売業（日用品等物品販売店） 4. スーパー・百貨店・コンビニエンスストア 5. 事務所・営業所 6. 工場・作業所 7. 倉庫・配送センター 8. ホテル・旅館 9. 学校・保育所 10. 病院 11. 会館・娯楽施設 12. その他（ ）
従業員数	※パート・役員を含む人数について、平成25年12月末現在の状況でお答えください。 1. 1～4人 2. 5～9人 3. 10～19人 4. 20～29人 5. 30～49人 6. 50～99人 7. 100～199人 8. 200～299人 9. 300人以上
事業用大規模建築物の指定 ※	1. 指定されている 2. 指定されていない 3. 分からない

※ 本市では、事業の用に供される延床面積が3,000㎡以上の建築物、及び大規模小売店舗については店舗部分の延床面積が1,000㎡を超える事業所を『事業用大規模建築物』と定め、ごみ減量のための「減量計画書」の作成等を義務付けています。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

4. 協力依頼はがき

皆さまにおかれましては、日頃から本市の環境行政にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

また、今月お送りしました「ごみに関するアンケート調査」にご協力いただきました皆さまには、重ねてお礼申し上げます。

皆さまの回答は、第三次堺市一般廃棄物処理基本計画の策定のための貴重な資料として活用させていただきます。

なお、十分な調査結果を得るためには多くの皆さまの回答が必要です。回答がお済みでない場合は誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、今月お送りしました調査票にご記入の上、1月31日（金）までに返信用封筒（切手不要）にて郵便ポストへ投函いただきますようお願い申し上げます。

（本ハガキは調査票を郵送した市民・事業者全員にお送りしています。すでにお済みの場合はご容赦ください。）

堺市役所 環境局 環境事業部 廃棄物政策課
〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号
たんとう こやま でんわ
担 当： 小 山 電 話：072-228-7478（直通）
FAX：072-229-4454

第2章 市民意識調査結果

1. 現在のごみ排出、減量、リサイクルへの取り組みについて

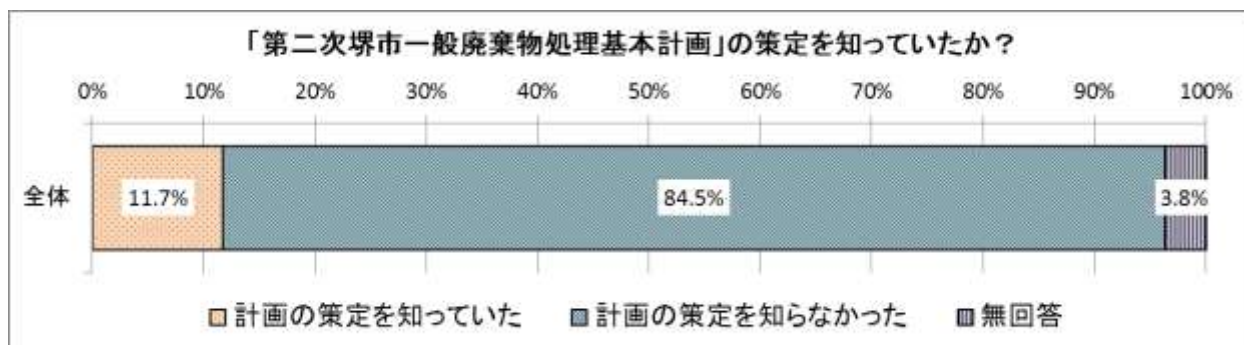
(1)本市では平成18年3月に「第二次堺市一般廃棄物処理基本計画」を策定し、平成27年度までのごみ削減計画等を定めております。この計画の策定をご存じですか。該当するものに○をしてください。

1. 計画の策定を知っていた
2. 計画の策定を知らなかった

【結果】

○ 現行計画の認知について、策定を知っているのは11.7%で、84.5%が策定を認知していない。

	計画の策定を知っていた	計画の策定を知らなかった	無回答	調査数
全体	121	870	39	1030



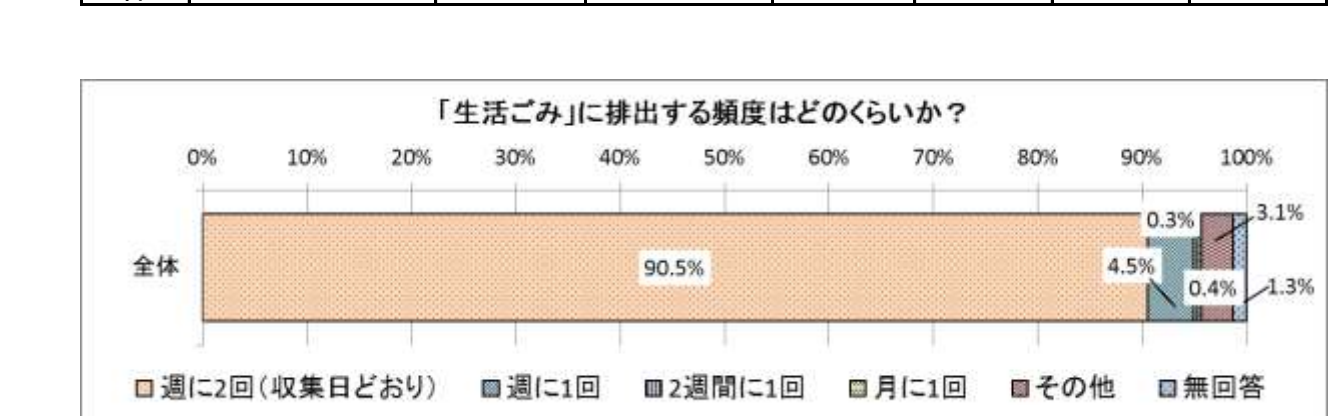
(2) 「生活ごみ」を排出する頻度はどのくらいですか。該当するもの一つだけに○をしてください。

1. 週に2回（収集日どおり）	2. 週に1回	3. 2週間に1回
4. 月に1回	5. その他（	）

【結果】

○ 生活ごみの排出頻度は、収集日どおり（週２回）が90.5%と大部分を占めている。

	週に2回 (収集日どおり)	週に1回	2週間に1回	月に1回	その他	無回答	調査数
全体	932	46	4	3	32	13	1030



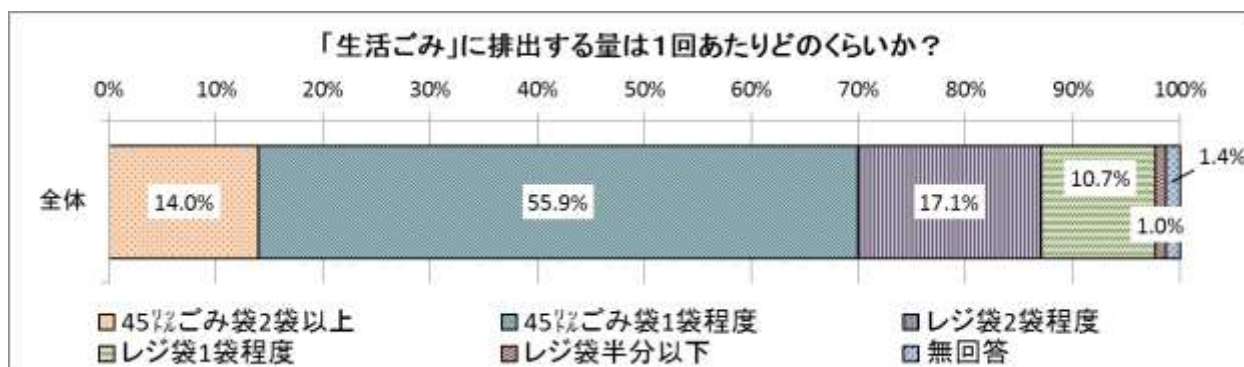
(3) 「生活ごみ」を排出する量は、1回あたりどのくらいですか。該当するもの一つ
だけに○をしてください。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 45ℓごみ袋 2袋以上 | 2. 45ℓごみ袋 1袋程度 |
| 3. レジ袋 2袋程度 | 4. レジ袋 1袋程度 |
| 5. レジ袋半分以下 | |

【結果】

○ 生活ごみを排出する量は、「45ℓごみ袋 1袋程度」が55.9%と最も多い。

	45ℓごみ袋 2袋以上	45ℓごみ袋 1袋程度	レジ袋 2袋程度	レジ袋 1袋程度	レジ袋 半分以下	無回答	調査数
全体	144	576	176	110	10	14	1030



(4) 市が分別収集を行っている資源物について、分別の状況や考え方についてお尋ねします。

ア. 「缶・びん」(月2回収集)について

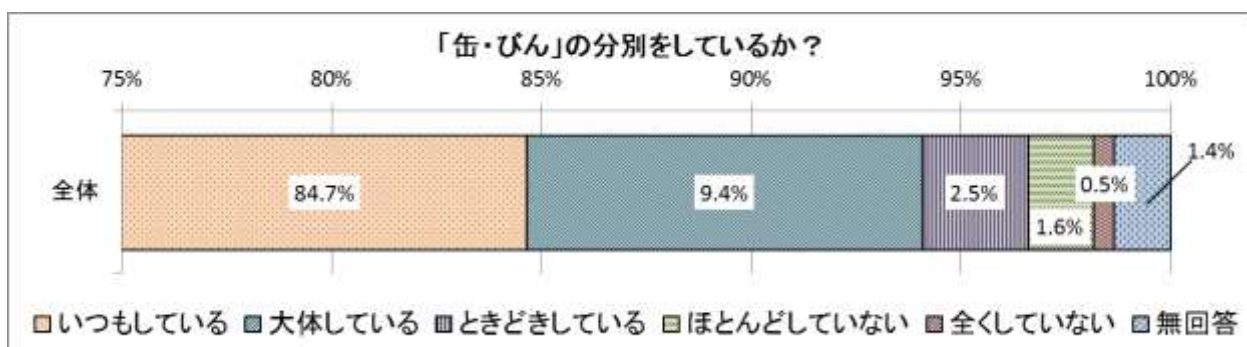
① どの程度分別をしていますか。該当するもの一つだけに○をしてください。

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. いつもしている | } →②の設間にお答えください |
| 2. 大体している | |
| 3. ときどきしている | |
| 4. ほとんどしていない | |
| 5. 全くしていない | |

【結果】

○ 「缶・びん」の分別については、84.7%がいつも分別していると回答している。

	いつもしている	大体している	ときどきしている	ほとんどしていない	全くしていない	無回答	調査数
全体	872	97	26	16	5	14	1030



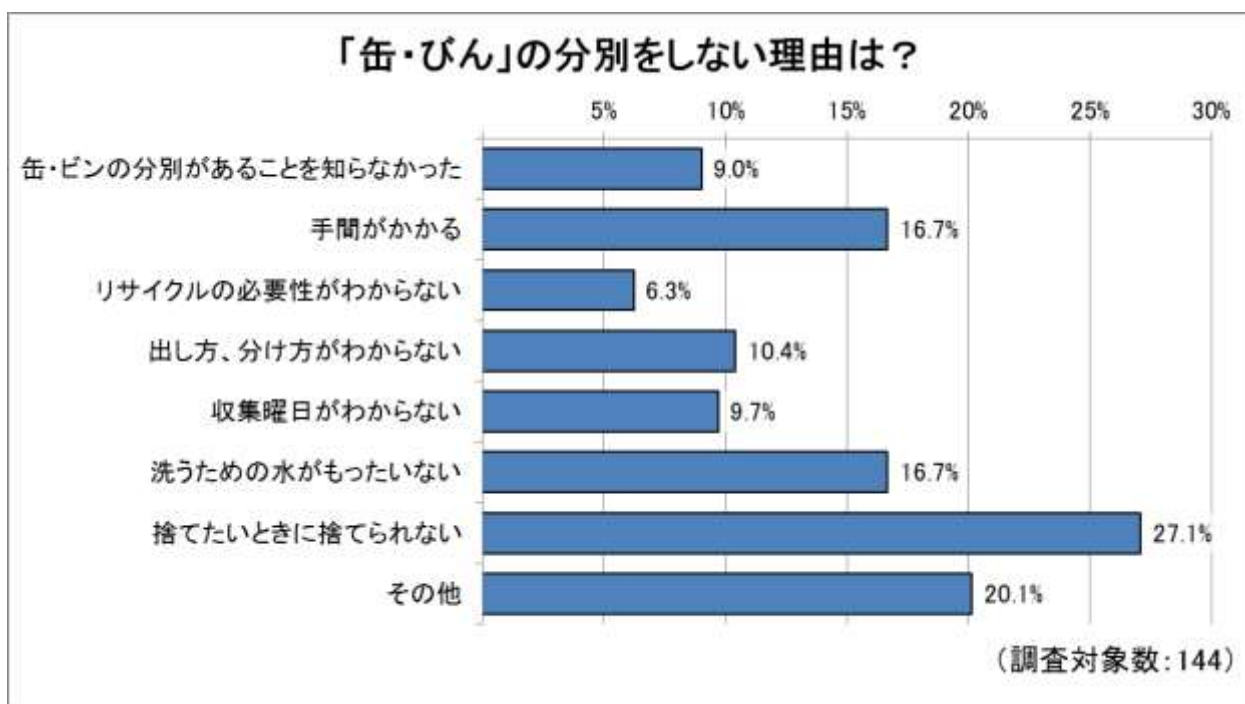
② ①で2. ～5. とお答えの方にお尋ねします。分別をしないときの理由は何ですか。該当するものすべてに○をしてください。

- a. 缶・びんの分別があることを知らなかった
- b. 手間がかかる（どの過程が面倒ですか： ）
- c. リサイクルの必要性がわからない
- d. 出し方、分け方がわからない
- e. 収集曜日がわからない
- f. 洗うための水がもったいない
- g. 捨てたいときに捨てられない
- h. その他（具体的に： ）

【結果】

○ 分別をしない理由は「捨てたいときに捨てられない」が27.1%と最も多くなっている。

缶・ビンの分別があることを知らなかった	手間がかかる	リサイクルの必要性がわからない	出し方、分け方がわからない	収集曜日がわからない	洗うための水がもったいない	捨てたいときに捨てられない	その他	無回答	合計回答数	調査対象数
13	24	9	15	14	24	39	29	27	194	144



イ. 「プラスチック製容器包装」（週1回収集）について

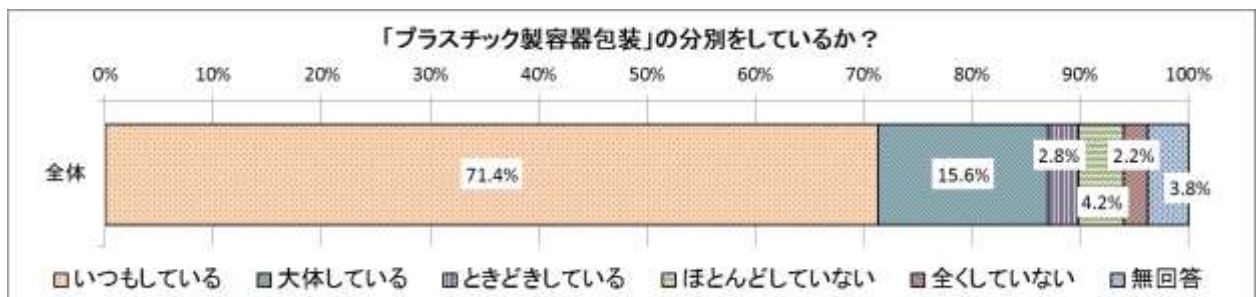
① どの程度分別をしていますか。該当するもの一つだけに○をしてください。

- | | | |
|--------------|-----------------|------------------------------|
| 1. いつもしている | } →②の設問にお答えください | →3 ページ「ウ. ペットボトル」の設問へお進みください |
| 2. 大体している | | |
| 3. ときどきしている | | |
| 4. ほとんどしていない | | |
| 5. 全くしていない | | |

【結果】

○ 「プラスチック製容器包装」をいつも分別している割合は71.4%で、「缶・びん」（84.7%）よりも低くなっている。

	いつもしている	大体している	ときどきしている	ほとんどしていない	全くしていない	無回答	調査数
全体	735	161	29	43	23	39	1030



- a. プラスチック製容器包装の分別があることを知らなかった
- b. 手間がかかる（どこが面倒ですか：)
- c. リサイクルの必要性がわからない
- d. 出し方、分け方がわからない
- e. 収集曜日がわからない
- f. 洗うための水がもったいない
- g. 捨てたいときに捨てられない
- h. その他（具体的に：)

○ 分別をしない理由は、「手間がかかる」が34.8%と最も多く、次いで「洗うための水がもったいない」が27.3%と多くなっている。

プラスチック製容器包装の分別があることを知らなかった	手間がかかる	リサイクルの必要性がわからない	出し方、分け方がわからない	収集曜日がわからない	洗うための水がもったいない	捨てたいときに捨てられない	その他	無回答	合計 回答数	調査 対象数
22	89	23	40	12	70	59	49	11	375	25



ウ. 「ペットボトル」(月2回収集)について

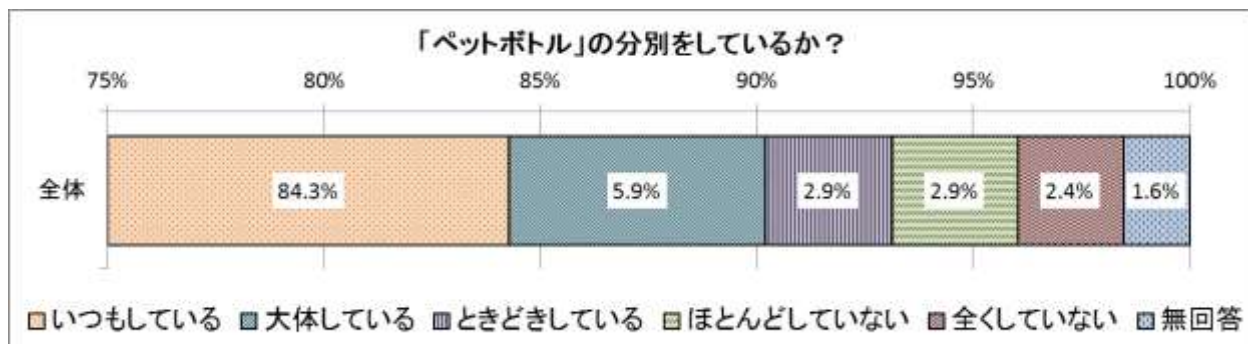
① どの程度分別をしていますか。該当するもの一つだけに〇をしてください。

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. いつもしている | } →②の設問にお答えください |
| 2. 大体している | |
| 3. ときどきしている | |
| 4. ほとんどしていない | |
| 5. 全くしていない | |

【結果】

○ 「ペットボトル」をいつも分別している割合は84.3%で、「缶・びん」(84.7%)とほぼ同様の割合である。

	いつもしている	大体している	ときどきしている	ほとんどしていない	全くしていない	無回答	調査数
全体	868	61	30	30	25	16	1030



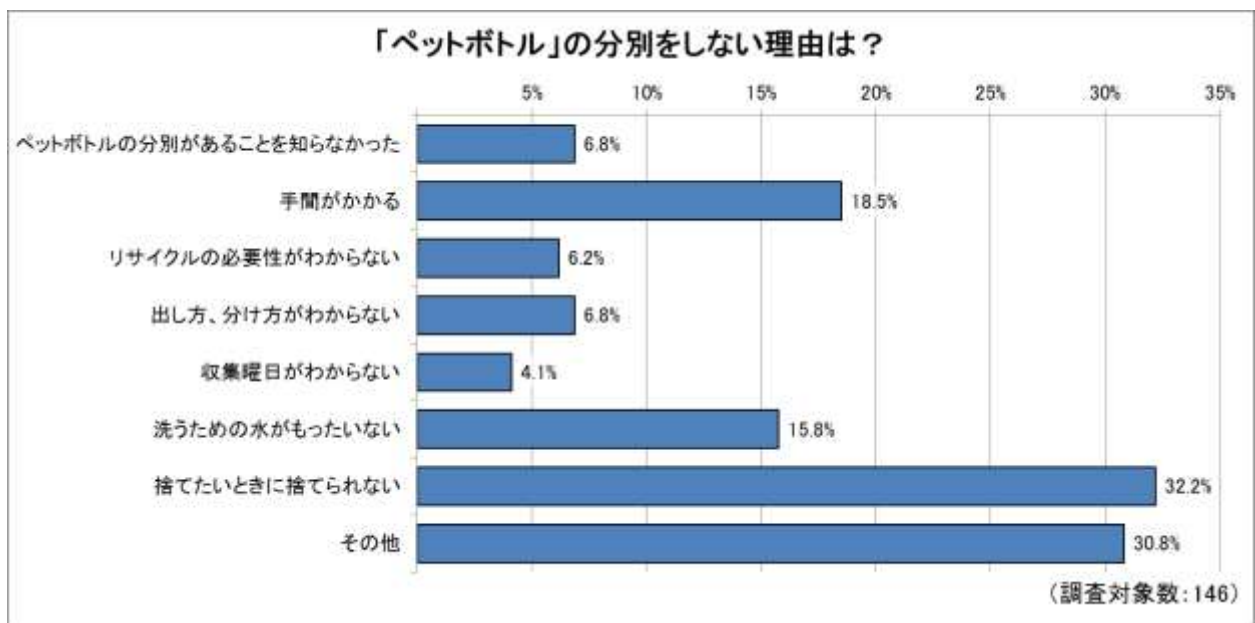
- ② ①で2. ～5. とお答えの方にお尋ねします。分別をしないときの理由は何ですか。
該当するものすべてに○をしてください。

- a. ペットボトルの分別があることを知らなかった
b. 手間がかかる（どこが面倒ですか：）
c. リサイクルの必要性がわからない
d. 出し方、分け方がわからない
e. 収集曜日がわからない
f. 洗うための水がもったいない
g. 捨てたいときに捨てられない
h. その他（具体的に：）

【結果】

- 分別しない理由は、「捨てたいときに捨てられない」が32.2%と最も多く、次いで「手間がかかる」が18.5%となっている。

ペットボトルの分別があることを知らなかった	手間がかかる	リサイクルの必要性がわからない	出し方、分け方がわからない	収集曜日がわからない	洗うための水がもったいない	捨てたいときに捨てられない	その他	無回答	合計回答数	調査対象数
10	27	9	10	6	23	47	45	17	194	146



エ. 「小型金属」（月1回収集）について

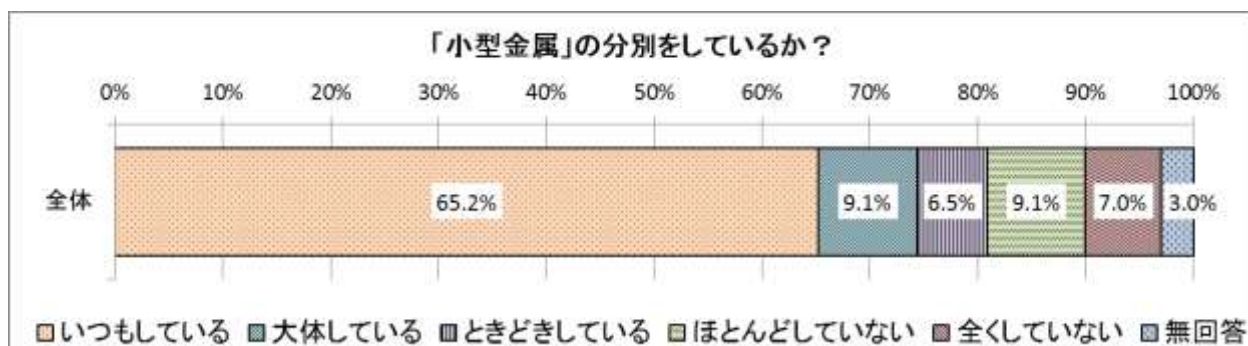
① どの程度分別をしていますか。該当するもの一つだけに○をしてください。

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. いつもしている | → 4 ページへお進みください |
| 2. 大体している | } → ②の設問にお答えください |
| 3. ときどきしている | |
| 4. ほとんどしていない | |
| 5. 全くしていない | |

【結果】

○ 「小型金属」をいつも分別している割合は65.2%で、今回アンケートを行った資源ごみ4品目の中では最も少ない。

	いつもしている	大体している	ときどきしている	ほとんどしていない	全くしていない	無回答	調査数
全体	672	94	67	94	72	31	1030



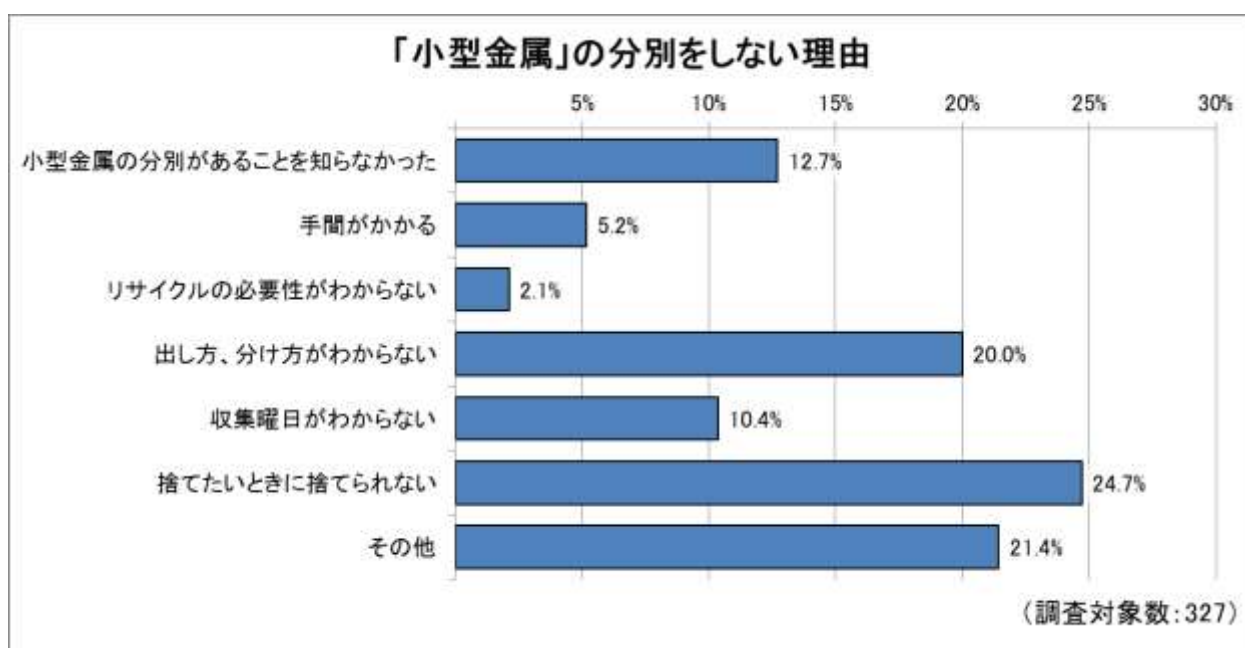
- ② ①で2. ～5. とお答えの方にお尋ねします。分別をしないときの理由は何ですか。
該当するものすべてに○をしてください。

- a. 小型金属の分別があることを知らなかった
b. 手間がかかる（どこが面倒ですか：）
c. リサイクルの必要性がわからない
d. 出し方、分け方がわからない
e. 収集曜日がわからない
f. 捨てたいときに捨てられない
g. その他（具体的に：）

【結果】

○ 分別しない理由は、「捨てたいときに捨てられない」が24.7%と最も多くなっている。

小型金属の分別があることを知らなかった	手間がかかる	リサイクルの必要性がわからない	出し方、分け方がわからない	収集曜日がわからない	捨てたいときに捨てられない	その他	無回答	合計回答数	調査対象数
54	22	9	85	44	105	91	15	425	327



- (5) 下表の各資源物に対し、あてはまる出し方と出す頻度についてお尋ねします。
「ア. 出し方」については、該当するものすべてに○をしてください。
「イ. 出す頻度」については、全体でどのくらいの頻度になるか、該当するもの一つだけに○をしてください。

	ア. 出し方							イ. 出す頻度			
	市の「生活ごみ」収集	市の各資源物※ ¹ の収集	市の「粗大ごみ・不燃小物類」収集	自治会等での集団回収	取り 廃品回収業者等※ ² への引き	店頭回収 スーパーや家電量販店等の	その他（直接市の清掃工場へ持ち込み等）	週に1回以上	月に2回程度	月に1回程度	数か月に1回以下
①空き缶	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4
②リターナブルびん（ビールびん、牛乳びんなど）	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4
③上記②以外のびん	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4
④ペットボトル	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4
⑤小型金属（鍋、やかん、フライパン、包丁、はさみなど）	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4
⑥古布・古紙（新聞・雑誌・段ボールなど）	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4
⑦牛乳パック	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4
⑧小型家電（携帯電話、デジタルカメラ、プリンタ、音楽プレーヤーなど）	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4
⑨その他の家電（ステレオ、パソコン、電子レンジ、掃除機など、家電リサイクル法で定められている家電※ ³ 以外の家電）	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4
⑩乾電池	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4
⑪ボタン電池	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4
⑫充電式電池	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4
⑬蛍光灯	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4
⑭プリンタカートリッジ	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4
⑮食品トレー	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4
⑯卵パック	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4
⑰てんぷら油	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4

※1 「缶・びん」「ペットボトル」「プラスチック製容器包装」「小型金属」「古紙類」（美原区のみ実施）の収集

※2 住宅街を廃品回収業者がトラックで古紙や小型家電などを回収するもの

※3 家電リサイクル法で定められている家電：エアコン、テレビ（ブラウン管、液晶・プラズマ）、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機

【結果】

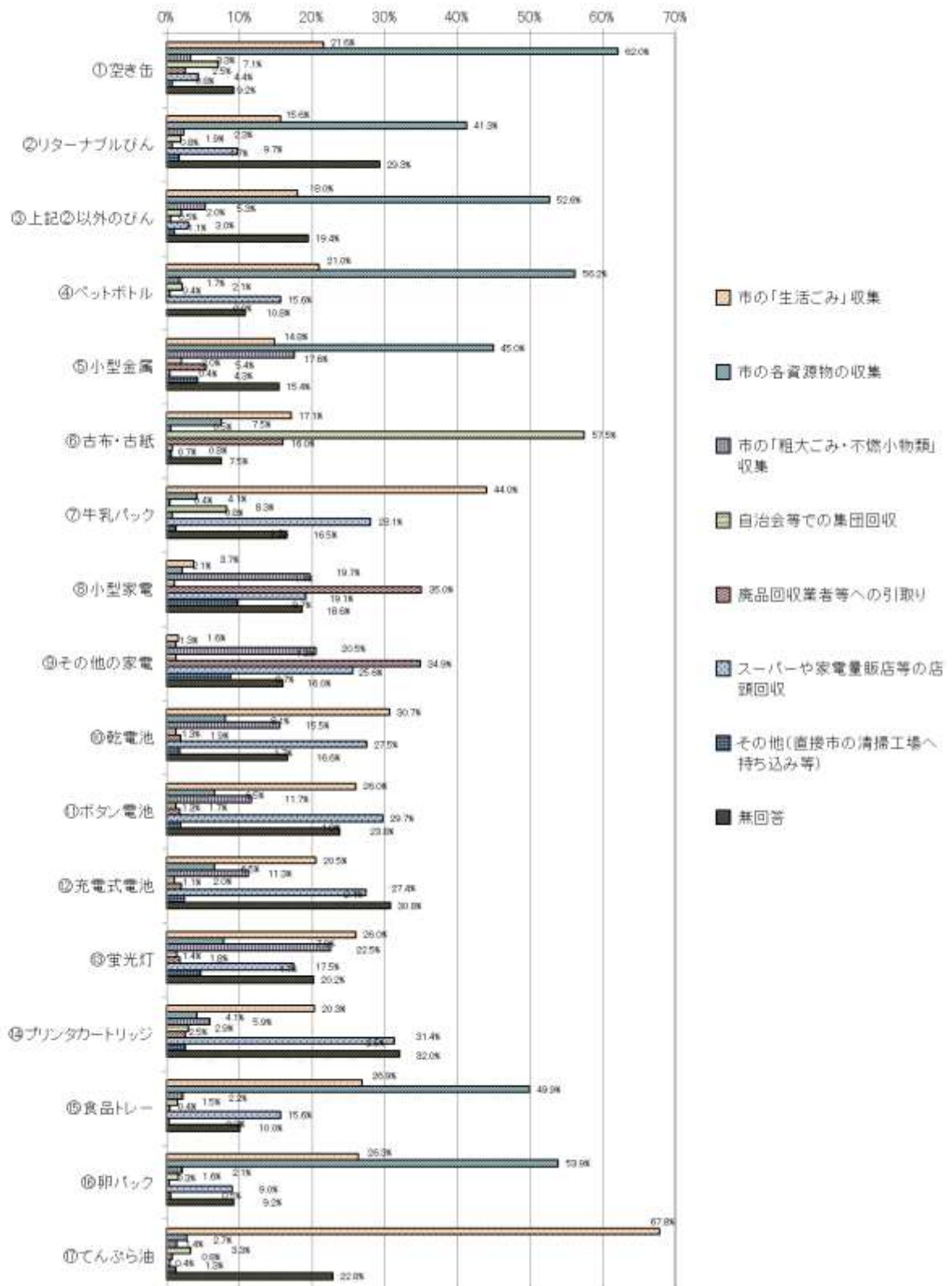
＜各種資源物の排出方法＞

- 資源ごみとして収集している①空き缶～⑤小型金属、⑮食品トレー、⑯卵パックは「市の各資源物の収集」が約5割以上となっている。

古布・古紙は「自治会での集団回収」が53.5%と多いが、その他資源物では集団回収への排出はほとんど見られない。

	市の「生活ごみ」 収集	市の各資源物 の収集	市の「粗大ごみ・ 不燃小物類」収 集	自治会等での 集団回収	廃品回収 業者等へ の引取り	スーパーや家 電量販店等 の店頭回収	その他(直接 市の清掃工場 へ持ち込み等)	無回答	合計 回答数	調査 対象数
①空き缶	222	639	34	73	26	45	8	95	1,142	1,030
②リターナブルびん	161	425	24	20	8	100	17	302	1,057	
③上記②以外のびん	185	542	55	21	5	31	11	200	1,050	
④ペットボトル	216	579	18	22	4	161	0	111	1,111	
⑤小型金属	152	463	181	21	56	4	44	159	1,080	
⑥古布・古紙	176	77	5	592	165	8	7	77	1,107	
⑦牛乳パック	453	42	4	85	8	289	13	170	1,064	
⑧小型家電	38	22	203	11	361	197	100	192	1,124	
⑨その他の家電	16	13	211	13	359	264	90	165	1,131	
⑩乾電池	316	83	160	13	20	283	18	171	1,064	
⑪ボタン電池	268	67	120	13	18	306	20	245	1,057	
⑫充電式電池	211	67	116	11	21	282	25	317	1,050	
⑬蛍光灯	268	81	232	14	19	180	48	208	1,050	
⑭プリンタカートリッジ	209	42	61	30	26	323	26	330	1,047	
⑮食品トレー	277	514	23	15	4	161	3	103	1,100	
⑯卵パック	271	555	22	16	3	93	5	95	1,060	
⑰てんぷら油	698	28	14	34	8	4	13	235	1,034	

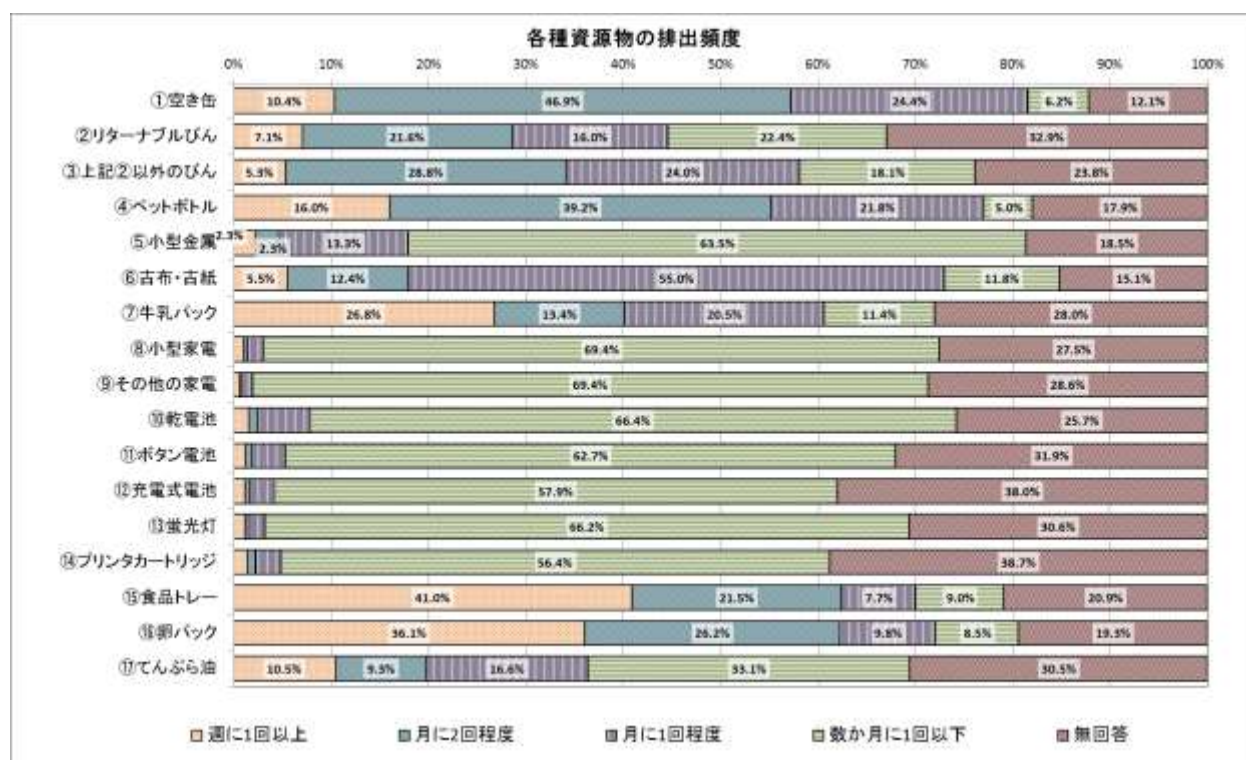
各種資源物の排出方法



＜各資源物の排出頻度＞

- 資源ごみとして収集している品目は概ね月 1 回程度以上の頻度で排出する 割合が多いが、⑧小型家電～⑭プリンターカートリッジは数ヶ月に 1 回以下が 6 割以上となっている。

	週に1回以上	月に2回程度	月に1回程度	数か月に1回以下	無回答	調査数
①空き缶	107	483	251	64	125	1,030
②リターナブルびん	73	222	165	231	339	1,030
③上記②以外のびん	55	297	247	186	245	1,030
④ペットボトル	165	404	225	52	184	1,030
⑤小型金属	24	24	137	654	191	1,030
⑥古布・古紙	57	128	567	122	156	1,030
⑦牛乳パック	276	138	211	117	288	1,030
⑧小型家電	11	3	18	715	283	1,030
⑨その他の家電	7	1	12	715	295	1,030
⑩乾電池	16	9	56	684	265	1,030
⑪ボタン電池	13	6	36	646	329	1,030
⑫充電式電池	12	5	26	596	391	1,030
⑬蛍光灯	12	4	17	682	315	1,030
⑭プリンターカートリッジ	15	8	27	581	399	1,030
⑮食品トレイ	422	221	79	93	215	1,030
⑯卵パック	372	270	101	88	199	1,030
⑰てんぷら油	108	96	171	341	314	1,030



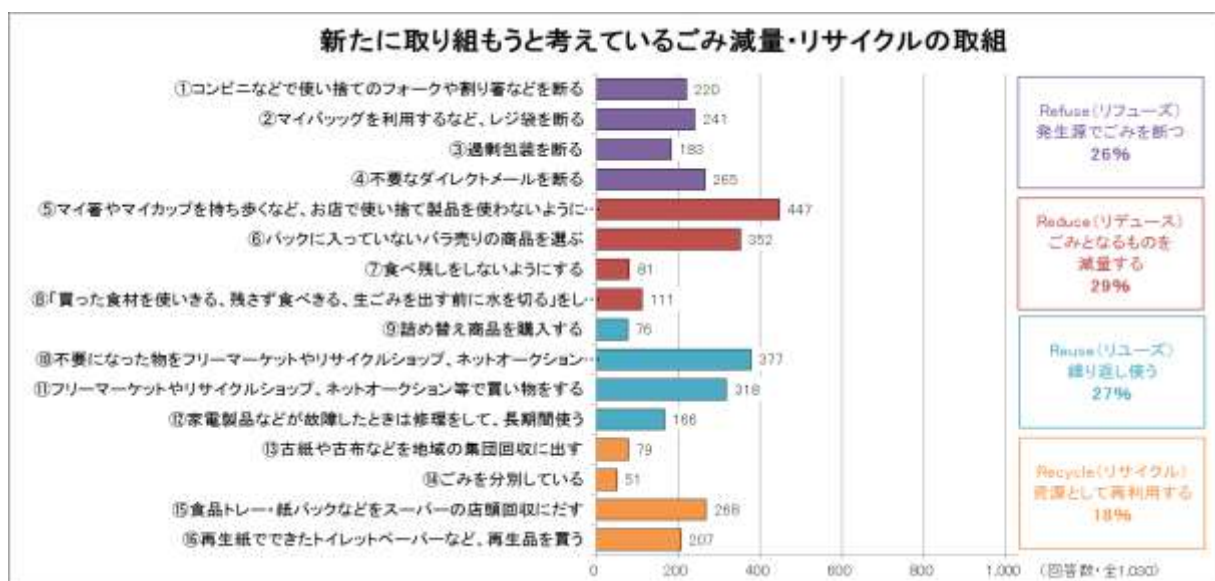
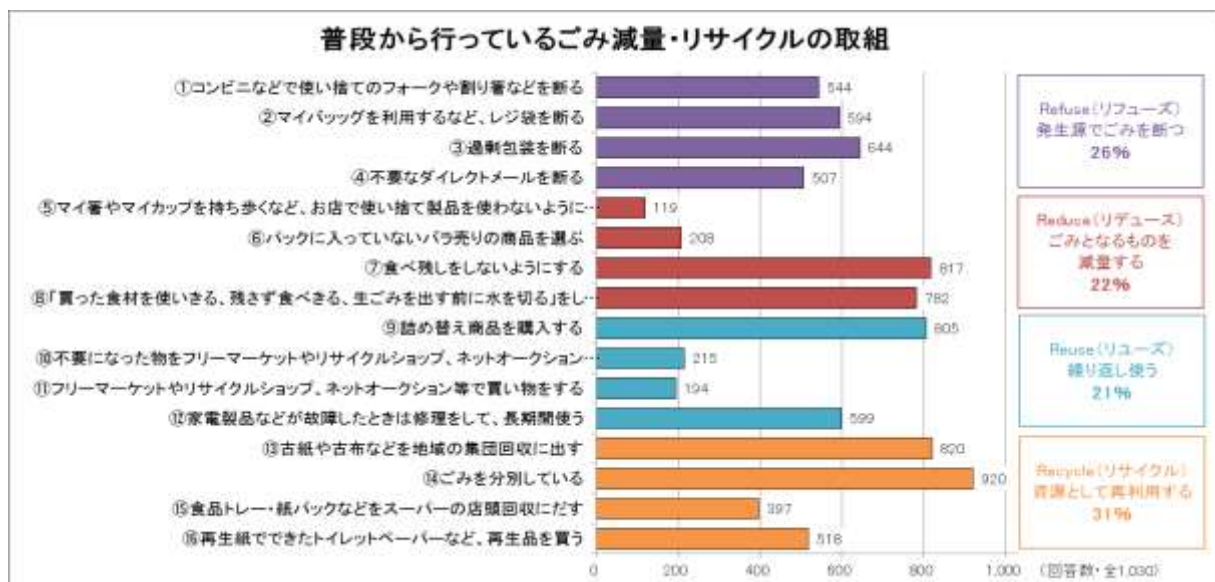
- (6) 次に挙げるごみ減量・リサイクルの取り組みのうち、「①普段から行っている」と「②今後新たに取り組もうと考えている」に該当するものすべてに○をしてください。

取り組み	①普段から行っている	②新たに取り組もうと考えている
a. 古紙や古布などを地域の集団回収に出す		
b. ごみを分別している		
c. 食品トレー・紙パックなどをスーパーの店頭回収に出す		
d. コンビニなどで使い捨てのフォークや割り箸などを断る		
e. マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る		
f. 過剰包装を断る		
g. マイ箸やマイカップを持ち歩くなど、お店で使い捨て製品を使わないようにする		
h. パックに入っていないバラ売りの商品を選ぶ		
i. 再生紙でできたトイレトペーパーなど、再生品を買う		
j. 詰め替え商品を購入する		
k. 不要になった物をフリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で売る		
l. フリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で買い物をする		
m. 家電製品などが故障したときは修理をして、長期間使う		
n. 食べ残しをしないようにする		
o. 「買った食材を使いきる、残さず食べきる、生ごみを出す前に水を切る」をしている		
p. 不要なダイレクトメールを断る		

【結果】

- 新たに取り組もうと考えている行動では、リサイクル行動の割合が31%→18%と少なくなり、リデュースが22%→29%、リユースが21%→27%と多くなっている。

	普段から 行っている	新たに取り組もう と考えている
①コンビニなどで使い捨てのフォークや割り箸などを断る	544	220
②マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る	594	241
③過剰包装を断る	644	183
④不要なダイレクトメールを断る	507	265
⑤マイ箸やマイカップを持ち歩くなど、お店で使い捨て製品を使わないようにする	119	447
⑥パックに入っていないバラ売りの商品を選ぶ	208	352
⑦食べ残しをしないようにする	817	81
⑧「買った食材を使いきる、残さず食べきる、生ごみを出す前に水を切る」をしている	782	111
⑨詰め替え商品を購入する	805	76
⑩不要になった物をフリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で売る	215	377
⑪フリーマーケットやリサイクルショップ、ネットオークション等で買い物をする	194	318
⑫家電製品などが故障したときは修理をして、長期間使う	599	166
⑬古紙や古布などを地域の集団回収に出す	820	79
⑭ごみを分別している	920	51
⑮食品トレイ・紙パックなどをスーパーの店頭回収にだす	397	268
⑯再生紙でできたトイレtpーパーなど、再生品を買う	518	207



(7) その他、取り組んでいるごみ減量・リサイクル行動がありましたらご記入ください。

【結果】

- その他取り組んでいるごみ減量・リサイクル行動については、回答数は少ないものの、「生ごみなどは、庭や畑に埋め肥料にする（コンポストを利用）」、「不要なものは買わない」、「ペットボトルキャップの回収」、「古布・古着をリメイクする」などに10～20数票の回答があった。

その他取り組んでいるごみ減量・リサイクル行動	件数
不要な物は買わない	19
生ごみなどは、庭や畑に埋め肥料にする(コンポストを利用)	24
ペットボトルキャップの回収	11
古布・古着をリメイクする	10
デスポーザーを利用する	2
潰す・小さく切るなどして、小さくして出している	8
料理で捨てる物をなくす	9
服や靴は、リサイクルや貰ったり譲っている	0
焼却炉で燃やす	4
アルミ缶は障害者作業所に出している	2
過剰包装品を買わない、再生費のものを選ぶ、レジ袋を貰わないなどの買い物行動	8
マイカップ、マイ箸行動	4
手編みのスポンジを使っている	0
できる限り廃品回収業者に頼んでいる	7
布おむつを使っている	1
日頃から部屋の整理整頓に努め、減量化に心がける	8
ペットボトルや紙箱など再利用している	1
その他(要望など)	14

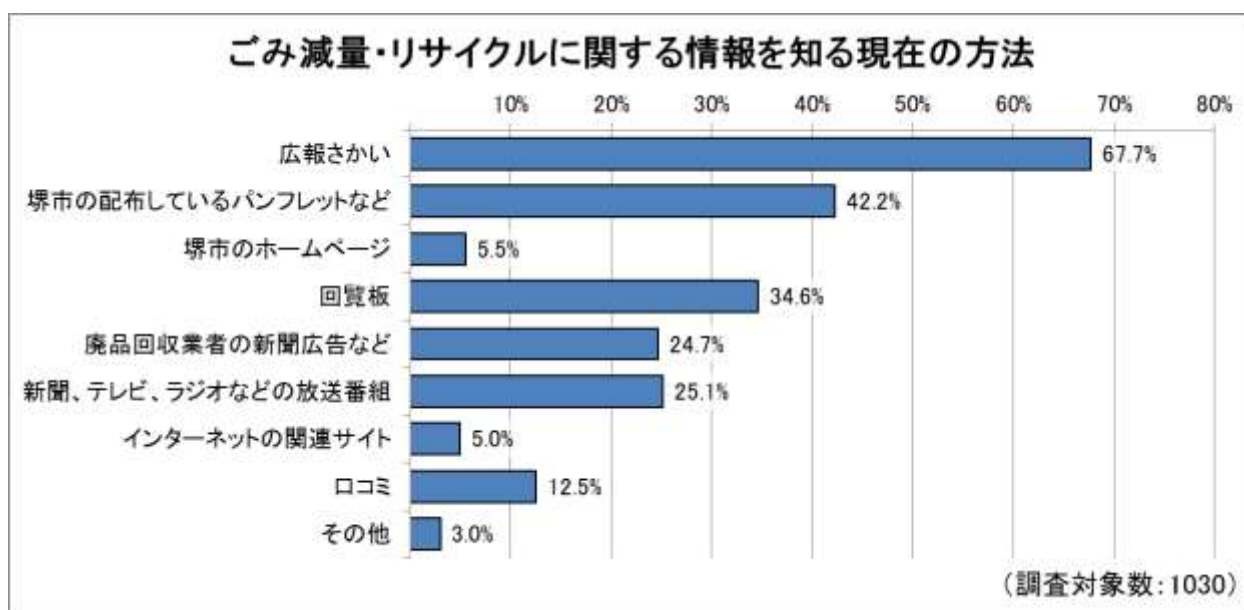
(8) あなたがごみ減量・リサイクルに関する情報を知る方法は何ですか。該当するものすべてに○をしてください。

- a. 広報さかい b. 堺市の配布しているパンフレットなど
c. 堺市のホームページ d. 回覧板 e. 廃品回収業者の新聞広告など
f. 新聞、テレビ、ラジオなどの放送番組 g. インターネットの関連サイト
h. 口コミ i. その他（具体的に： ）

【結果】

○ ごみ減量・リサイクルに関する情報を知る方法は「広報さかい」が67.7%と最も多く、次いで「堺市の配布しているパンフレットなど」が42.2%となっている。

広報さかい	堺市の配布しているパンフレットなど	堺市のホームページ	回覧板	廃品回収業者の新聞広告など	新聞、テレビ、ラジオなどの放送番組	インターネットの関連サイト	口コミ	その他	合計回答数	調査対象数
697	435	57	356	254	259	51	129	31	2269	1030



2. 現在の市の取り組みについて

(1) 本市が行っている下表①～⑧の取り組みについて、ア、イそれぞれで該当するもの一つだけに〇をしてください。

	ア. 実施・利用していますか				イ. 今後、実施・利用したいですか			
	いつもしている	よくしている	たまにしている	していない	ぜひしたい	機会があればしたい	あまりしたいとは思わない	全くしたいと思わない
① ごみの4 R運動 ごみ減量のための行動として、Refuse（発生源でごみを断つ）、Reduce（ごみとなるものを減量する）、Reuse（繰り返し使う）、Recycle（資源として再利用する）を推進する運動	1	2	3	4	1	2	3	4
② ごみ1袋運動 収集日に出すごみを1袋に、現在1袋の家庭はより小さな袋にすることで、ごみの減量・排出マナーの向上・資源化を推進する運動	1	2	3	4	1	2	3	4
③ リサイクル情報板の設置 家庭で不要になった物で、再利用可能な物を無料で提供していただき、譲り受け希望者が活用するための情報板を各区役所に設置しています	1	2	3	4	1	2	3	4
④ 集団回収制度 地域の自治会やこども会などで行われている古紙や古布の集団回収に対し、報償金（1kg あたり 4 円）を交付し推進しています	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤ 生きごみさん講習会 電気を使わない環境にやさしい生ごみの処理方法である「生きごみさん」の方法についての講習会を開催しています	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥ 市内イベントでのブース設置 区民まつり等で、ごみ減量の啓発や、アンケート、リサイクル製品の展示などを行っています	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦ 「どこでもセミナー」～堺市生涯学習まちづくり出前講座※～の実施 市の職員が講師として各地域に出向き、ごみ問題に関する講演を行っています	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧ 施設見学 クリーンセンター（ごみ焼却工場）やリサイクルプラザ（缶・びん選別施設）では施設見学を実施しており、ごみ問題の啓発と情報提供を行っています	1	2	3	4	1	2	3	4

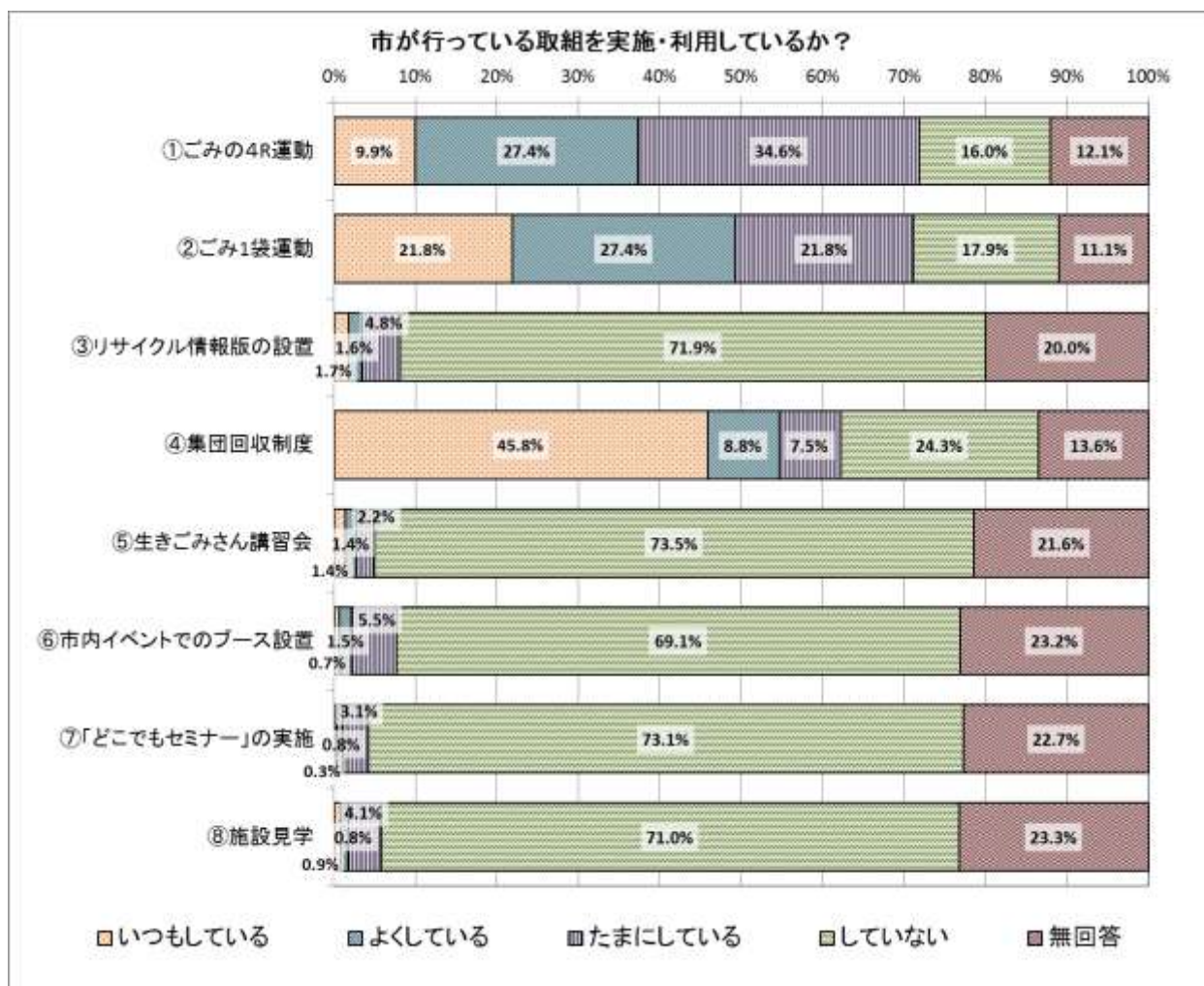
※平成25年度「どこでもセミナー」～堺市生涯学習まちづくり出前講座～「ごみ」に関するテーマ
「あなたが出したごみのその先は・・・」 「ムーやんおしえて！ごみもんだい」
「楽しく学んでみんなで分別」 「ダンボール箱で生ごみ減量体験」 「ごみ収集車ってなあに？」

【結果】

＜現在、実施・利用しているか＞

- 市が行っている取組に対して現在の実施・利用状況は、「いつもしている」のは、「集団回収制度」が45.8%と多く、次いで「ごみ一袋運動」21.8%、「ごみの4R運動」9.9%となっている。一方「リサイクル情報版の設置」、「生きごみさん講習会」、「市内イベントでのブース設置」、「どこでもセミナーの実施」、「施設見学」は「実施・利用していない」が7割程度となっている。

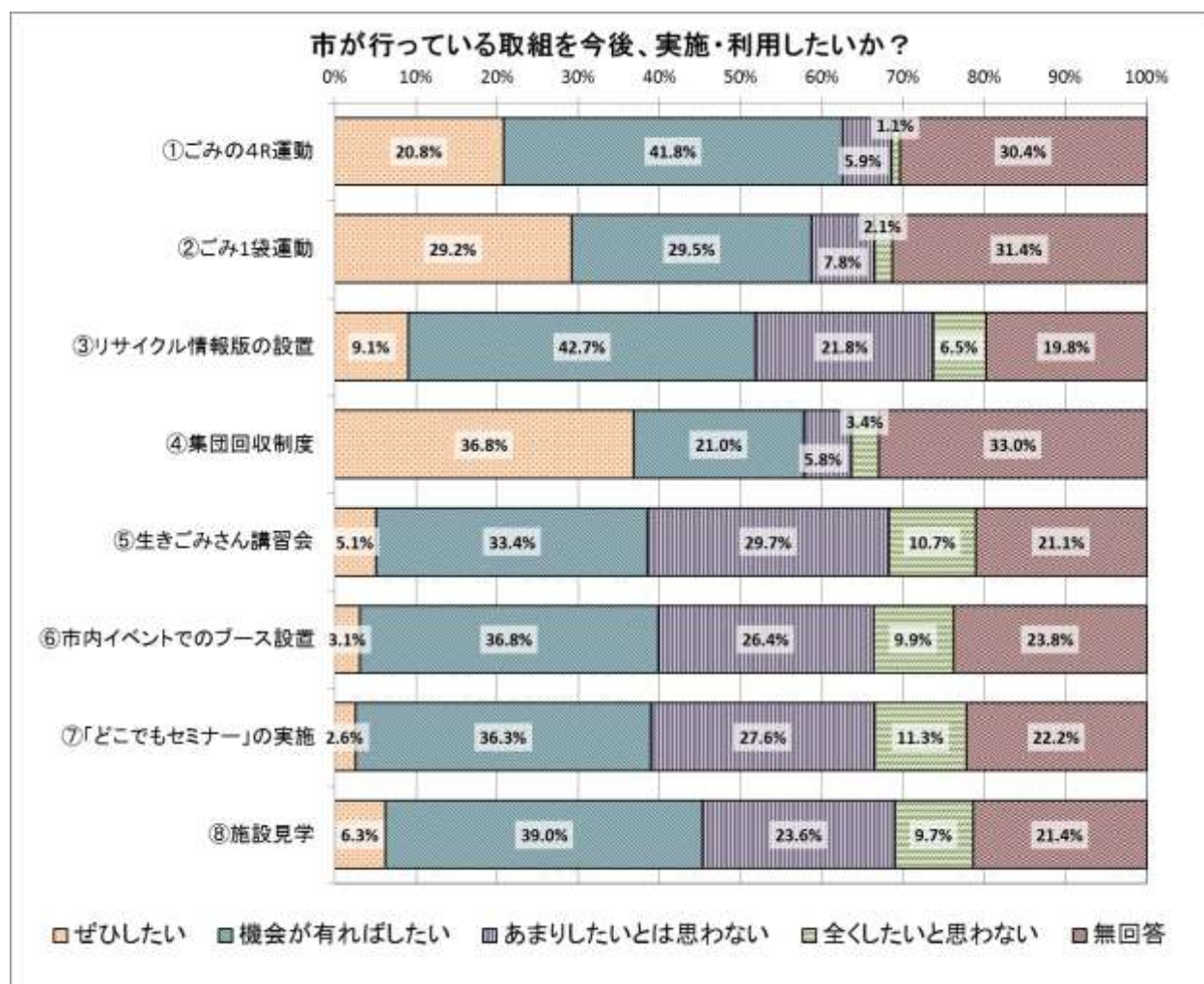
	いつもしている	よくしている	たまにしている	していない	無回答	調査数
① ごみの4R運動	102	282	356	165	125	1030
② ごみ1袋運動	225	282	225	184	114	1030
③ リサイクル情報版の設置	18	16	49	741	206	1030
④ 集団回収制度	472	91	77	250	140	1030
⑤ 生きごみさん講習会	14	14	23	757	222	1030
⑥ 市内イベントでのブース設置	7	15	57	712	239	1030
⑦ 「どこでもセミナー」 ～堺市生涯学習まちづくり出前講座～の実施	3	8	32	753	234	1030
⑧ 施設見学	9	8	42	731	240	1030



<今後の実施・利用意向について>

- 「集団回収制度」が36.8%と多く、次いで「ごみ一袋運動」29.2%、「ごみの4R運動」20.8%と現在の実施・利用状況とほぼ同じである。一方「リサイクル情報版の設置」は、現在は71.9%が利用していないとの回答だったが、今後の実施・利用意向ではぜひ利用したいが9.1%、機会があれば利用したいが42.7%となっている。

	ぜひしたい	機会があればしたい	あまりしたいとは思わない	全くしたいとは思わない	無回答	調査数
① ごみの4R運動	214	431	61	11	313	1030
② ごみ1袋運動	301	304	80	22	323	1030
③ リサイクル情報版の設置	94	440	225	67	204	1030
④ 集団回収制度	379	216	60	35	340	1030
⑤ 生きごみさん講習会	53	344	306	110	217	1030
⑥ 市内イベントでのブース設置	32	379	272	102	245	1030
⑦ 「どこでもセミナー」～堺市生涯学習まちづくり出前講座～の実施	27	374	284	116	229	1030
⑧ 施設見学	65	402	243	100	220	1030



【（１）続き】

⑨⑩については該当するものに○をしてください。

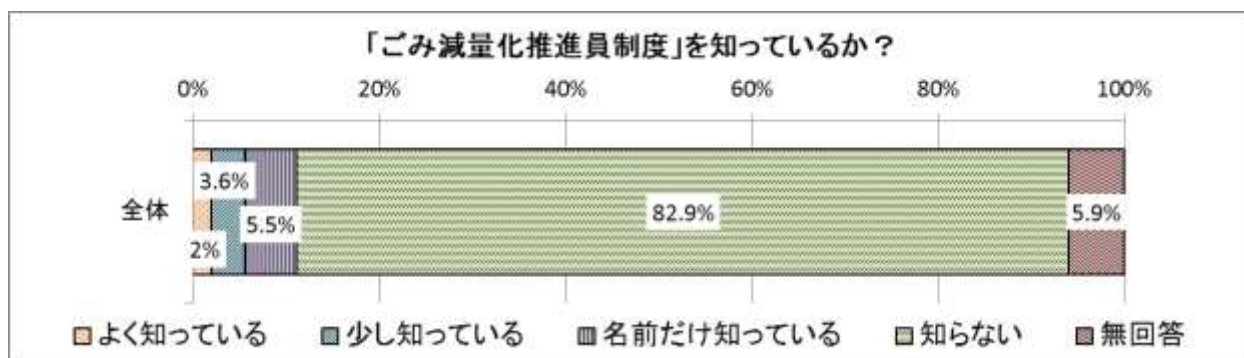
	ご存じですか			
	よく知っている	少し知っている	名前だけ知っている	知らない
⑨ ごみ減量化推進員制度 ごみ減量・リサイクルを推進するため、地域のリーダーとして市と地域をつなぐ役割を担っていただく市民に対し、ごみ減量化推進員を依頼している	1	2	3	4
⑩ ムーやん 本市のごみ減量マスコットキャラクターの「ムーやん」を活用して、啓発や情報発信を行っている 	1	2	3	4

【結果】

＜ごみ減量化推進員制度＞

- 「ごみ減量化推進員制度」の知名度について、「よく知っている」は2.0%で、82.9%が知らないとしている。

	よく知っている	少し知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答	調査数
全体	21	37	57	854	61	1030

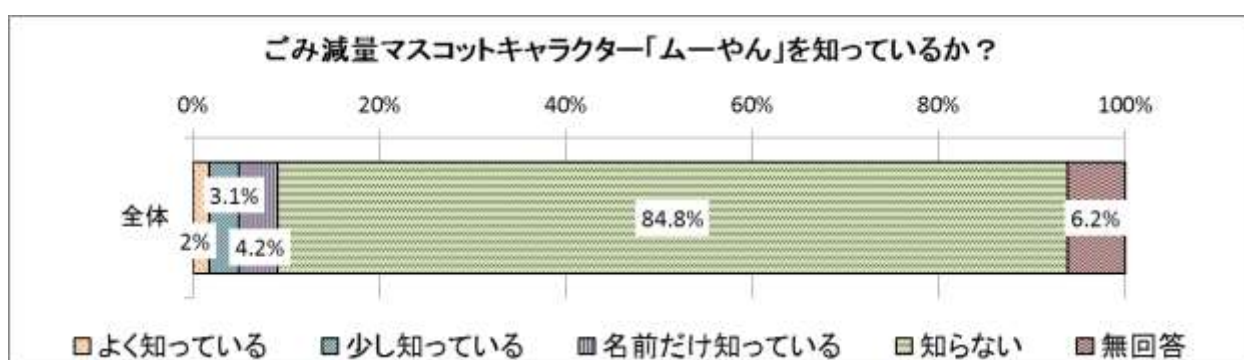


<ムーヤン>

- 「ムーヤン」の知名度は「よく知っている」は2%で、84.8%が「知らない」としている。

前調査結果の「ムーヤン」の知名度は「知らない」が94.4%であり若干知名度は上がっている。

	よく知っている	少し知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答	調査数
全体	18	32	43	873	64	1030



(2) 上記の「⑩ムーヤン」についてお聞きします。今後「ムーヤン」をどのように活用するのが効果的と思いますか。アイデアがありましたらご記入ください。

【結果】

- 「ムーヤン」の効果的な活用に関する意見の上位は「スーパーやイベント会場でのごみ減量活動」「保育園、幼稚園、小学校で子ども達向けに活用」、「広報さかいなどで知名度をあげる事」となっていた。

「ムーヤン」の効果的な活用についての意見	件数
スーパーやイベント会場でごみ減量活動	27
保育園や幼稚園、小学校に出向き子供たちにごみ減量について意識を持たせる	26
知名度をあげる事(広報さかいなど)	23
ゴミ収集車にイラストをする	12
ムーヤングッズの販売・配布	13
TVやアニメでPR	4
ゴミ袋(有料)・粗大ごみ券にムーヤンを印刷する	4
スーパー・公園などのごみ収集場所にムーヤンを置く	4
ゆるキャラコンテスト	3
各自治体、各集会等を回って啓発活動	3
しゃべってほしい	2
ムーヤンの曲をつくる	2
一緒に地域のゴミ拾いをする	2
いろんなムーヤンをつくる(燃えるムーヤン、缶ムーヤン、プラゴミムーヤンなど)	2
SNSを使用しての活動報告	1
その他[キャラクターは必要ない(費用の無駄)]	15
その他[何をイメージしたキャラクターなのか。ネーミングに疑問]	9
その他[可愛くない。イメージが悪い]	9
その他	14

3. ごみ処理について

- (1) 現在、ごみ減量に努めている人もそうでない人も一律のサービスとなっており、これが減量化が進まない要因とも考えられています。このことについてどう思いますか。該当するもの一つだけに○をしてください。

平成24年度ごみ処理経費※は年間1人あたり8,490円だよ

※ごみ処理経費とは、ごみ収集運搬・中間処理・埋立処分にかかる経費

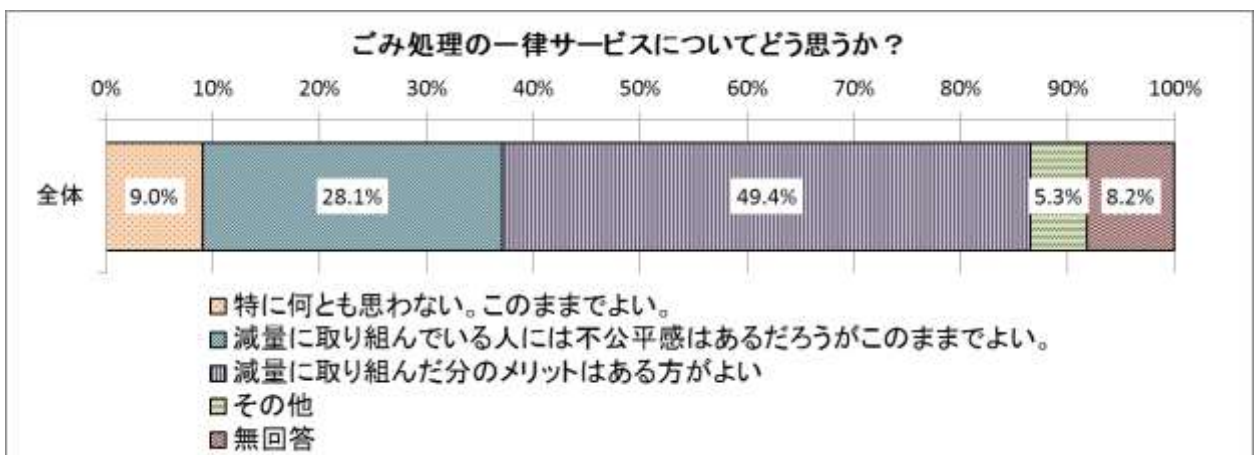


1. 特に何とも思わない。このままでよい。
2. 減量に取り組んでいる人には不公平感はあるだろうがこのままでよい。
3. 減量に取り組んだ分のメリットはある方がよい。
4. その他（具体的に： _____ ）

【結果】

- ごみ減量に努めている人とそうでない人とが一律のごみ処理サービスを受けられる現状に対しては、「減量に取り組んだ分のメリットはある方がよい」と回答した割合が、市全体でみると49.4%となっていた。

	特に何とも思わない。 このままでよい。	減量に取り組んでいる人には不公平 感はあるだろうがこのままでよい。	減量に取り組んだ分の メリットはある方がよい。	その他	無回答	調査数
全体	93	289	509	55	84	1030



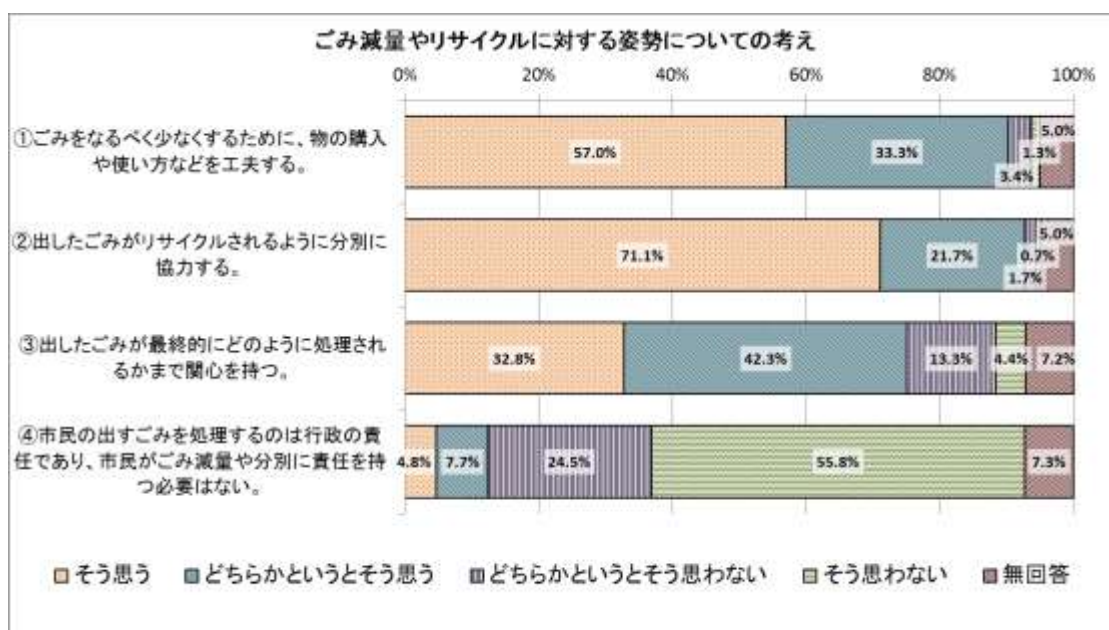
(2) ごみ減量やリサイクルに対する姿勢について、以下の①～④それぞれであなたの考えに最も近いものに○をしてください。

	そう思う	どちらかという 思う	どちらかという 思わない	そう思わ ない
①ごみをなるべく少なくするために、物の購入や使い方などを工夫する。	1	2	3	4
②出したごみがリサイクルされるように分別に協力する。	1	2	3	4
③出したごみが最終的にどのように処理されるかまで関心を持つ。	1	2	3	4
④市民の出すごみを処理するのは行政の責任であり、市民がごみ減量や分別に責任を持つ必要はない。	1	2	3	4

【結果】

○ ごみ減量やリサイクルに対する姿勢について「出したごみがリサイクルされるように分別に協力する」に対して71.1%が、また、「ごみをなるべく少なくするために物の購入や使い方などを工夫する。」に対して57.0%が「そう思う」と回答しており、一方で、「市民の出すごみを処理するのは行政の責任で・・・(略)」に対しては55.8%が「そう思わない」と回答している。

	そう思う	どちらかという 思う	どちらかという 思わない	そう思わ ない	無回答	調査数
① ごみをなるべく少なくするために、物の購入や使い方などを工夫する。	587	343	35	13	52	1030
② 出したごみがリサイクルされるように分別に協力する。	732	223	17	7	51	1030
③ 出したごみが最終的にどのように処理されるかまで関心を持つ。	338	436	137	45	74	1030
④ 市民の出すごみを処理するのは行政の責任であり、市民がごみ減量や分別に責任を持つ必要はない。	49	79	252	575	75	1030



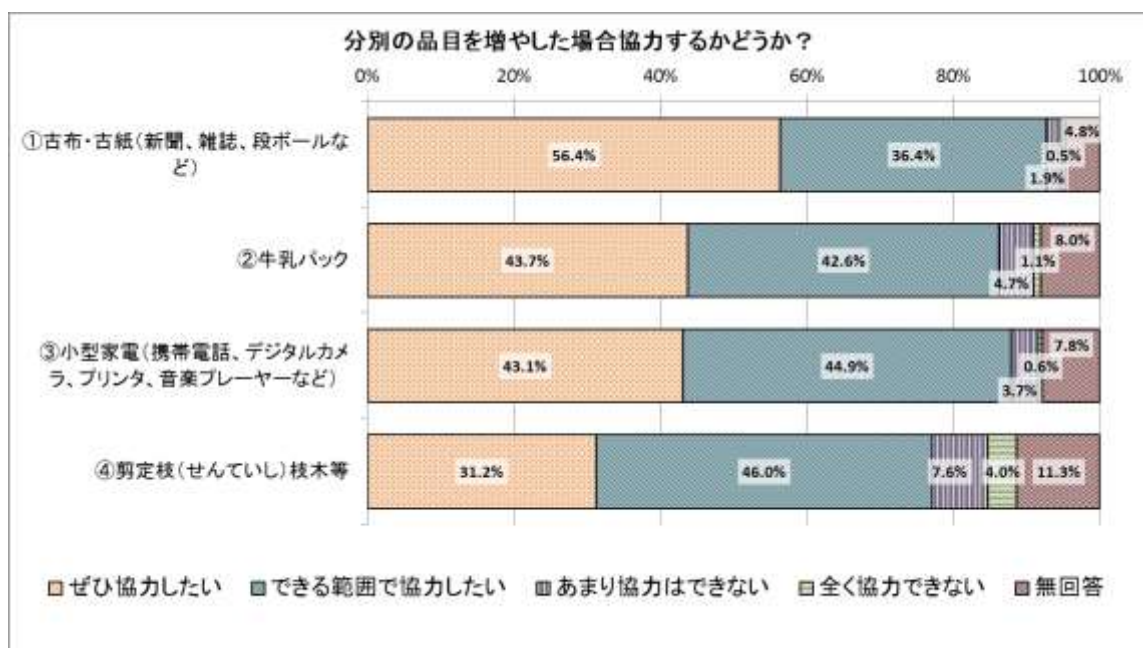
(3) 本市ではごみ減量を進めるため、以下の①～④について分別収集の拡充などの調査・検討を進めています。拡充した場合、あなたは協力しようと思いますか。それぞれ該当するもの一つだけに○をしてください。

	ぜひ協力したい	できる範囲で協力したい	あまり協力 はできない	全く協力 できない
①古布・古紙（新聞、雑誌、段ボールなど）	1	2	3	4
②牛乳パック	1	2	3	4
③小型家電（携帯電話、デジタルカメラ、プリンタ、音楽プレーヤーなど）	1	2	3	4
④剪定枝（せんていし） ※枝木等	1	2	3	4

【結果】

○ 分別品目を増やした場合の対応について、「古紙・古布」は56.5%が「ぜひ協力したい」と回答しており、「できる範囲で協力したい」も合わせると、すべての品目で約8割以上が協力的である。

	ぜひ協力したい	できる範囲で協力したい	あまり協力 はできない	全く協力 できない	無回答	調査数
① 古布・古紙(新聞、雑誌、段ボールなど)	581	375	20	5	49	1030
② 牛乳パック	450	439	48	11	82	1030
③ 小型家電(携帯電話、デジタルカメラ、プリンタ、音楽プレーヤーなど)	444	462	38	6	80	1030
④ 剪定枝(せんていし) 枝木等	321	474	78	41	116	1030



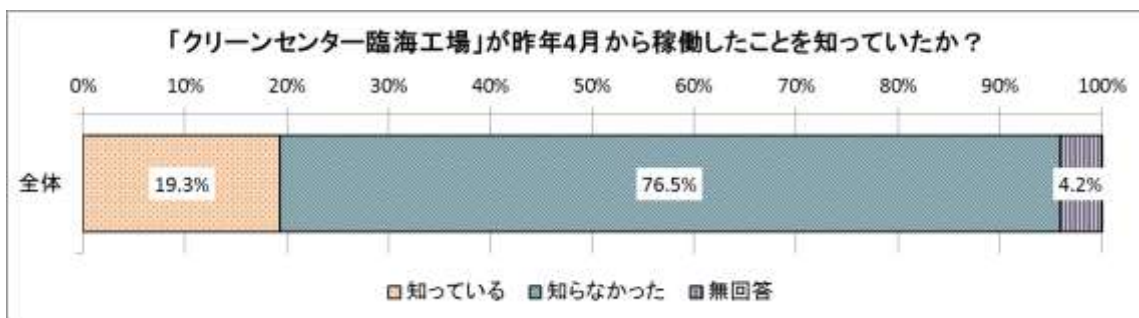
(4) クリーンセンター臨海工場（ごみ焼却施設）が昨年4月から稼働していることをご存じですか。該当するものに○をしてください。

1. 知っている 2. 知らなかった

【結果】

○ 臨海工場の稼働について、76.5%が「知らなかった」と回答している。

	知っている	知らなかった	無回答	調査数
全体	199	788	43	1030



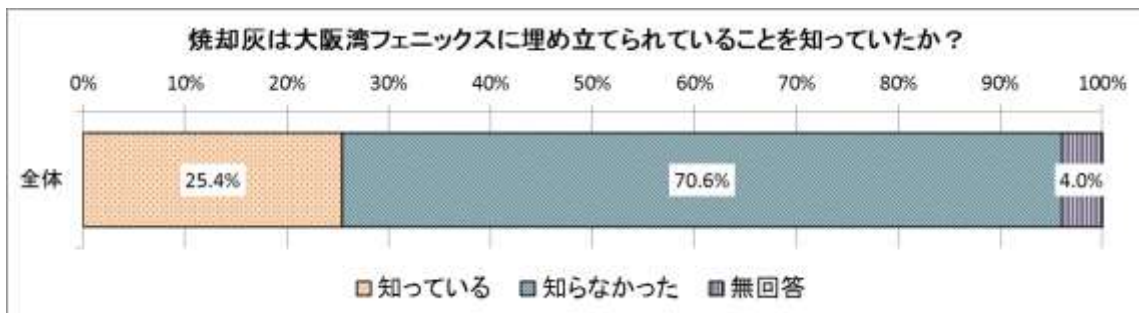
(5) ごみを焼却した後の焼却灰は最終的に大阪湾の埋め立て地（大阪湾フェニックス）に埋め立てられていることをご存じですか。該当するものに○をしてください。

1. 知っている 2. 知らなかった

【結果】

○ 焼却灰の大阪フェニックスへの埋立について、70.6%が「知らなかった」と回答している。

	知っている	知らなかった	無回答	調査数
全体	262	727	41	1030



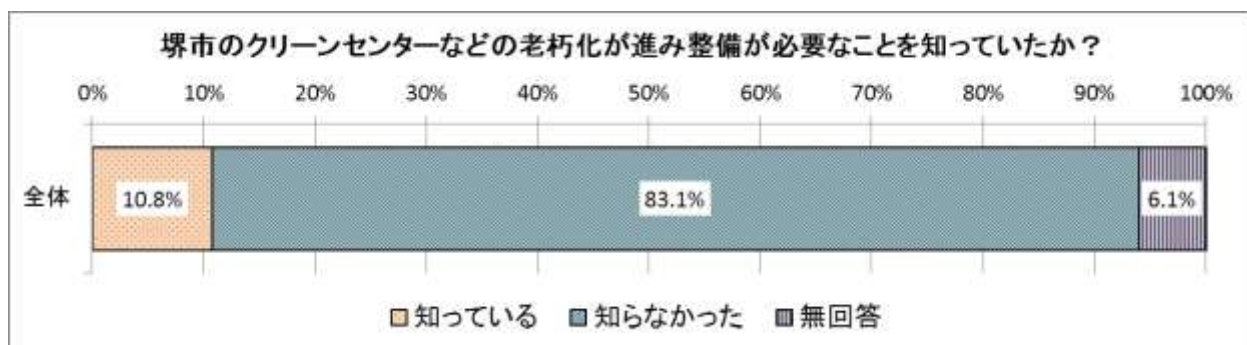
- (6) 本市クリーンセンターの稼働率は全国の政令指定都市の中でもとりわけ高くなっており、余力のない状態でごみの処理をしているというのが現状です。また、クリーンセンターをはじめ各施設の老朽化が進行しており、整備が必要であることをご存じですか。該当するものに○をしてください。

1. 知っている 2. 知らなかった

【結果】

- 市内のクリーンセンターの整備が必要なことについて、83.1%が「知らなかった」と回答している。

	知っている	知らなかった	無回答	調査数
全体	111	856	63	1030



4. 今後のごみ行政について

(1) 今後、本市に希望する取り組みについてお尋ねします

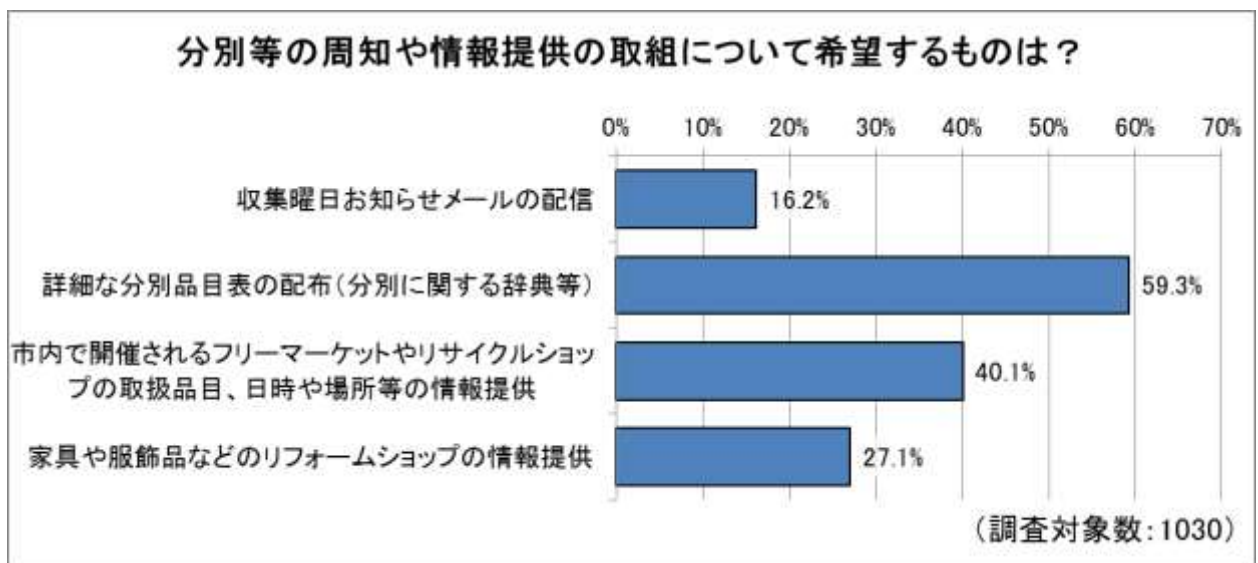
① 分別等の周知や情報提供の取り組みについて希望するものに2つまで〇をしてください。

- a. 収集曜日お知らせメールの配信
- b. 詳細な分別品目表の配布（分別に関する辞典等）
- c. 市内で開催されるフリーマーケットやリサイクルショップの取扱品目、日時や場所等の情報提供
- d. 家具や服飾品などのリフォームショップの情報提供

【結果】

〇 希望する分別等への周知、情報提供の取組については、「詳細な分別品目表の配布」が59.3%と最も多い。

収集曜日お知らせメールの配信	詳細な分別品目表の配布（分別に関する辞典等）	市内で開催されるフリーマーケットやリサイクルショップの取扱品目、日時や場所等の情報提供	家具や服飾品などのリフォームショップの情報提供	合計回答数	調査対象数
167	611	413	279	1470	1030



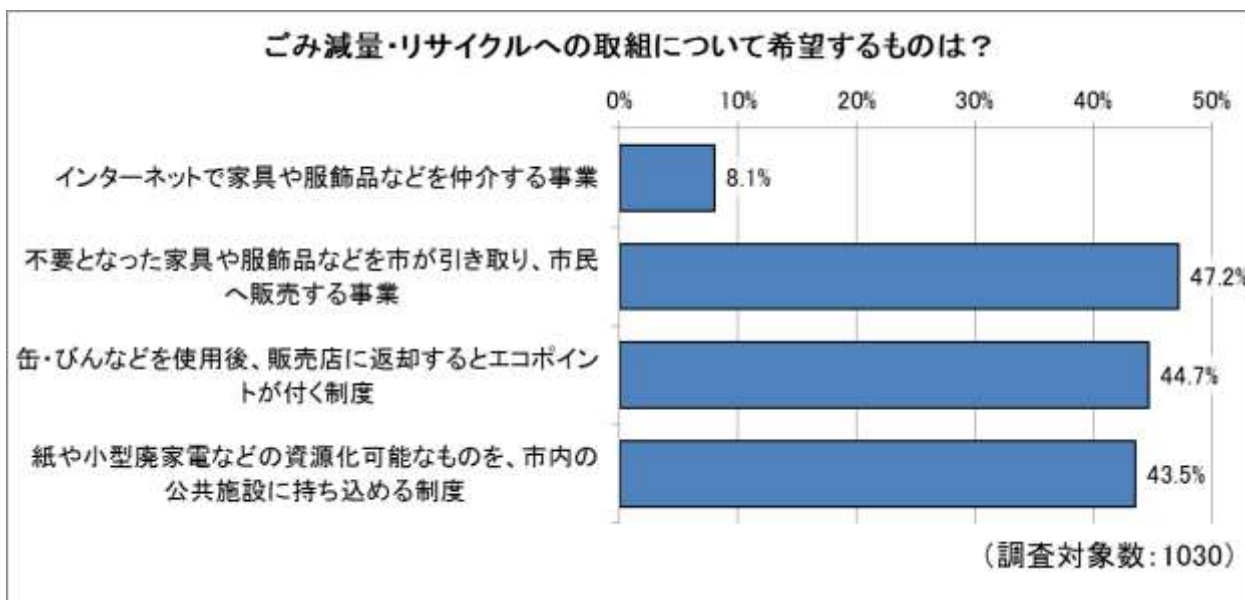
② ごみ減量・リサイクルへの取り組みについて希望するものに2つまで〇をしてください。

- a. インターネットで家具や服飾品などを仲介する事業
- b. 不要となった家具や服飾品などを市が引き取り、市民へ販売する事業
- c. 缶・びんなどを使用後、販売店に返却するとエコポイントが付く制度
- d. 紙や小型廃家電などの資源化可能なものを、市内の公共施設に持ち込める制度

【結果】

○ ごみ減量・リサイクルへの取組については、「インターネットで家具や服飾品を仲介する事業」以外を多く希望している。

インターネットで家具や服飾品などを仲介する事業	不要となった家具や服飾品などを市が引き取り、市民へ販売する事業	缶・びんなどを使用後、販売店に返却するとエコポイントが付く制度	紙や小型廃家電などの資源化可能なものを、市内の公共施設に持ち込める制度	合計回答数	調査対象数
83	486	460	448	1477	1030



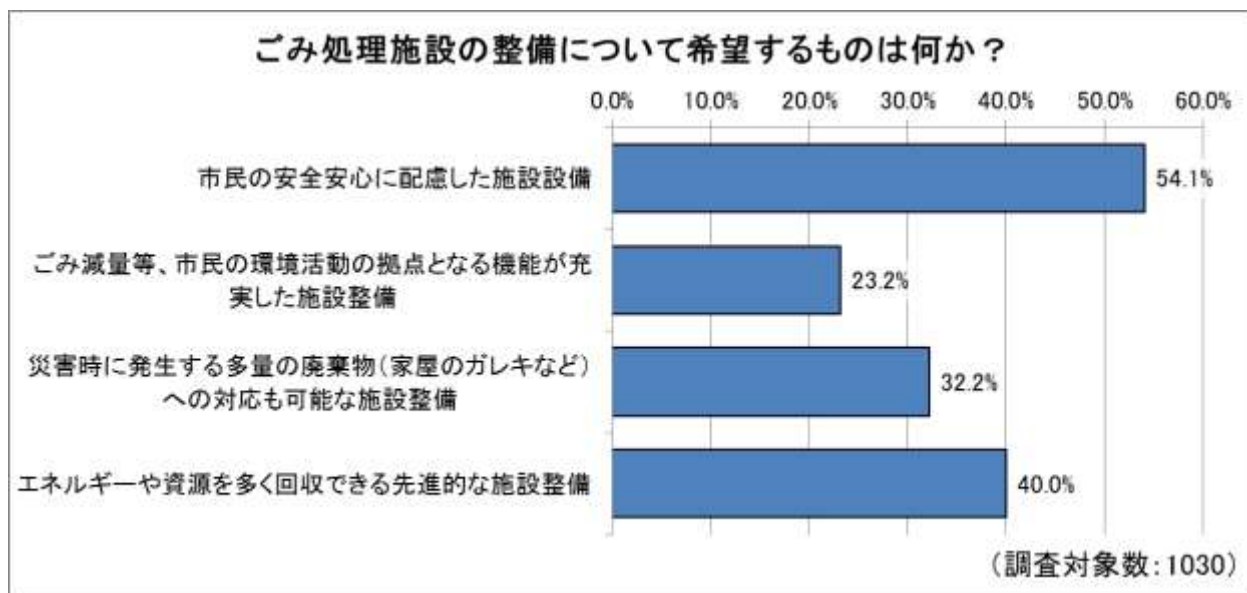
③ ごみの処理施設の整備について希望するものに2つまで〇をしてください。

- a. 市民の安全安心に配慮した施設整備
- b. ごみ減量等、市民の環境活動の拠点となる機能が充実した施設整備
- c. 災害時に発生する多量の廃棄物（家屋のガレキなど）への対応も可能な施設整備
- d. エネルギーや資源を多く回収できる先進的な施設整備

【結果】

○ ごみ処理施設の整備について希望するのは、「安全安心」が54.1%と最も多く、次いで「エネルギーや資源を多く回収できる」が40.0%となっている。

市民の安全安心に 配慮した施設設備	ごみ減量等、市民の環境 活動の拠点となる機能が 充実した施設整備	災害時に発生する多量 の廃棄物(家屋のガレキ など)への対応も可能な 施設整備	エネルギーや資源 を多く回収できる先 進的な施設整備	合計 回答数	調査 対象数
557	239	332	412	1540	1030



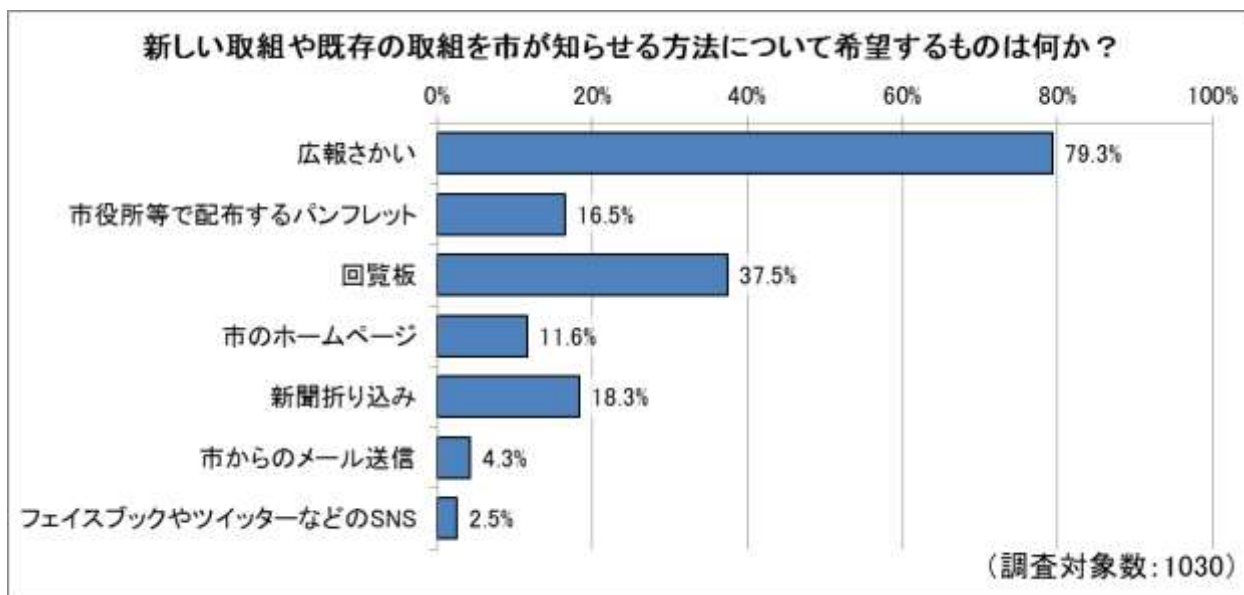
(2) 上記のような新しい取り組みや既存の取り組みを市がお知らせする方法について、希望するものに2つまで○をしてください。

- a. 広報さかい b. 市役所等で配布するパンフレット c. 回覧板
d. 市のホームページ e. 新聞折り込み f. 市からのメール送信
g. フェイスブックやツイッターなどのSNS

【結果】

○ 市からの情報発信の手段は市全体でみると「広報さかい」が79.3%と最も多く、次いで「回覧板」が37.5%となっている。

広報さかい	市役所等で配布するパンフレット	回覧板	市のホームページ	新聞折り込み	市からのメール送信	フェイスブックやツイッターなどのSNS	合計回答数	調査対象数
817	170	386	119	189	44	26	1751	1030



(3) その他、ごみ減量やリサイクル推進のために市が行う取り組みとして、どのようなものが必要だと思いますか。ご提案がありましたらご記入ください。

--

【結果】

- ごみ減量に関する授業を小学・中学校で増やす。リサイクルの習慣を子供に教える。
- 実際分別した物がどの程度リサイクルされているか分かり易く公表して欲しい。
- 市と販売業者とが連携して検討すれば、ごみの減量等が実現出来るのではないか。
- 段ボールを一般ゴミとして出しているが、資源化は無理なのか。もったいないと思っている。
- 市指定のごみ袋（有料）を使うようにすれば、ごみは減らせる。
- ごみ袋有料化については、将来計画実施化もやむを得ないと思う。
- ごみ収集の有料化には絶対反対。ごみ処理にかかる経費は税金で賄うべき。 など

第3章 事業所意識調査結果

1. ごみの排出と処理・リサイクル状況について

(1) 本市では平成18年3月に「第二次堺市一般廃棄物処理基本計画」を策定し、平成27年度までのごみ削減計画等を定めております。この計画が策定されていることをご存じでしたか。該当するものに○をしてください。

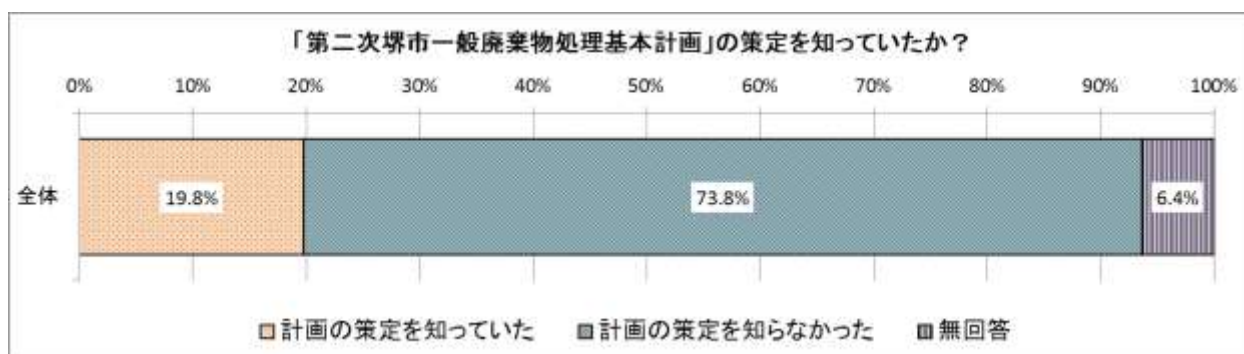
1. 計画の策定を知っていた
2. 計画の策定を知らなかった

【結果】

○ 現行計画の認知について、策定を知っているのは19.8%で、73.8%が認知していない。

84.5%が認知していなかった市民の場合よりはやや認知されている。

	計画の策定を知っていた	計画の策定を知らなかった	無回答	調査数
全体	161	600	52	813



(2) 貴事業所でのごみの排出量や分別、処理方法等についてお尋ねします。

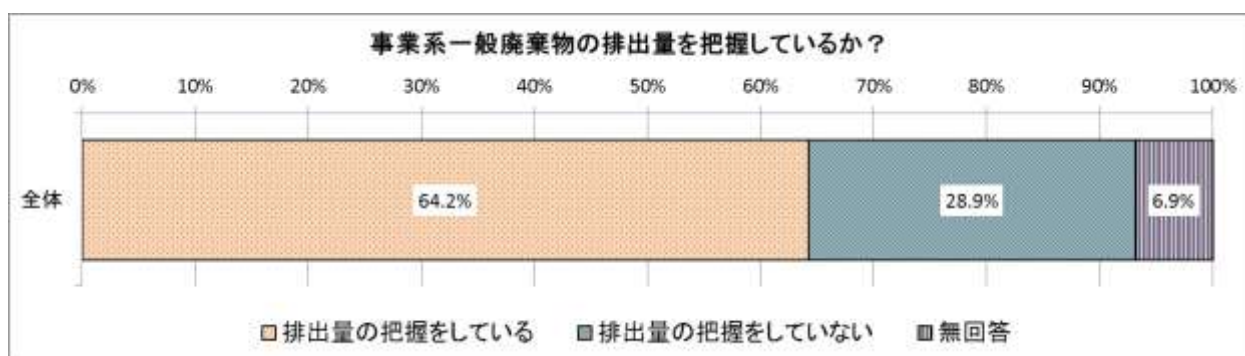
A 事業系一般廃棄物の排出量は年間どの程度ですか。

1. ①年間 () t ②日量 45ℓごみ袋 () 袋程度
2. 把握していない

【結果】

○ 事業系一般廃棄物について、64.2%の事業所が排出量を把握している。

	排出量の把握をしている	排出量の把握をしていない	無回答	調査数
全体	522	235	56	813



B ごみの処理費用についてお聞きします。

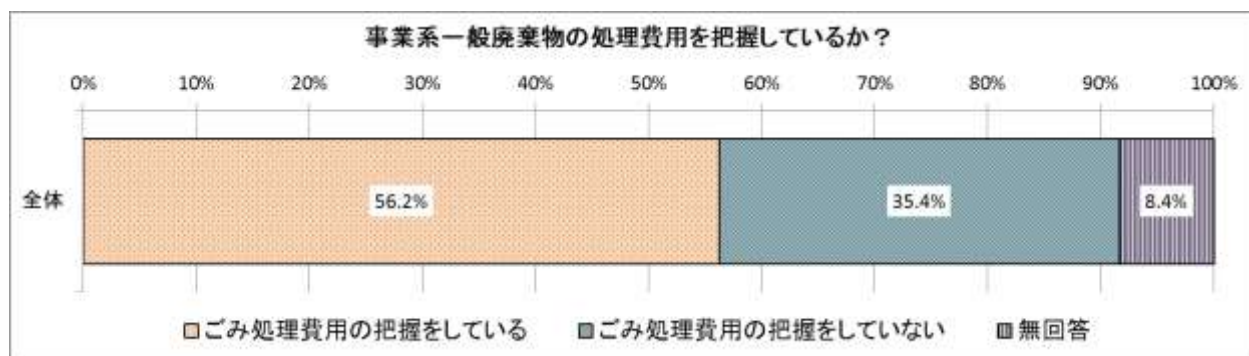
①事業系一般廃棄物の処理にかかる費用はどの程度ですか。

1. 年間 () 円 →下の②③にお答えください
2. 把握していない →2ページCへお進みください

【結果】

○ 事業系一般廃棄物の処理費用について市全体でみると56.2%の事業所が把握している。

	ごみ処理費用の把握をしている	ごみ処理費用の把握をしていない	無回答	調査数
全体	457	288	68	813



②処理費用を把握されている方にお尋ねします。費用はどのように算出されていますか。
該当するもの一つだけに○をしてください。

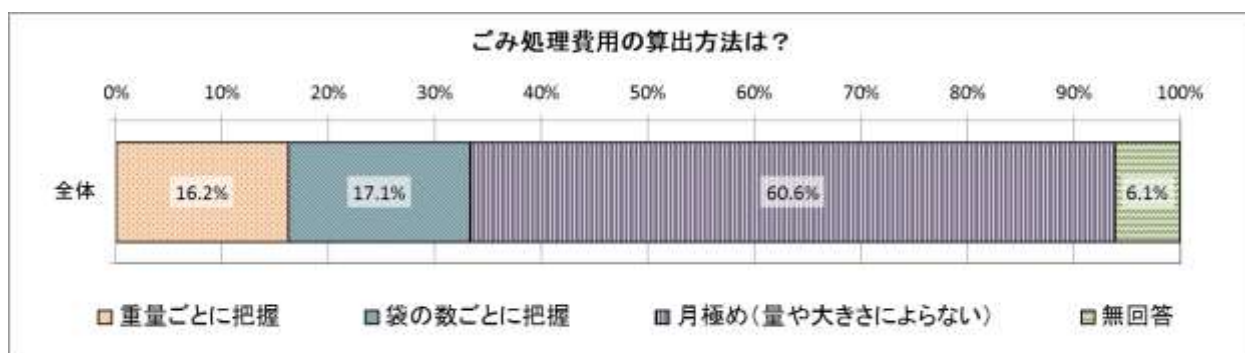
1. 重量ごと 2. 袋の数ごと 3. 月極め（量や大きさによらない）

【結果】

○ ごみ処理費用の算出方法は、市全体で見れば、「重量によらず月極によるもの」が60.6%と最も多く、次いで「袋の数ごと」が17.1%、「重量ごと」が16.2%となっている。

また、他の設問と比べて「無回答」の割合が多かった。

	重量ごとに把握	袋の数ごとに把握	月極め(量や大きさによらない)	無回答	調査数
全体	74	78	277	28	457



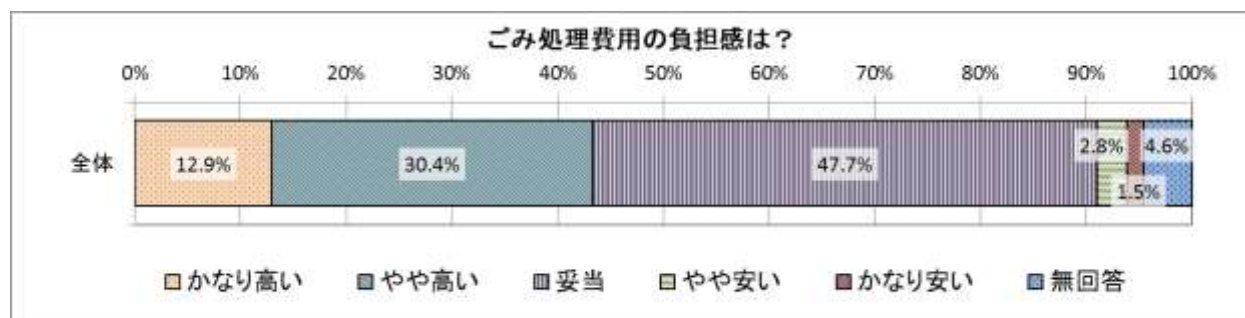
③処理費用を把握されている方にお尋ねします。費用の負担感はいかがですか。該当するもの一つだけに○をしてください。

1. かなり高い 2. やや高い 3. 妥当 4. やや安い 5. かなり安い

【結果】

○ ごみ処理費用の負担感は、市全体で見れば、「妥当」と感じている事業所が 47.7%と最も多く、次いで「やや高い」(30.4%)、「かなり高い」(12.9%)であった。

	かなり高い	やや高い	妥当	やや安い	かなり安い	無回答	調査数
全体	59	139	218	13	7	21	457



C 貴事業所ではどのようなごみを出していますか。下の①～⑨ごみの種類から多い順に3つご選択ください

多い順に番号をご記入ください→

1		2		3	
---	--	---	--	---	--

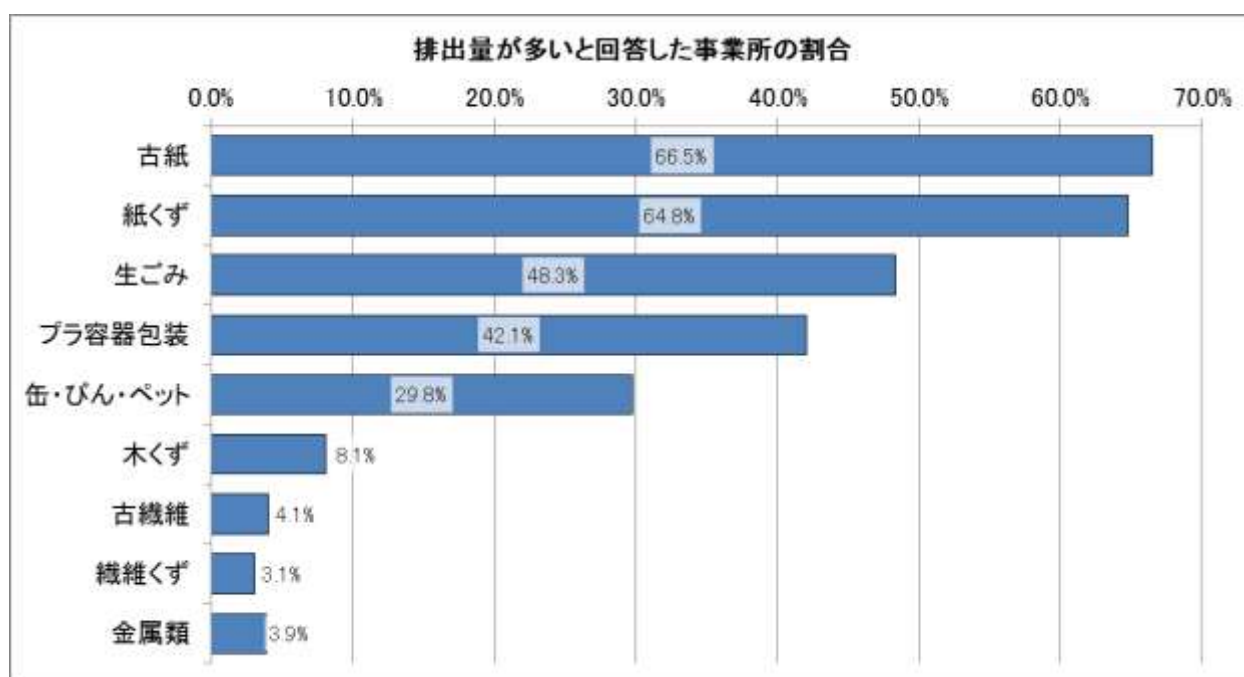
<ごみの種類>

- ①古紙（新聞・雑誌・段ボール・OA紙等）
- ②紙くず（ちり紙、紙コップ等）
- ③生ごみ（料理くず、残飯、茶かす等）
- ④プラスチック製容器包装（プラスチック製の弁当容器、包装材、レジ袋等）
- ⑤缶・びん・ペットボトル
- ⑥木くず（木ぎれ等）
- ⑦古繊維（古着・古布等）
- ⑧繊維くず（木綿くず、羊毛くず等）
- ⑨金属類

【結果】

○ 60%以上の事業所が「古紙」、「紙くず」の排出量が多いと回答しており、次いで48.3%の事業所が「生ごみ」の排出量が多いと回答している。

古紙	紙くず	生ごみ	プラ容器包装	缶・びん・ペット	木くず	古繊維	繊維くず	金属類	無回答	合計回答数	調査対象数
541	527	393	342	242	66	33	25	32	238	2439	813



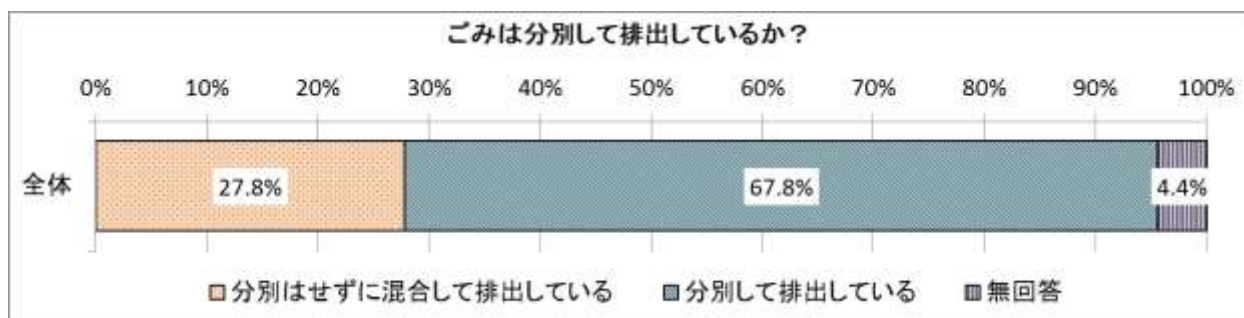
D ごみの分別はどのようにされていますか。該当するもの一つだけに○をしてください。

1. 分別はせずに全て混合し、排出をしている →5ページ(3)へお進みください
2. 分別して、排出をしている →次のE をお答えください

【結果】

○ ごみの分別について、分別して排出している事業所は67.8%となっている。

	分別はせずに混合して排出している	分別して排出している	無回答	調査数
全体	226	551	36	813



E 上記Dで「2. 分別して、排出をしている」とお答えの方にお尋ねします。以下のごみの種類（①～⑧）ごとに、ア～イまたはウの各項目について該当するもの一つだけに〇をしてください。「平成24年度実績量」については、数値を把握されている場合はご記入ください。

①焼却ごみ

ア．平成24年度実績量	総量（ ）t
イ．処理の方法	1. 民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託※ ¹ 2. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入 3. 貴事業所の処理施設で処理 4. 継続ごみ※ ² として市に収集を依頼 5. その他（具体的に： ）

※1 市が許可した一般廃棄物収集運搬業者（許可業者）に処理を委託すること。
※2 市が有料で収集しているごみ。

ア. 平成 24 年度実績量	総量（ ） t
イ. 処理の方法	1. 民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託※ ¹ 2. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入 3. 貴事業所の処理施設で処理 4. 継続ごみ※ ² として市に収集を依頼 5. その他（具体的に： ）

※2 市が有料で収集しているごみ。

○ 焼却ごみの処理方法は、市全体でみると許可業者への収集委託を行う事業所が65.7%と最も多い。

焼却ごみの処理方法は？

処理方法	割合
許可業者へ収集を委託	65.7%
市の清掃工場へ搬入	0.9%
自分のところで処理	7.6%
継続ごみとして収集依頼	8.0%
その他	5.1%
無回答	12.7%

②生ごみ類

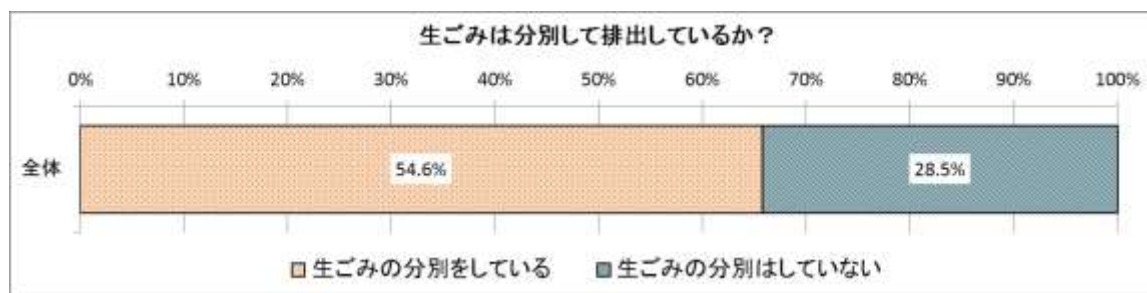
ア. 分別していますか	1. はい →下段「イ及びウ」をお答えください。 2. いいえ →下段「イ. 1. 総量」及び「ウ」をお答えください
イ. 平成 24 年度実績量	1. 総量 () t 2. 資源化量 () t
ウ. 処理の方法	1. 民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託 2. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入 3. 民間のリサイクル業者でリサイクル 4. 貴事業所の処理施設で処理 5. 継続ごみとして市に収集を依頼 6. その他（具体的に：)

【結果】

＜分別の有無＞

○ 生ごみの分別について、分別して排出している事業所は54.6%となっている。

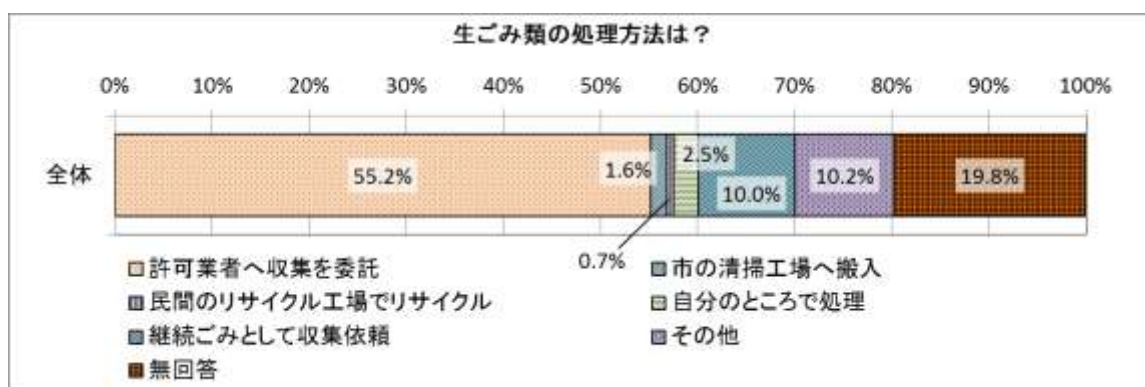
	生ごみの分別をしている	生ごみの分別はしていない	無回答	調査数
全体	301	157	93	551



＜処理方法＞

○ 生ごみの処理方法は、許可業者への収集委託を行う事業所が55.2%と最も多い。

	許可業者へ収集を委託	市の清掃工場へ搬入	民間のリサイクル工場でリサイクル	自分のところで処理	継続ごみとして収集依頼	その他	無回答	調査数
全体	304	9	4	14	55	56	109	551



③紙類（新聞・雑誌・段ボール・OA紙など）※機密書類は次の④でお答えください

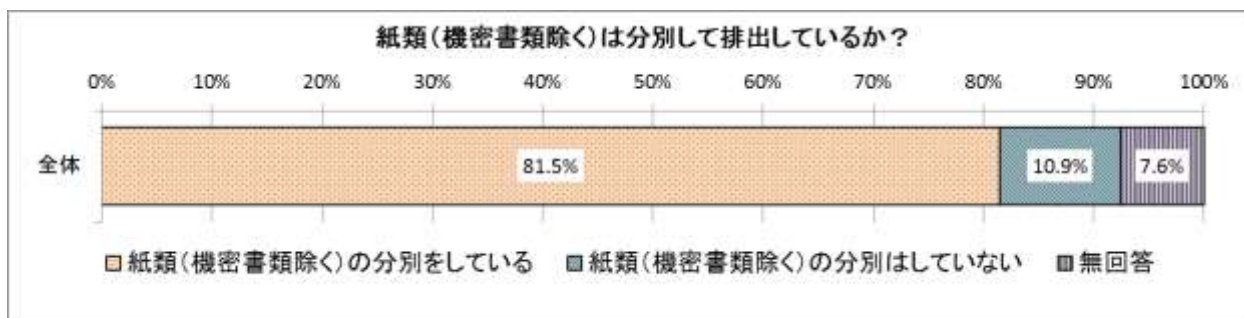
ア. 分別していますか	1. はい →下段「イ及びウ」をお答えください 2. いいえ →下段「イ. 1. 総量」及び「ウ」をお答えください
イ. 平成 24 年度実績量	1. 総量 () t 2. 資源化量 () t
ウ. 処理の方法	1. 民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託 2. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入 3. 民間のリサイクル業者でリサイクル 4. 貴事業所の処理施設で処理 5. 継続ごみとして市に収集を依頼 6. その他（具体的に：)

【結果】

＜分別の有無＞

○ 紙類（機密書類以外）を分別して排出している事業所は81.5%となっている。

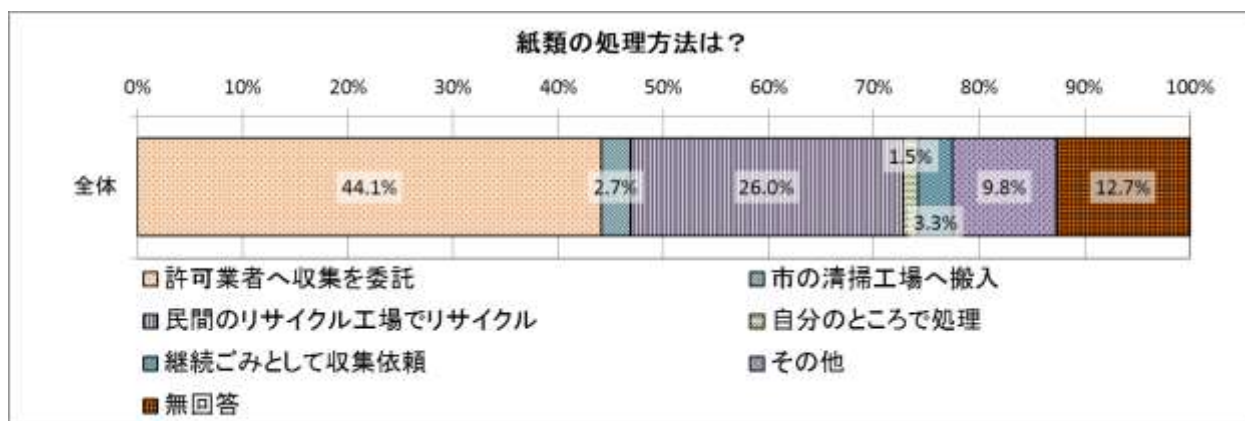
	紙類（機密書類除く）の分別をしている	紙類（機密書類除く）の分別はしていない	無回答	調査数
全体	449	60	42	551



<処理方法>

- 紙類（機密書類以外）の処理方法は、許可業者への収集委託を行う事業所が44.1%と最も多く、次いで民間のリサイクル工場でリサイクル（26.0%）となっている。

	許可業者へ 収集を委託	市の清掃工場へ 搬入	民間のリサイクル 工場でリサイクル	自分のところで 処理	継続ごみとし て収集依頼	その他	無回答	調査数
全体	243	15	143	8	18	54	70	551



④機密書類

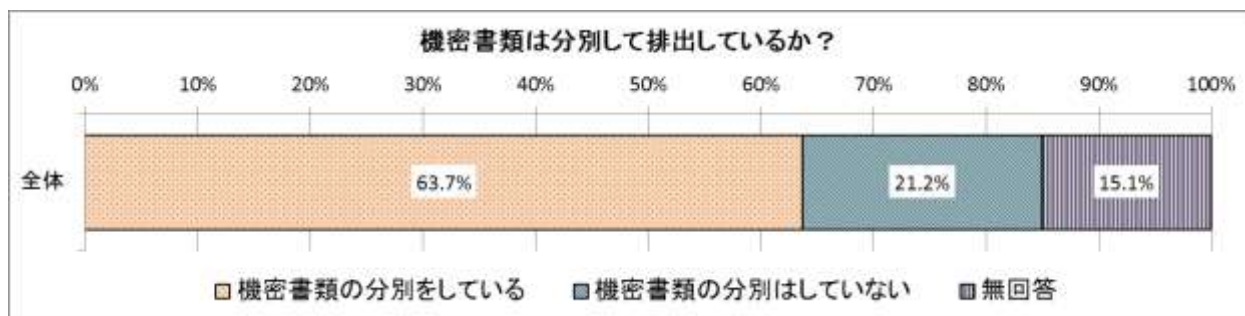
ア. ③の紙類と別に分別していますか	1. はい →下段「イ及びウ」をお答えください 2. いいえ →下段「イ. 1. 総量」及び「ウ」をお答えください
イ. 平成 24 年度実績量	1. 総量 () t 2. 資源化量 () t
ウ. 処理の方法	1. 民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託 2. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入 3. 民間のリサイクル業者でリサイクル 4. 貴事業所の処理施設で処理 5. 継続ごみとして市に収集を依頼 6. その他（具体的に：)

【結果】

<分別の有無>

○ 機密書類の分別について、分別して排出している事業所は63.7%となっている。

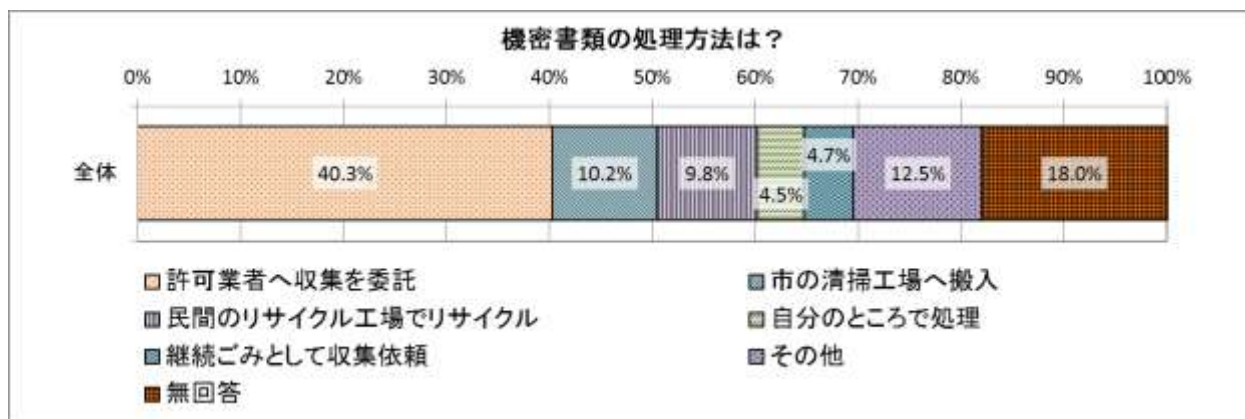
	機密書類の分別をしている	機密書類の分別はしていない	無回答	調査数
全体	351	117	83	551



＜処理方法＞

- 機密書類の処理方法は、許可業者への収集委託を行う事業所が40.3%と最も多くなっている。

	許可業者へ 収集を委託	市の清掃工場へ 搬入	民間のリサイクル 工場でリサイクル	自分のとこ ろで処理	継続ごみとし て収集依頼	その他	無回答	調査数
全体	222	56	54	25	26	69	99	551



⑤缶・びん

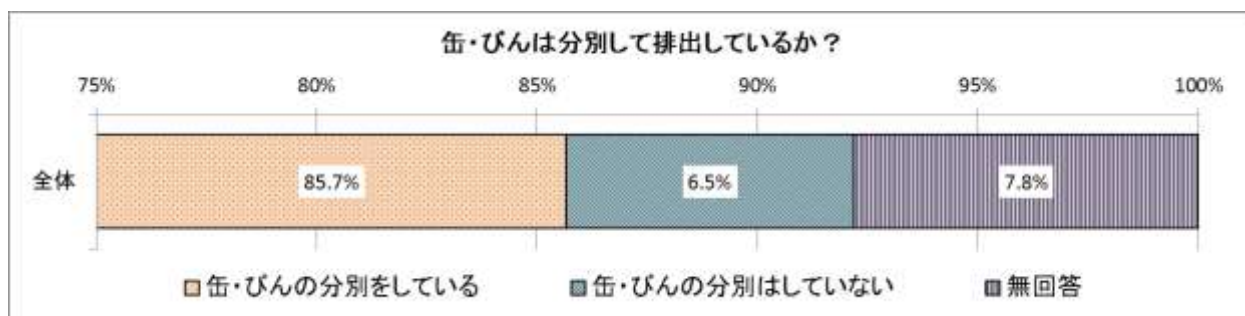
ア. 分別していますか	1. はい →下段「イ及びウ」をお答えください 2. いいえ →下段「イ. 1. 総量」及び「ウ」をお答えください
イ. 平成 24 年度実績量	1. 総量 () t 2. 資源化量 () t
ウ. 処理の方法	1. 民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託 2. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入 3. 民間のリサイクル業者でリサイクル 4. スーパーなどの店頭回収を利用している 5. 継続ごみとして市に収集を依頼 6. 産業廃棄物として処理している 7. その他（具体的に：)

【結果】

<分別の有無>

○ 缶・びんの分別について、分別して排出している事業所は85.7%となっている。

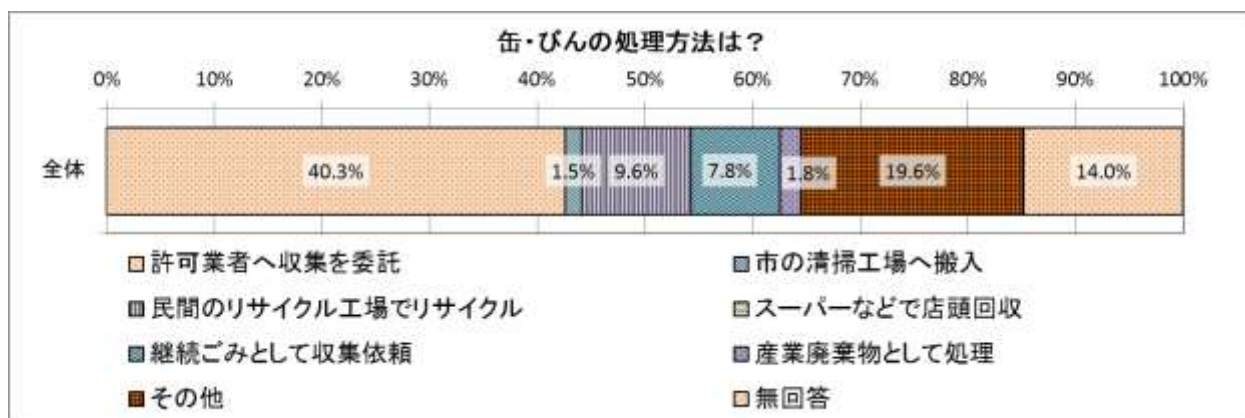
	缶・びんの分別をしている	缶・びんの分別はしていない	無回答	調査数
全体	472	36	43	551



<処理方法>

- 缶・びんの処理方法は、許可業者への収集委託を行う事業所が40.3%と最も多くなっている。

	許可業者へ 収集を委託	市の清掃工場へ 搬入	民間のリサイクル 工場でリサイクル	スーパーなど で店頭回収	継続ごみとし て収集依頼	産業廃棄物 として処理	その他	無回答	調査数
全体	222	8	53	30	43	10	108	77	551



⑥ペットボトル

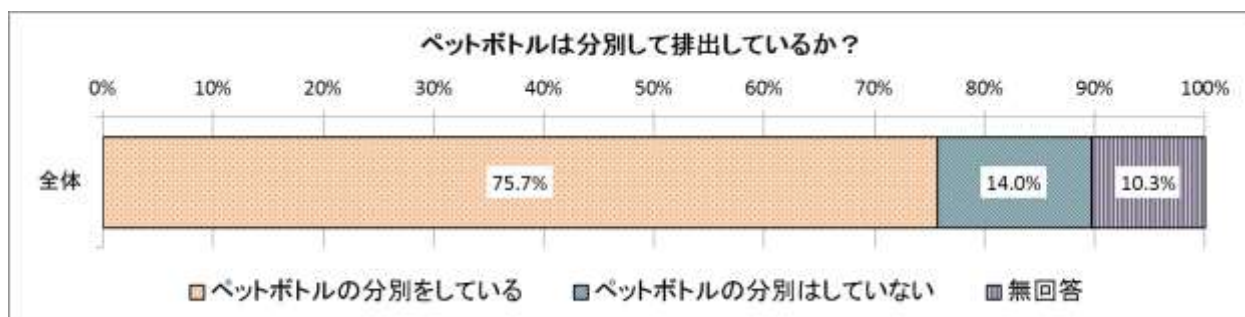
ア. 分別していますか	1. はい →下段「イ及びウ」をお答えください 2. いいえ →下段「イ. 1. 総量」及び「ウ」をお答えください
イ. 平成 24 年度実績量	1. 総量 () t 2. 資源化量 () t
ウ. 処理の方法	1. 民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託 2. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入 3. 民間のリサイクル業者でリサイクル 4. スーパーなどの店頭回収を利用している 5. 継続ごみとして市に収集を依頼 6. 産業廃棄物として処理している 7. その他（具体的に：)

【結果】

<分別の有無>

○ ペットボトルの分別について、分別して排出している事業所は75.7%となっている。

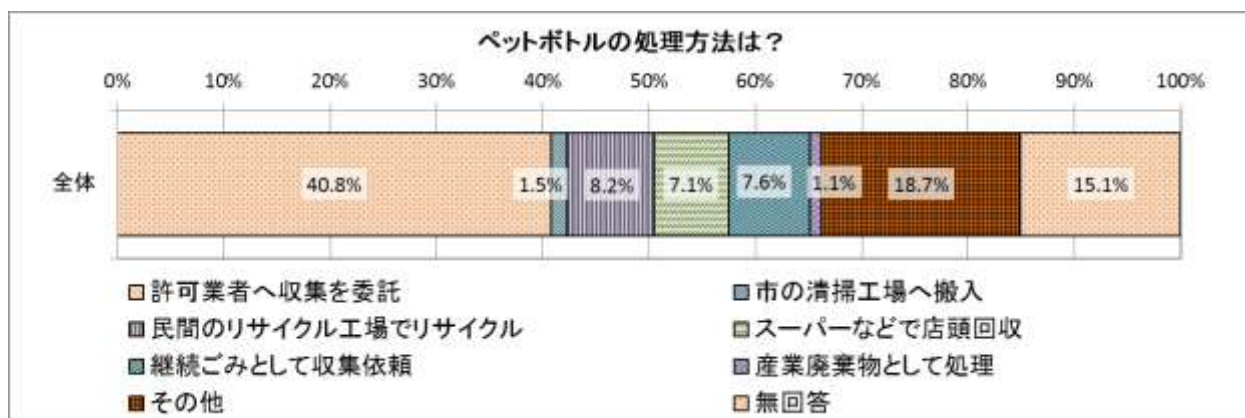
	ペットボトルの分別をしている	ペットボトルの分別はしていない	無回答	調査数
全体	417	77	57	551



＜処理方法＞

- ペットボトルの処理方法は、許可業者への収集委託を行う事業所が40.8%と最も多くなっている。

	許可業者へ 収集を委託	市の清掃工場へ 搬入	民間のリサイクル 工場でリサイクル	スーパーなどで 店頭回収	継続ごみとして 収集依頼	産業廃棄物 として処理	その他	無回答	調査数
全体	225	8	45	39	42	6	103	83	551



⑦プラスチック製容器包装（弁当・カップ麺などの容器や包装材などのプラスチック）

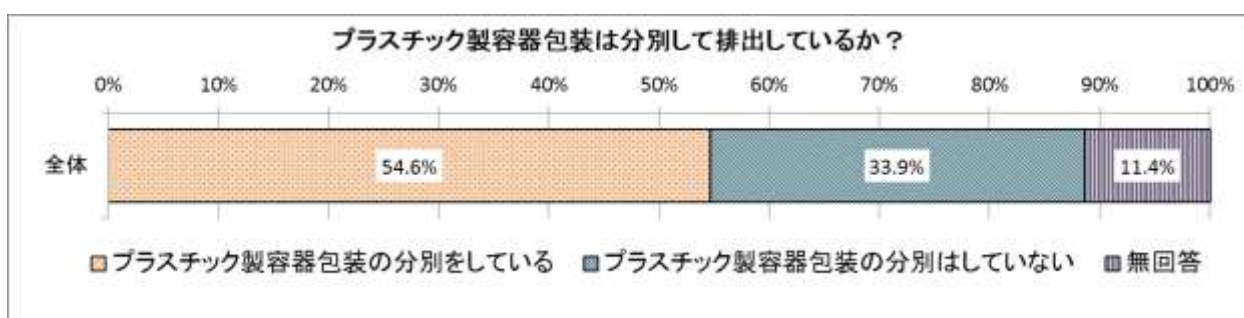
ア. 分別していますか	1. はい →下段「イ及びウ」をお答えください 2. いいえ →下段「イ. 1. 総量」及び「ウ」をお答えください
イ. 平成 24 年度実績量	1. 総量（ ） t 2. 資源化量（ ） t
ウ. 処理の方法	1. 民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託 2. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入 3. 民間のリサイクル業者でリサイクル 4. スーパーなどの店頭回収を利用している 5. 継続ごみとして市に収集を依頼 6. 産業廃棄物として処理している 7. その他（具体的に： ）

【結果】

＜分別の有無＞

- プラスチック製容器包装の分別について、分別して排出している事業所は54.6%となっている。

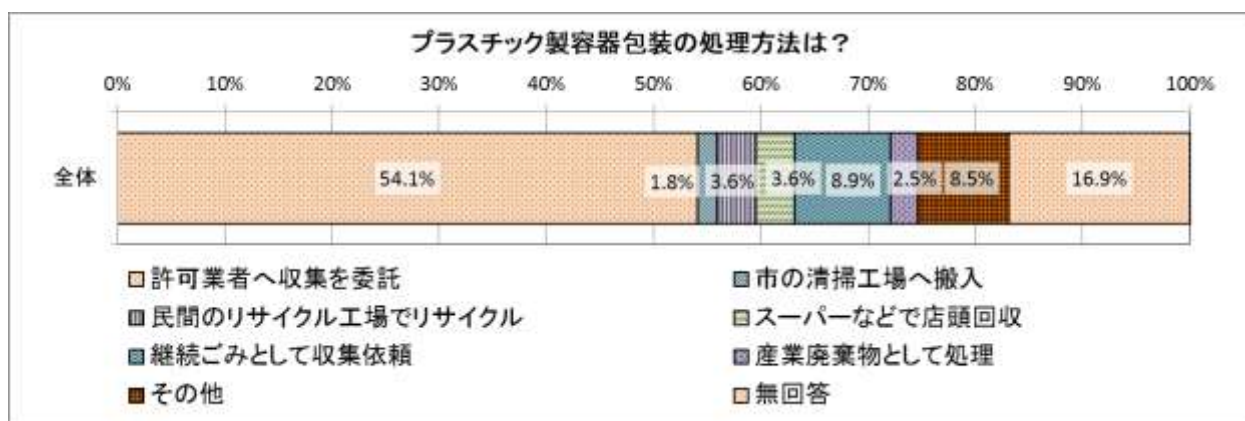
	プラスチック製容器包装の分別をしている	プラスチック製容器包装の分別はしていない	無回答	調査数
全体	301	187	63	551



＜処理方法＞

- プラスチック製容器包装の処理方法は、許可業者への収集委託を行う事業所が54.1%と最も多くなっている。

	許可業者へ 収集を委託	市の清掃工場へ 搬入	民間のリサイクル 工場でリサイクル	スーパーなどで 店頭回収	継続ごみとして 収集依頼	産業廃棄物 として処理	その他	無回答	調査数
全体	298	10	20	20	49	14	47	93	551



⑧不燃ごみ

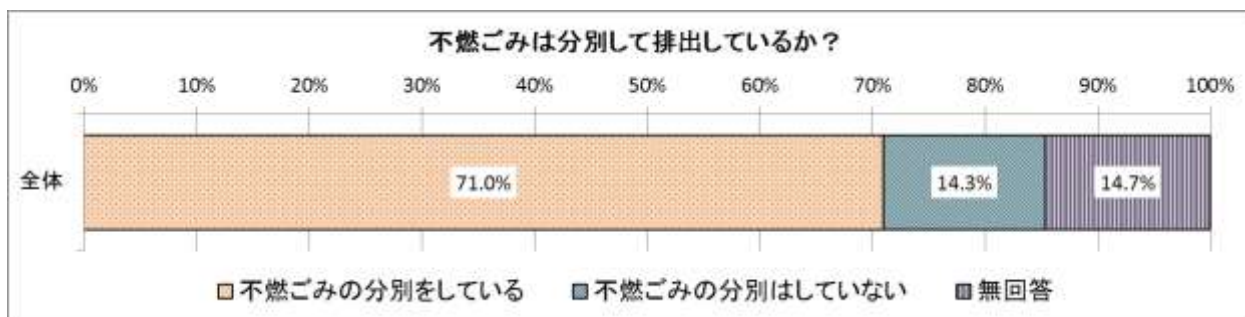
ア. 分別していますか	1. はい →下段「イ及びウ」をお答えください 2. いいえ →下段「イ. 1. 総量」及び「ウ」をお答えください
イ. 平成 24 年度実績量	1. 総量 () t 2. 資源化量 () t
ウ. 処理の方法	1. 民間ごみ収集業者（許可業者）へ収集を委託 2. 貴事業所自らが市の清掃工場へ搬入 3. 民間のリサイクル業者でリサイクル 4. 貴事業所の処理施設で処理 5. 継続ごみとして市に収集を依頼 6. その他（具体的に：)

【結果】

＜分別の有無＞

○ 不燃ごみの分別について、分別して排出している事業所は71.0%となっている。

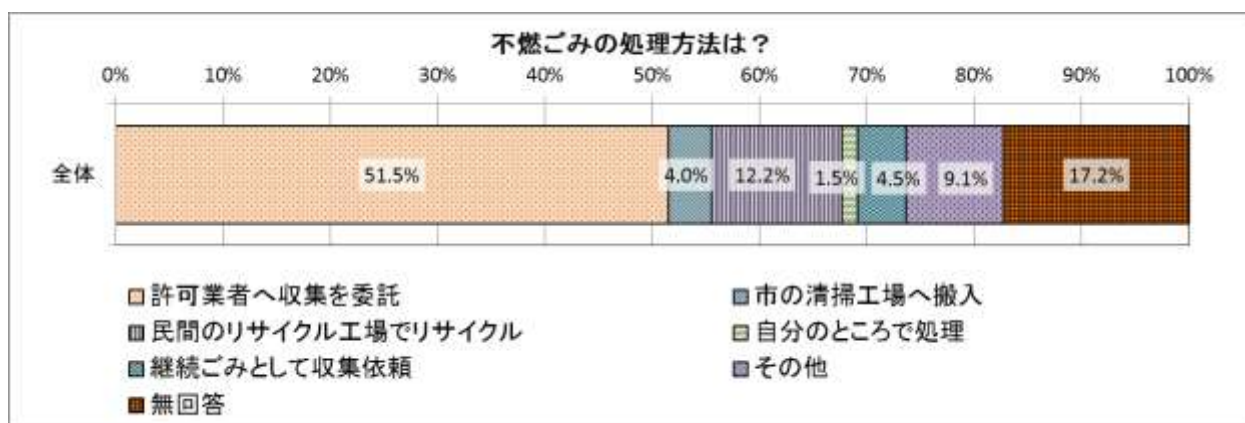
	不燃ごみの分別をしている	不燃ごみの分別はしていない	無回答	調査数
全体	391	79	81	551



＜処理の方法＞

- 燃ごみの処理方法は、市全体でみると許可業者への収集委託を行う事業所が51.5%と最も多くなっている。

	許可業者へ 収集を委託	市の清掃工場へ 搬入	民間のリサイクル 工場でリサイクル	自分のところで 処理	継続ごみとして 収集依頼	その他	無回答	調査数
全体	284	22	67	8	25	50	95	551

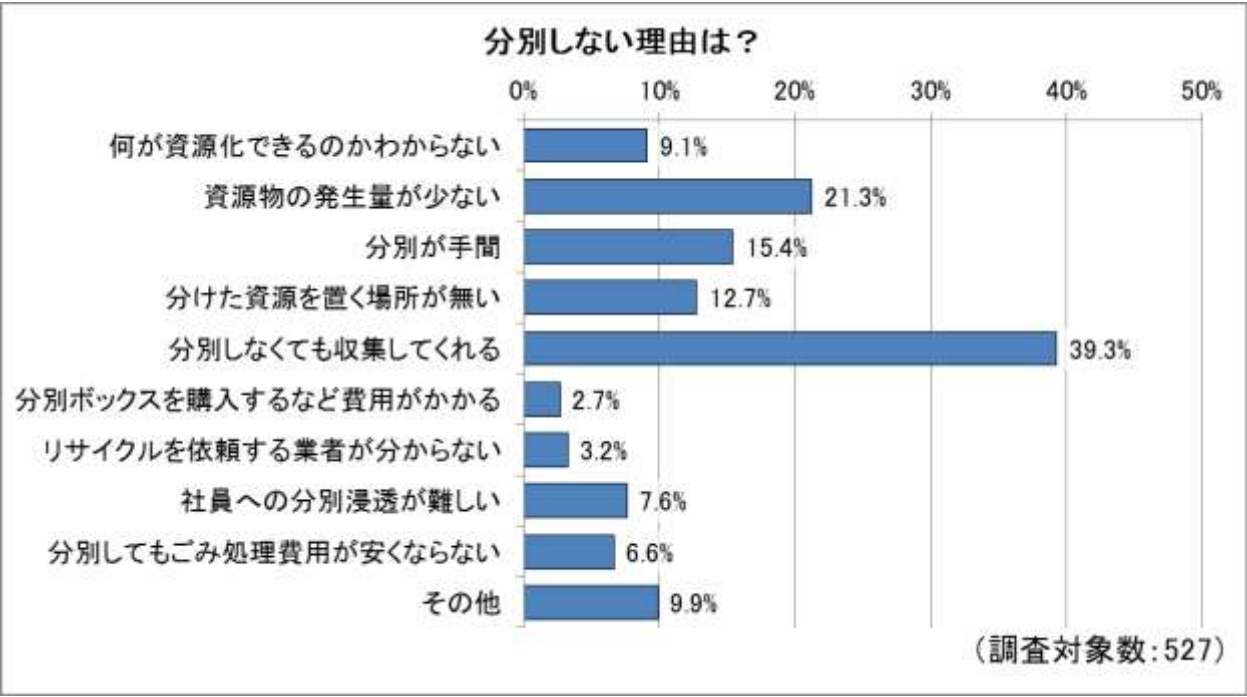


(3) 2 ページのDで1 とお答えの方、または3～5 ページの「②～⑧ア. 分別していますか」で1か所でも「2. いいえ」とお答えの方にお尋ねします。分別していない理由は何ですか。該当するものすべてに○をしてください。

- a. 何が資源化できるのかわからない
- b. 資源物の発生量が少ない
- c. 分別が手間
- d. 分けた資源を置く場所がない
- e. 分別しなくても収集してくれる
- f. 分別ボックスを購入するなど費用がかかる
- g. リサイクルを依頼する業者がわからない
- h. 社員への分別の浸透が難しい
- i. 分別してもごみ処理費用が安くない、もしくは高くなる
- j. その他（具体的に：)

○ 事業系一般廃棄物の分別排出をしない理由として、39.3%の事業所が「分別しなくても収集してくれる」と回答しており、次いで、「資源物の発生量が少ない」と回答した事業所が21.3%と多くなっている。

何が資源化できるのかわからない	資源物の発生量が少ない	分別が手間	分けた資源を置く場所が無い	分別しなくても収集してくれる	分別ボックスを購入するなど費用がかかる	リサイクルを依頼する業者が分からない	社員への分別浸透が難しい	分別してもごみ処理費用が安くならない	その他	無回答	合計回答数	調査対象数
48	112	81	67	207	14	17	40	35	52	144	817	527



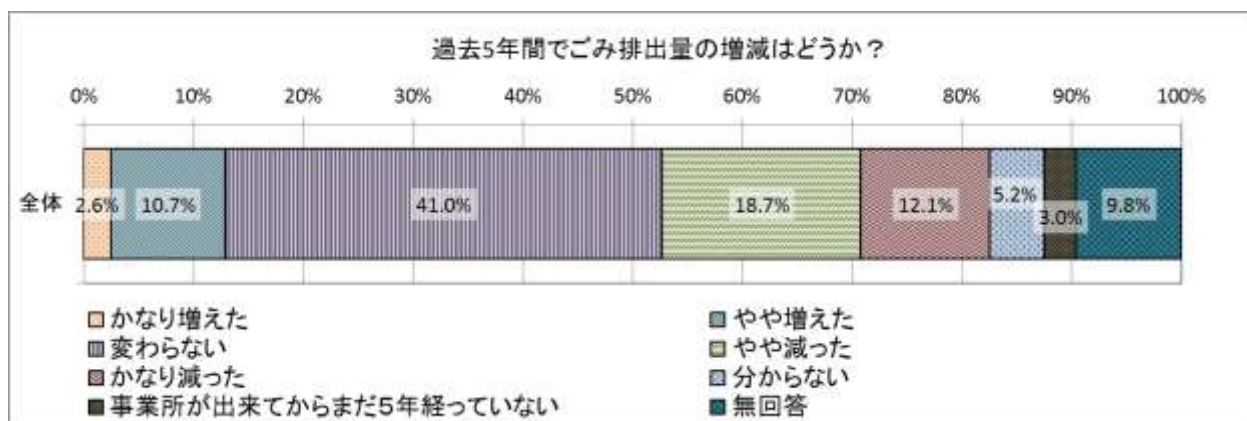
(4) 貴事業所からのごみ排出量はどのように変化していますか。5年前と比べた印象について、該当するもの一つだけに○をしてください。

1. かなり増えた 2. やや増えた 3. 変わらない 4. やや減った
5. かなり減った 6. わからない 7. 事業所ができてからまだ5年経っていない

【結果】

○ 過去5年間でのごみの増減について「変わらない」と回答した事業所が41.0%と最も多く、次いで「やや減った」（18.7%）となっている。

	かなり増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	かなり減った	分からない	事業所が出来てからまだ5年経っていない	無回答	合計
全体	21	87	333	152	98	42	24	56	813



2. ごみ減量・リサイクルについて

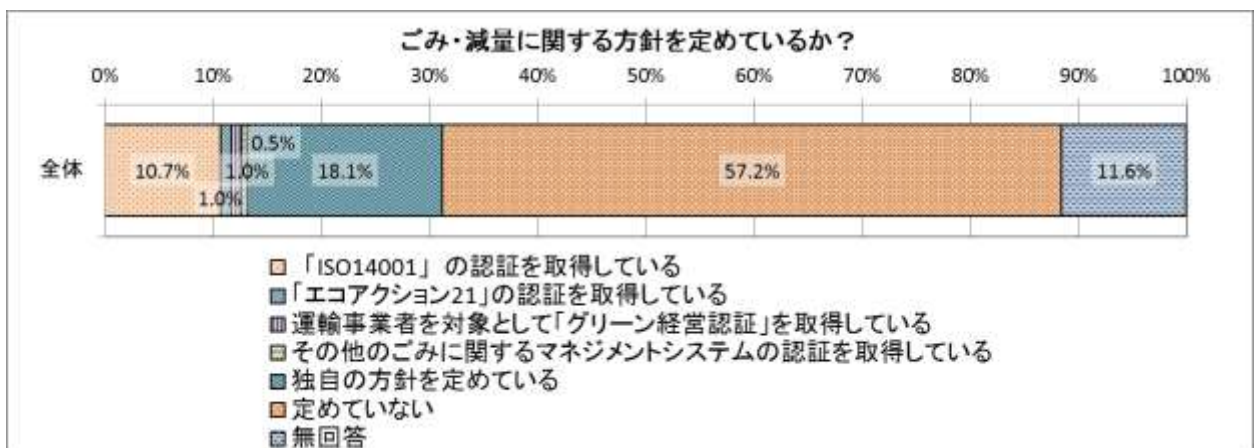
(1) ごみ減量・リサイクルに関する方針を定めていますか。該当するもの一つだけに〇をしてください。

1. 「ISO14001」の認証を取得している
2. 「エコアクション21」の認証を取得している
3. 運輸事業者を対象とした「グリーン経営認証」を取得している
4. 其他のごみに関するマネジメントシステムの認証を取得している
→ (取得している認証の名称:)
5. 独自の方針を定めている
6. 定めていない → 下の(2)にお答えください

【結果】

○ ごみ減量リサイクルに関する方針については、「独自の方針を定めている事業所」まで含めて31.3%の事業所が定めている。

	「ISO14001」の認証を取得している	「エコアクション21」の認証を取得している	運輸事業者を対象として「グリーン経営認証」を取得している	其他のごみに関するマネジメントシステムの認証を取得している	独自の方針を定めている	定めていない	無回答	調査数
全体	87	8	8	4	147	465	94	813



(2) 上記(1)で「6. 定めていない」とお答えの方にお尋ねします。今後、どのような条件があれば定めようと思いますか。該当するものすべてに○をしてください。

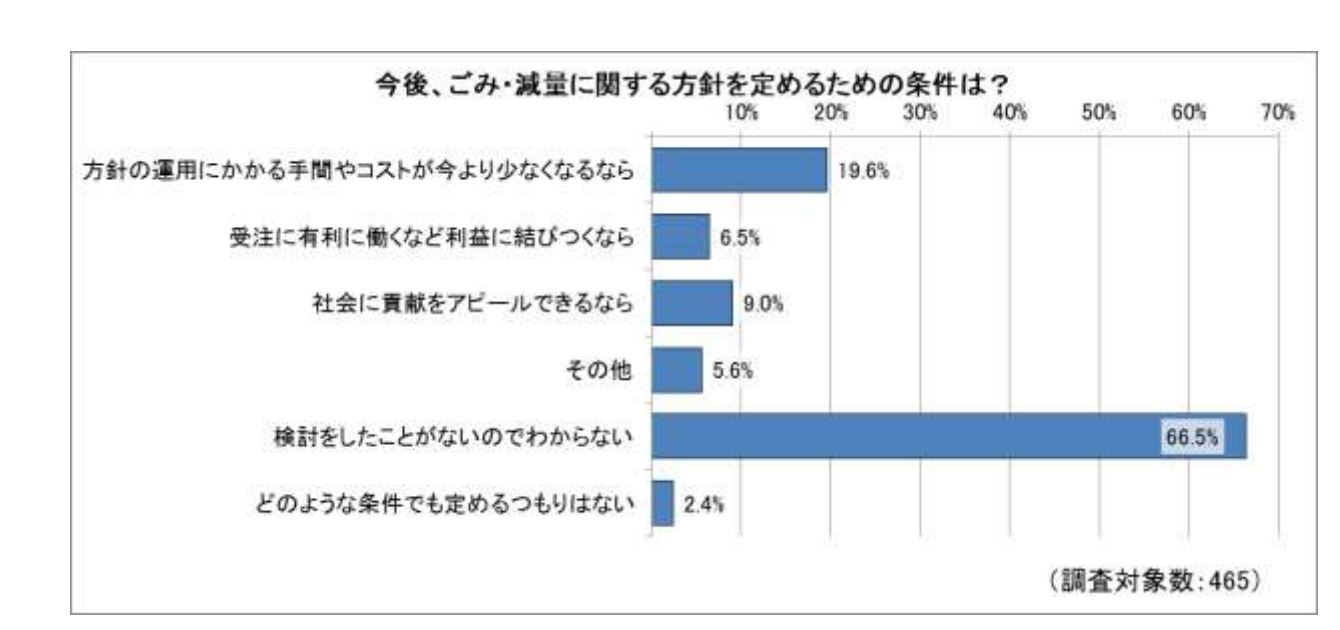
a. 方針の運用にかかる手間やコストが今より少なくなるなら b. 方針を定めることで、受注に有利に働くなど利益に結びつくなら c. 方針を定めることで、社会貢献をアピールできるなら d. その他（具体的に： _____） e. 検討をしたことがないのでわからない f. どのような条件でも定めるつもりはない

【結果】

○ ごみ減量に関する方針を今後定めようとする条件について、66.5%の事業所が「検討したことがないのでわからない」と回答している。

また、19.6%の事業所が「方針の運用にかかる手間やコストが今より少なくなるなら」と回答している。

方針の運用にかかる手間やコストが今より少なくなるなら	受注に有利に働くなど利益に結びつくなら	社会に貢献をアピールできるなら	その他	検討をしたことがないのでわからない	どのような条件でも定めるつもりはない	無回答	合計 回答数	調査 対象数
91	30	42	26	309	11	4	513	465



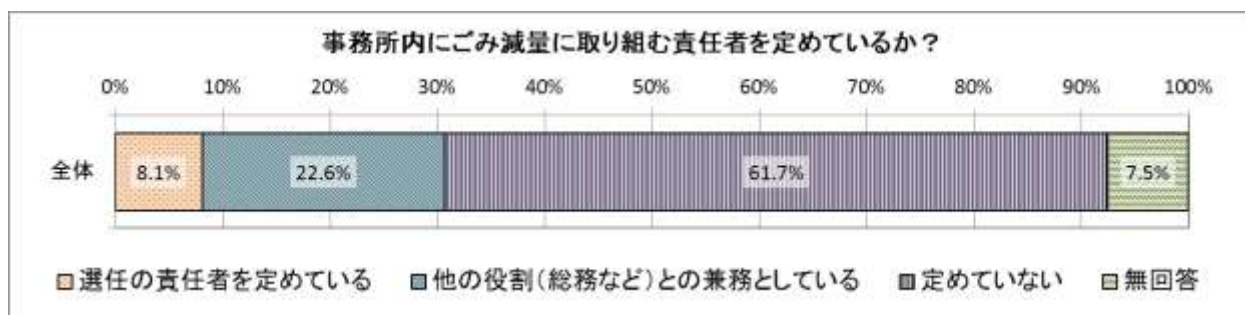
(3) 事業所内でごみ減量に取り組む責任者を定めていますか。該当するもの一つだけに〇をしてください。

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. 専任の責任者を定めている | 2. 他の役割（総務など）との兼務としている |
| 3. 定めていない | |

【結果】

○ ごみ減量に取り組む責任者の設置について市全体でみると、兼務を含めて設定している事業所は30.7%である。

	選任の責任者を定めている	他の役割(総務など)との兼務としている	定めていない	無回答	調査数
全体	66	184	502	61	813



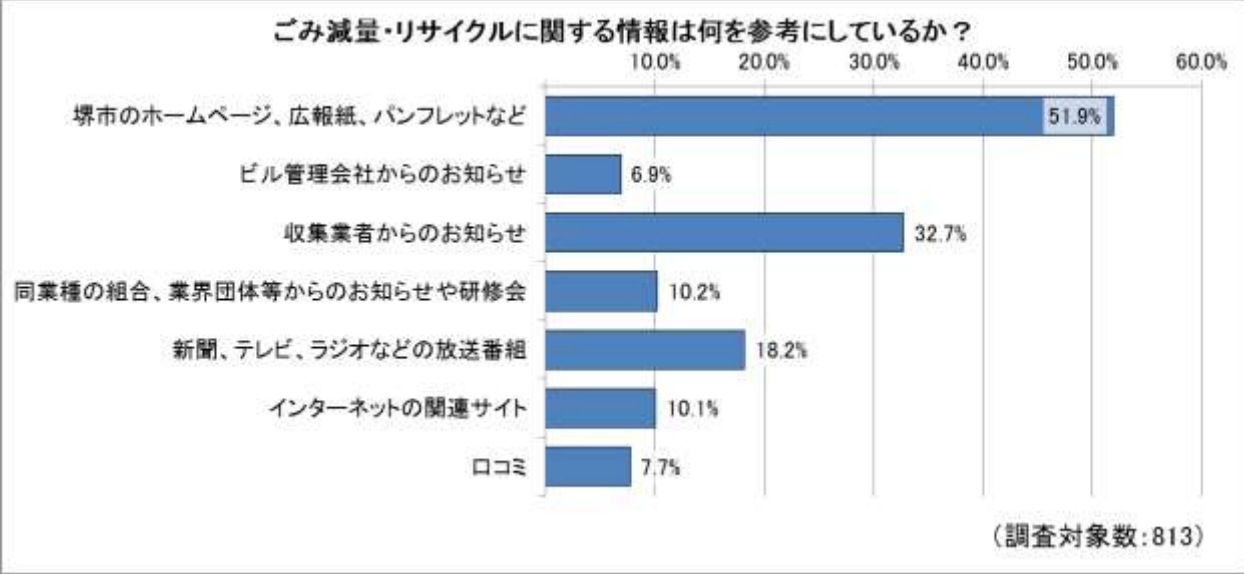
(4) ごみ減量・リサイクルに関する情報は主に何を参考としていますか。該当するものすべてに○をしてください。

a. 堺市のホームページ、広報紙、パンフレットなど
b. ビル管理会社からのお知らせ
c. 収集業者からのお知らせ
d. 同業種の組合、業界団体等からのお知らせや研修会
e. 新聞、テレビ、ラジオなどの放送番組
f. インターネットの関連サイト
g. 口コミ
7. その他（具体的に： _____）

【結果】

○ ごみ減量・リサイクルに関する情報について、51.9%の事業所が「堺市のホームページ、広報紙、パンフレットなど」を参考としており、次いで、「収集業者からのお知らせ」(32.7%)、「新聞、テレビ、ラジオなどの放送番組」(18.2%)となっている。

堺市のホームページ、広報紙、パンフレットなど	ビル管理会社からのお知らせ	収集業者からのお知らせ	同業種の組合、業界団体等からのお知らせや研修会	新聞、テレビ、ラジオなどの放送番組	インターネットの関連サイト	口コミ	無回答	合計回答数	調査対象数
422	56	266	83	148	82	63	93	1213	813



(5) 従業員に日頃からごみ減量・リサイクルに関する研修会等を実施していますか。該当するものすべてに○をしてください。

a. 自社で定期的実施している

b. 自社で必要に応じて（不定期に）実施している

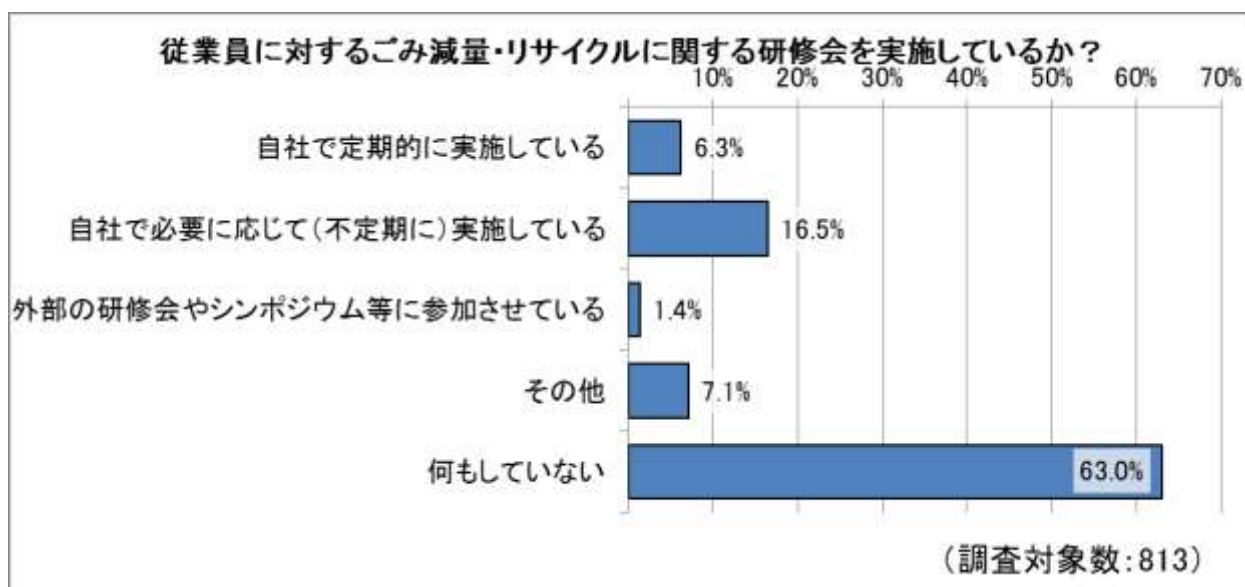
c. 外部の研修会やシンポジウム等に参加させている

d. その他（具体的に： _____）

e. 何もしていない

○ 従業員に対する研修会等の実施について、63.0%の事業所が「何もしていない」と回答しているが、16.5%の事業所は「自社で必要に応じて実施している」と回答している。

自社で定期的 に実施し ている	自社で必要 に応じて(不 定期に)実施 している	外部の研修 会やシンポジ ウム等に参加 させている	その他	何もして いない	無回答	合計 回答数	調査 対象数
51	134	11	58	512	54	820	813



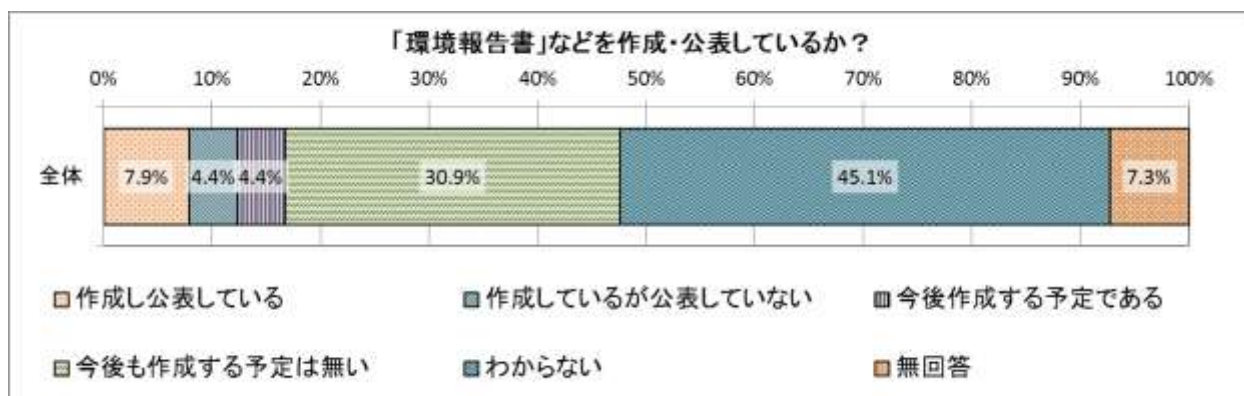
(6) ごみ減量・リサイクルに関する方針、目標、計画や実施状況などをまとめた「環境報告書」(CSR 報告書→環境や社会的な取り組みをまとめた報告書)などを作成・公表していますか。また今後作成する予定はありますか。該当するもの一つだけに○をしてください。

1. 作成し公表している
2. 作成しているが公表していない
3. 今後作成する予定である
4. 今後も作成する予定はない
5. わからない

【結果】

○ 環境報告書等の作成・公表について、「今後作成する予定である」までを含めて16.7%の事業所が作成意思を表している。しかし、「今後も作成する予定は無い」とする事業所も30.9%あった。

	作成し公表している	作成しているが公表していない	今後作成する予定である	今後も作成する予定は無い	わからない	無回答	調査数
全体	64	36	36	251	367	59	813



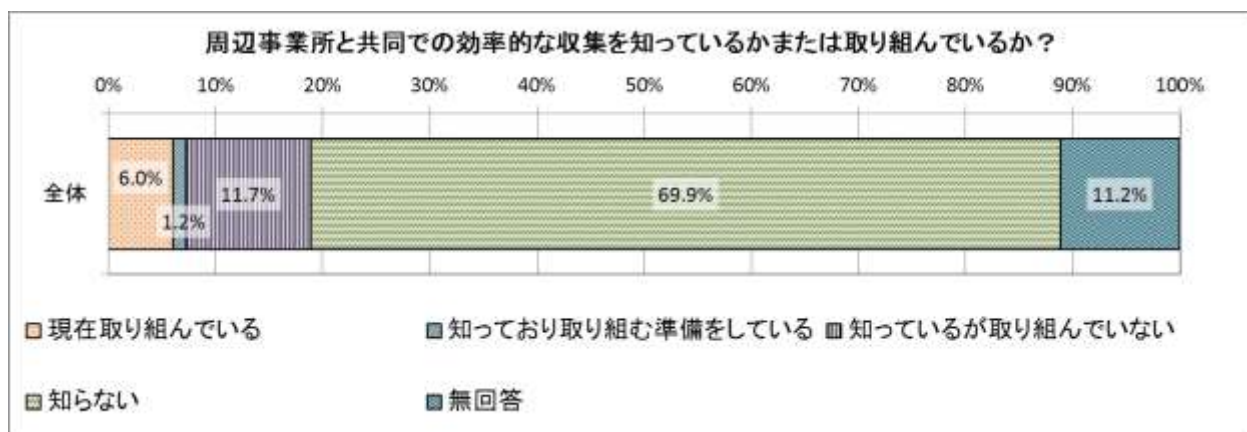
(7) 資源化の取り組みについて、事業所間のネットワーク（オフィス町内会など）を構成するなど、周辺事業所と共同（ビル単位や商店街単位など）での効率的な収集をご存じですか、または取り組んでいますか。該当するもの一つだけに○をしてください。

1. 現在取り組んでいる
2. 設問のような収集方法は知っており、取り組む準備をしている
3. 設問のような収集方法は知っているが取り組んでいない
4. 設問のような収集方法自体を知らない

【結果】

○ 事業所間のネットワークなど周辺事業所と共同での効率的な収集について、現在取り組んでいる事業所は6.0%にとどまり、このシステムを知らない事業所は69.9%となっている。

	現在取り組んでいる	知っており取り組む準備をしている	知っているが取り組んでいない	知らない	無回答	調査数
全体	49	10	95	568	91	813



- a. 取り組むための手続きや方法が分かれば
- b. ごみ処理経費の削減になるなどのメリットがあれば
- c. 煩雑な手続きや手間がかからないのであれば
- d. その他（具体的に：_____）
- e. どのような条件でも取り組むつもりはない

○ 事業所間のネットワークなど周辺事業所と共同での効率的な収集について、取り組むためには、「煩雑な手続きや手間がかからない」を条件とする事業所が51.6%と最も多く、次いで「ごみ処理経費の削減になるなどのメリットがあれば」(38.9%)となっていた。

取り組むための 手続きや方法が 分かれれば	ごみ処理経費 の削減になる などのメリット があれば	煩雑な手続き や手間がかか らないのであ れば	その他	どのような条件 でも取り組むつ もりはない	無回答	合計 回答数	調査 対象数
18	37	49	8	7	1	120	95



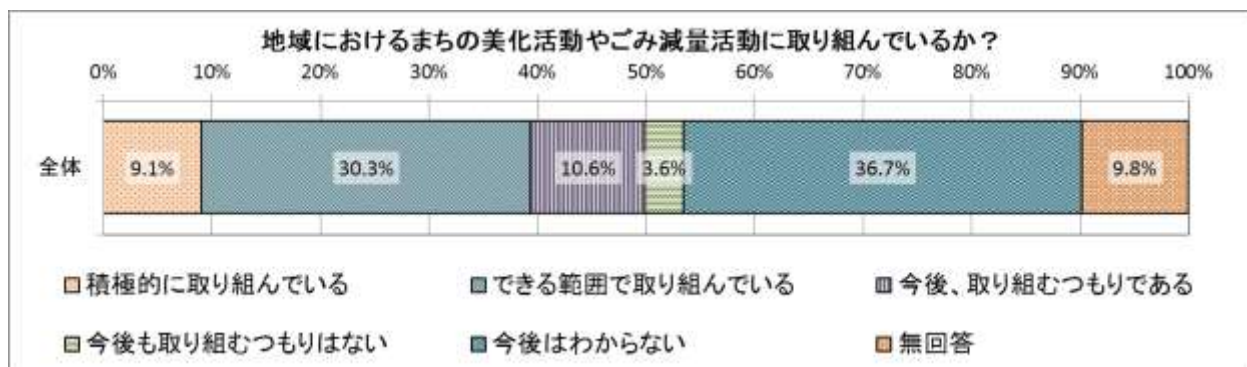
(9) 地域におけるまちの美化活動やごみ減量活動に取り組んでいますか。今後、取り組もうと思いますか。該当するもの一つだけに○をしてください。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 積極的に取り組んでいる | } → 下のA、Bにお答えください |
| 2. できる範囲で取り組んでいる | |
| 3. 今後、取り組むつもりである | → 下のBにお答えください |
| 4. 今後も取り組むつもりはない | } → 下のCにお答えください |
| 5. 後は分からない | |

【結果】

○ 地域における美化活動や減量活動への取組について、39.4%の事業所は取り組んでおり、さらに10.6%の事業所は今後取り組むつもりがあるとしている。

	積極的に取り組んでいる	できる範囲で取り組んでいる	今後、取り組むつもりである	今後も取り組むつもりはない	後は分からない	無回答	調査数
全体	74	246	86	29	298	80	813



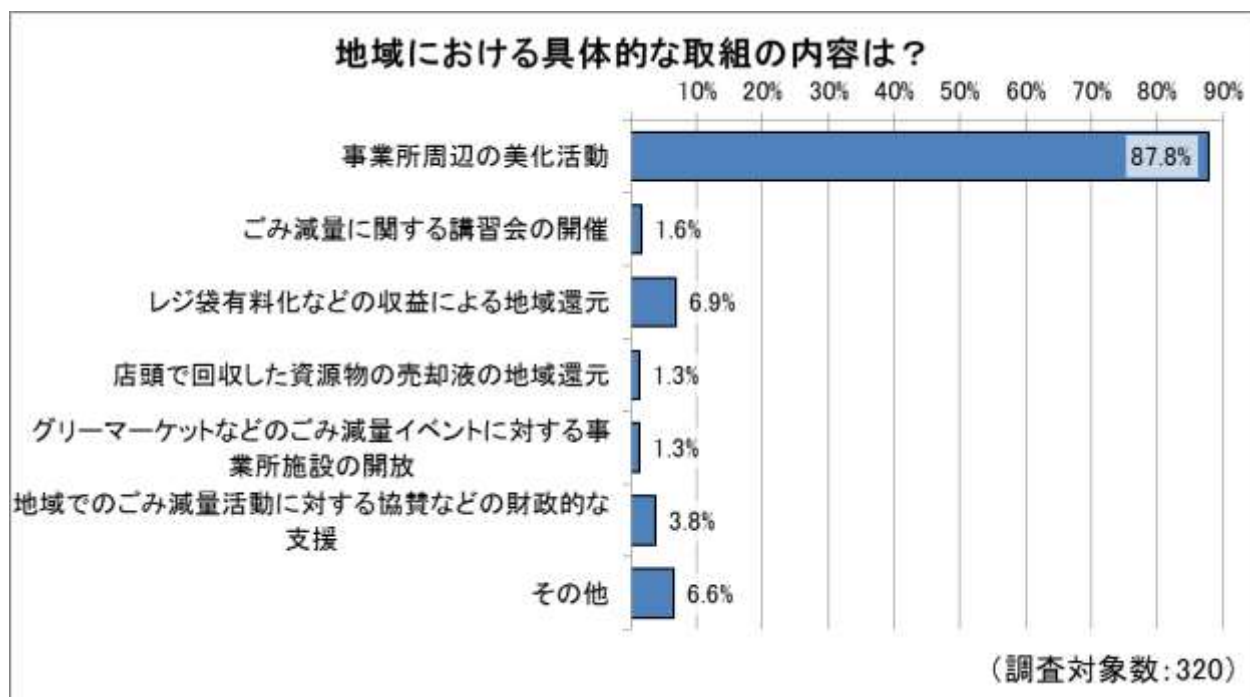
A 上記（９）で1. 及び2. とお答えの方にお尋ねします。具体的にどのように取り組んでいますか。該当するものすべてに○をしてください。

- a. 事業所周辺の美化活動
- b. ごみ減量に関する講習会の開催
- c. レジ袋有料化などの収益による地域還元
- d. 店頭で回収した資源物の売却益の地域還元
- e. フリーマーケットなどのごみ減量イベントに対する事業所施設の開放
- f. 地域でのごみ減量活動に対する協賛などの財政的な支援
- g. その他（具体的に： _____）

【結果】

○ 地域における具体的な取組内容は、「事業所周辺の美化活動」に取り組む事業所が87.8%と最も多くなっている。

事業所周辺の美化活動	ごみ減量に関する講習会の開催	レジ袋有料化などの収益による地域還元	店頭で回収した資源物の売却益の地域還元	フリーマーケットなどのごみ減量イベントに対する事業所施設の開放	地域でのごみ減量活動に対する協賛などの財政的な支援	その他	無回答	合計回答数	調査対象数
281	5	22	4	4	12	21	8	357	320



- a. 行政がそれぞれの事業所に合った取り組みを周知・斡旋すること
- b. 所属する業界団体がノウハウの提供や参加への呼びかけを率先して行うこと
- c. 地域の住民などが事業者にも協力してほしいことを呼びかけること
- d. その他（具体的に： ）

○ 地域活動に参加していくために必要と思われることについて、54.9%の事業所が「行政が周知・斡旋すること」としており、次いで「地域の住民などが事業者に呼びかけること」(31.0%)と他からの働きかけが必要としている。

行政がそれぞれの事業所に合った取り組みを周知・斡旋すること	所属する業界団体がノウハウの提供や参加への呼びかけを率先して行うこと	地域の住民などが事業者に協力してほしいことを呼びかけること	その他	無回答	合計 回答数	調査 対象数
223	88	126	25	21	483	406



- a. 地域社会との関わりを行う人的余裕がない
- b. 特に地域社会と関わる必要性を感じない
- c. 検討をしたことがないのでわからない
- d. その他（具体的に：

○ 地域活動への取組をするつもりがないとした理由は、75.8%の事業者が「検討したことがないのでわからない」であった。また、その次に多い理由は「人的余裕がない」(19.6%)であった。

地域社会との関わりを行う人的余裕がない	特に地域社会と関わる必要性を感じない	検討をしたことがないのでわからない	その他	無回答	合計回答数	調査対象数
64	14	248	19	6	351	327



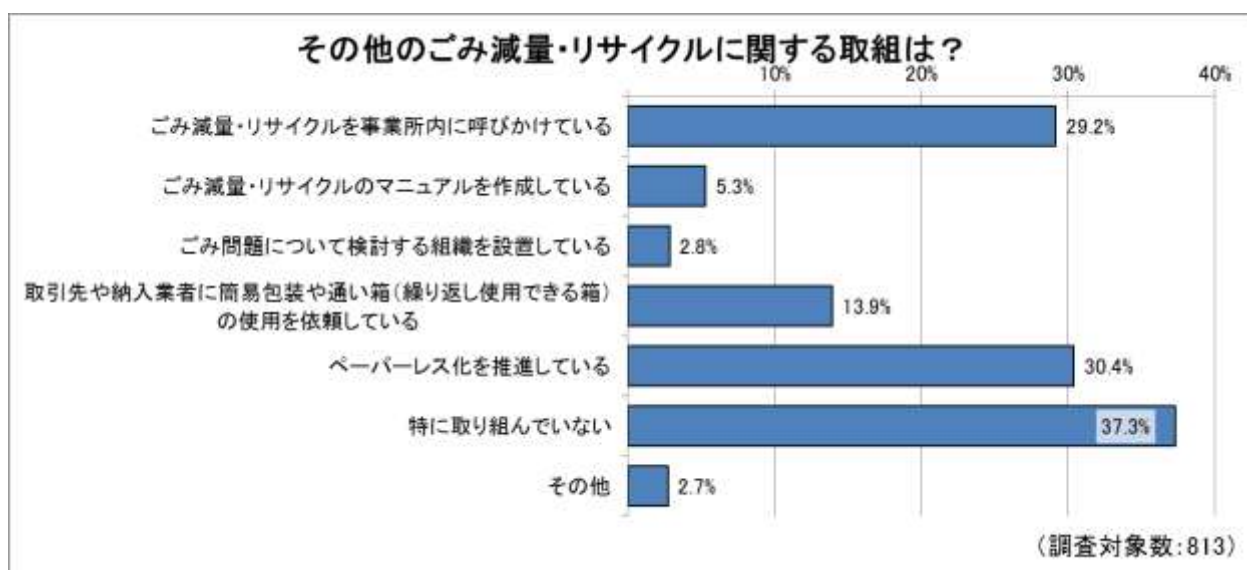
(10) その他、ごみ減量・リサイクルに関してどのような取り組みを行っていますか。該当するものすべてに○をしてください。

- a. ごみ減量・リサイクルを事業所内に呼びかけている
- b. ごみ減量・リサイクルのマニュアルを作成している
- c. ごみ問題について検討する組織を設置している
- d. 取引先や納入業者に簡易包装や通い箱（繰り返し使用できる箱）の使用を依頼している
- e. ペーパーレス化を推進している
- f. 特に取り組んでいない
- g. その他（具体的に

【結果】

○ その他ごみ減量リサイクルに関する取組では、「特に取り組んでいない」が37.3%と最も多いが、「ペーパーレス化の推進」に30.4%、「ごみ減量リサイクルの事業所内への呼びかけ」に29.2%の事業所が取り組んでいると回答している。

ごみ減量・リサイクルを事業所内に呼びかけている	ごみ減量・リサイクルのマニュアルを作成している	ごみ問題について検討する組織を設置している	取引先や納入業者に簡易包装や通い箱（繰り返し使用できる箱）の使用を依頼している	ペーパーレス化を推進している	特に取り組んでいない	その他	無回答	合計回答数	調査対象数
237	43	23	113	247	303	22	71	1059	813



3. 市のごみ行政について

(1) 市内の事業者がごみを排出する際には、「継続ごみ^{※1}」「許可業者への委託^{※2}」「直接搬入^{※3}」の3種類の排出方法があることをご存じですか。該当するものすべてに○をしてください。

※1 市が有料で収集している方法

※2 堺市が許可している堺市一般廃棄物収集運搬許可業者（許可業者）に委託する方法

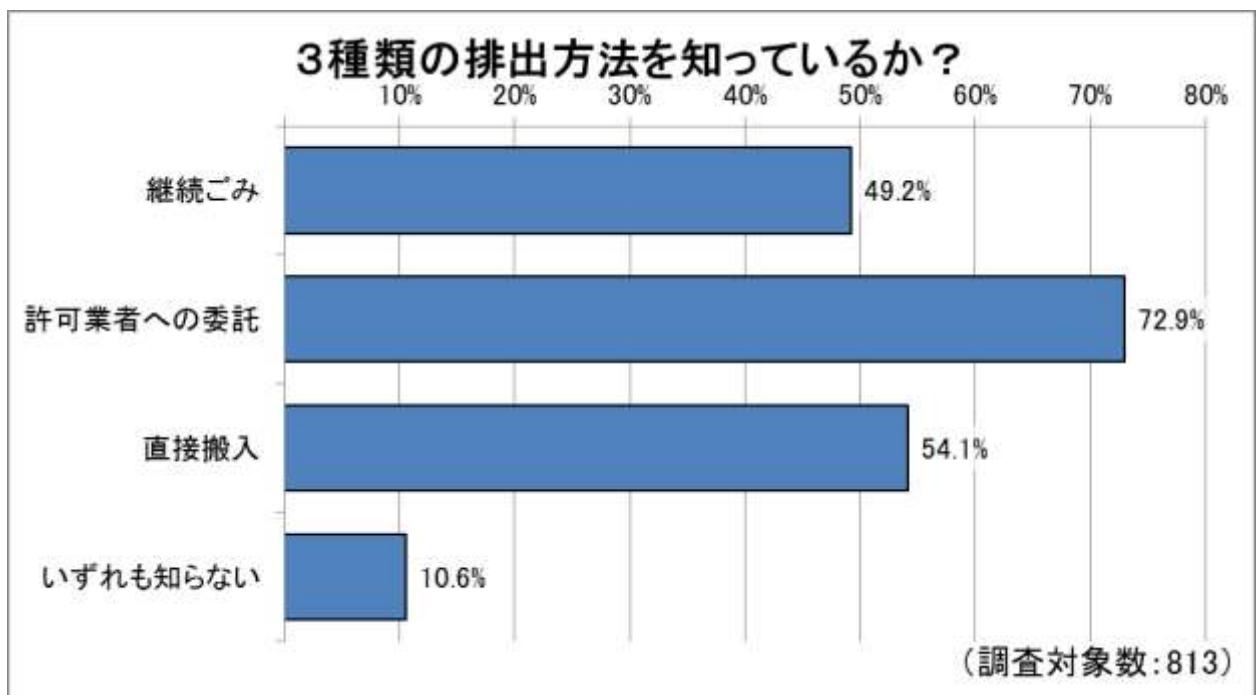
※3 排出事業者自らが清掃工場へ搬入する方法

a. 継続ごみ b. 許可業者への委託 c. 直接搬入 d. いずれも知らない

【結果】

○ 継続ごみ、許可業者への委託及び直接搬入の3種類の事業系一般廃棄物の排出方法があることについて、許可業者への委託は72.9%とほぼ周知されているものの、継続ごみの周知が49.2%と少ない。

継続ごみ	許可業者への委託	直接搬入	いずれも知らない	無回答	合計回答数	調査対象数
400	593	440	86	48	1567	813



(2) 許可業者に支払うごみ処理費用の中に、許可業者が市の処理施設へ支払う「処理手数料」※が含まれていることをご存じですか。該当するものに○をしてください。

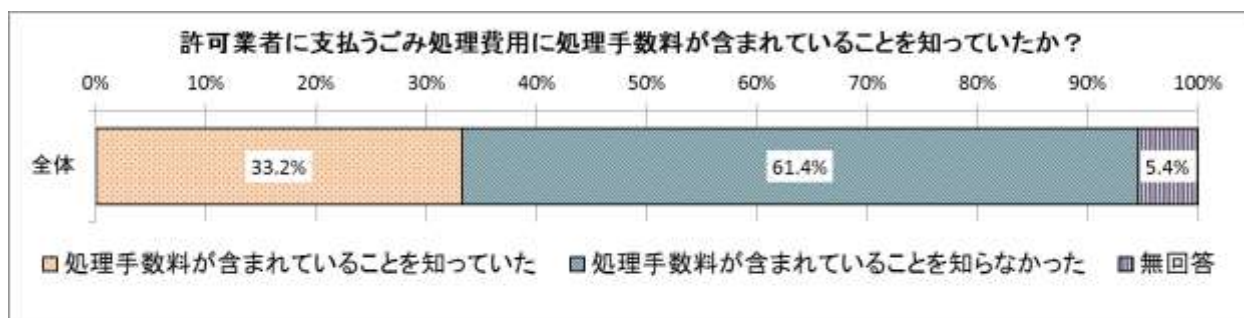
※ 10 kgあたり 110 円（破砕機を使用するものは 10 kgあたり 170 円）

1. 知っている 2. 知らなかった

【結果】

○ 許可業者に支払う委託費用に市の処理施設での処理手数料が含まれていることについて、61.4%の事業者が知らなかった。

	処理手数料が含まれていることを知っていた	処理手数料が含まれていることを知らなかった	無回答	調査数
全体	270	499	44	813



(3) 本市では、事業用大規模建築物※を所有する事業者を対象として、廃棄物管理責任者の設置及び減量計画書作成を義務付けています。

※事業の用に供される延床面積が3,000㎡以上の建築物、および大規模小売店舗については店舗部分の延床面積が1,000㎡を超える事業所

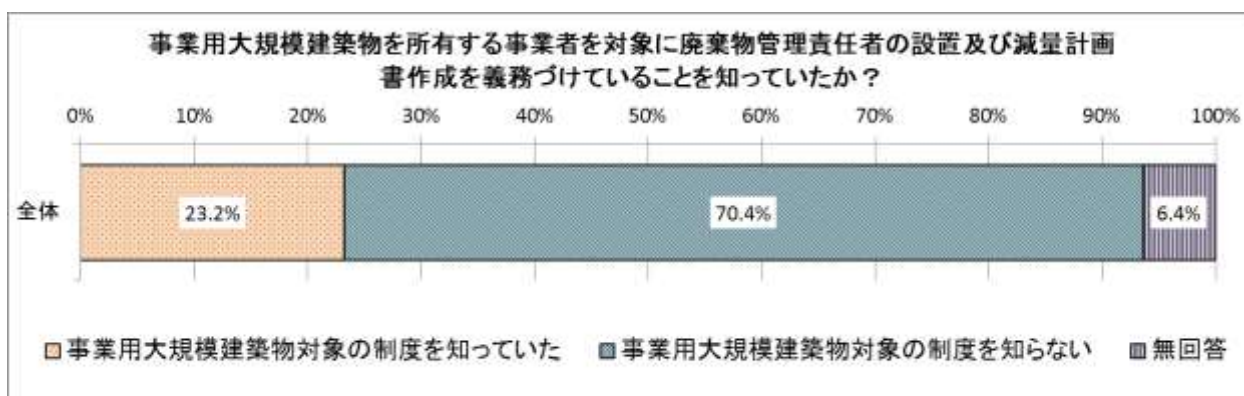
① このような制度があることをご存じですか。該当するものに○をしてください。

1. 知っている 2. 知らない

【結果】

○ 事業用大規模建築物対象の制度については、70.4%の事業者が知らなかった。

	事業用大規模建築物対象の 制度を知っていた	事業用大規模建築物対象の 制度を知らない	無回答	調査数
全体	189	572	52	813



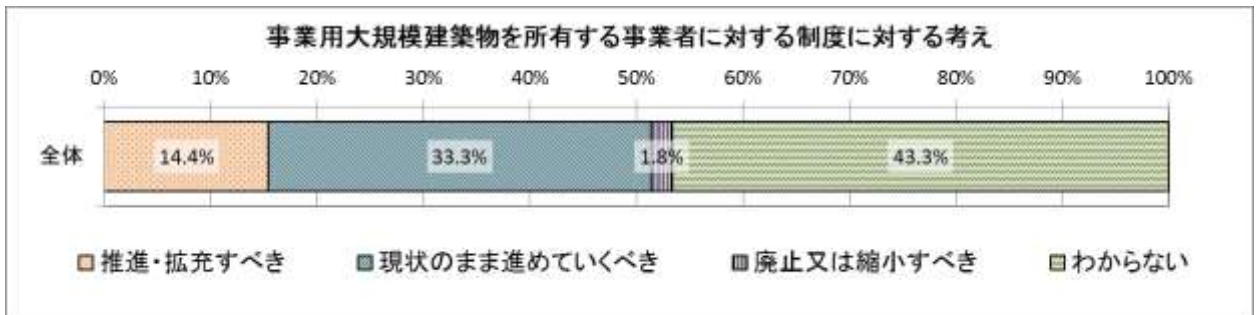
② 今後のこの制度についてどうお考えですか。該当するもの一つだけに○をしてください。

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 推進・拡充すべき | 2. 現状のまま進めていくべき |
| 3. 廃止又は縮小すべき | 4. わからない |

【結果】

○ 47.7%の事業者が「推進・拡充」または「現状のまますすめていくべき」と考えているが、一方で43.3%の事業所が「わからない」としている。

	推進・拡充すべき	現状のまま進めていくべき	廃止又は縮小すべき	わからない	無回答	調査数
全体	117	271	15	352	58	813

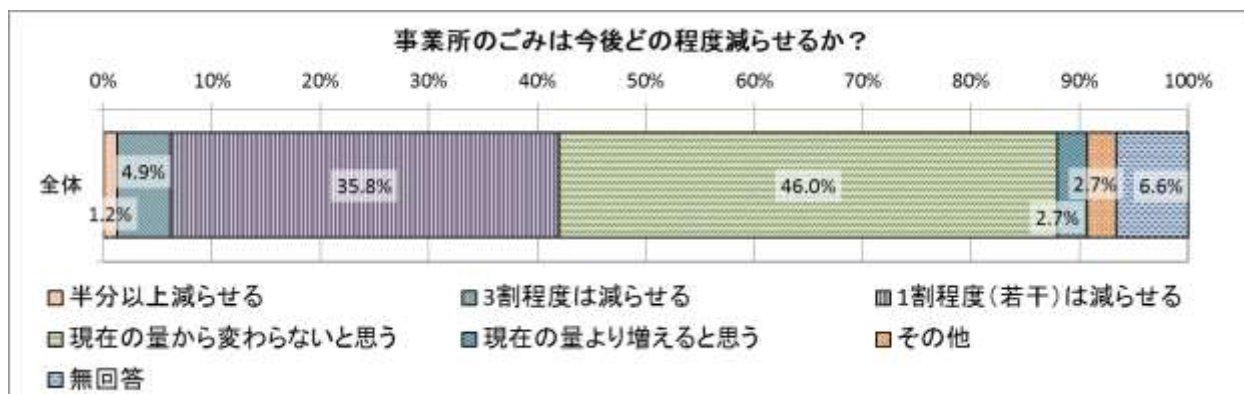


(1) 貴事業所のごみ排出量は、今後どの程度まで減らすことが可能か、あるいは増えるとお考えですか。該当するもの一つだけに○をしてください。

1. 半分以上減らせる
2. 3割程度は減らせる
3. 1割程度（若干）は減らせる
4. 現在の量から変わらないと思う
5. 現在の量より増えると思う
6. その他（具体的に： ）

○ 事業所のごみを今後どれくらい減らせるかについて、「変わらない」とする事業所が46.0%と最も多く、次いで「1割程度（若干）は減らせる」が35.8%であった。

	半分以上 減らせる	3割程度は 減らせる	1割程度(若干)は 減らせる	現在の量から 変わらないと思う	現在の量より 増えると思う	その他	無回答	調査数
全体	10	40	291	374	22	22	54	813



(2)本市の清掃工場に搬入されるごみには資源化可能と考えられる紙ごみなどの資源物が多く見られます。このことについて、どうお考えですか。該当するもの一つだけに○をしてください。

1. できる限り資源物は分別するなど、リサイクルに協力したい
2. 資源物の回収料金が清掃工場への持ち込み料金より安い場合は、分別してリサイクルに協力したい
3. 分別はできない

【結果】

○ 資源化が可能な資源物の分別協力について、85.4%の事業者がリサイクルに協力したいとしている。

	できる限り資源物は分別するなど、リサイクルに協力したい	資源物の回収料金が市の工場への持ち込み料金より安い場合は、分別してリサイクルに協力したい	分別はできない	無回答	調査数
全体	557	137	56	63	813



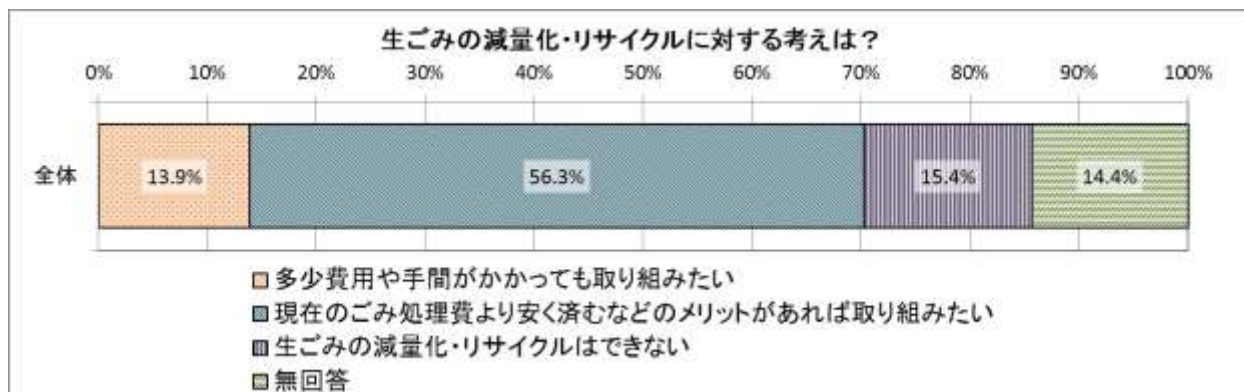
(3) 生ごみの減量化・リサイクルについてどうお考えですか。該当するもの一つだけに○をしてください。

1. 多少費用や手間がかかっても取り組みたい
2. 現在のごみ処理費より安く済むなどのメリットがあれば取り組みたい
3. 生ごみの減量化・リサイクルはできない

【結果】

○ 生ごみのリサイクルに対しては、「現在のごみ処理費より安く済むなどのメリットがあれば取り組みたい」とする事業所が56.3%を占めている。

	多少費用や手間がかかっても取り組みたい	現在のごみ処理費より安く済むなどのメリットがあれば取り組みたい	生ごみの減量化・リサイクルはできない	無回答	調査数
全体	113	458	125	117	813



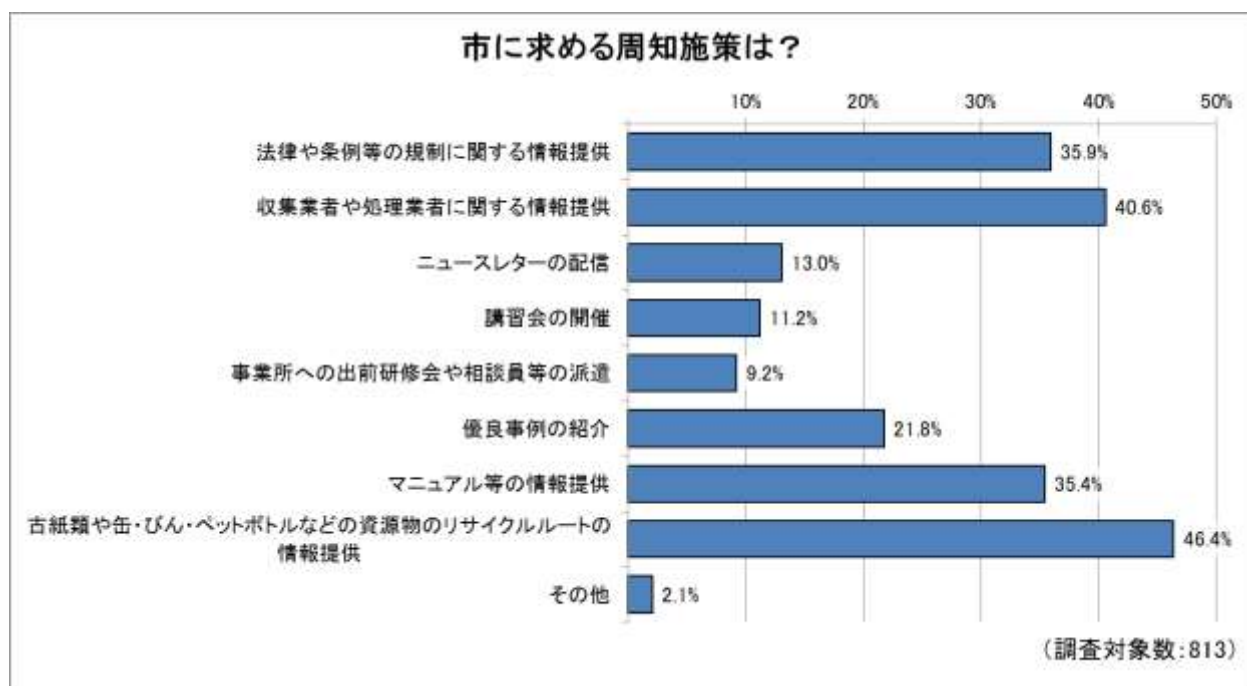
(４) 今後、事業系ごみ減量・リサイクルを促進するために、本市に求める周知施策はどのようなものですか。重要だと思うものすべてに○をしてください。

- a. 法律や条例等の規制に関する情報提供
- b. 収集業者や処理業者にに関する情報提供
- c. ニュースレターの配信
- d. 講習会の開催
- e. 事業所への出前研修会や相談員等の派遣
- f. 優良事例の紹介
- g. マニュアル等の情報提供
- h. 古紙類や缶・びん・ペットボトルなどの資源物のリサイクルルートの情報提供
- i. その他（具体的に： ）

【結果】

○ 市に求める周知施策は、「資源物のリサイクルルートの情報提供」を求める事業所が46.4%と最も多く、次いで「収集業者や処理業者に関する情報提供」(40.6%)、「法律や条令等の規制に関する情報提供」(35.9%)となっている。

法律や条例等の規制に関する 情報提供	収集業者や処理業者に関する 情報提供	ニュースレターの 配信	講習会の 開催	事業所への 出前研修会 や相談員等 の派遣	優良事例の 紹介	マニュアル等 の情報提供	古紙類や缶・びん・ペットボトルなどの資源物のリサイクルの 情報提供	その他	無回答	合計 回答数	調査 対象数
292	330	106	91	75	177	288	377	17	89	1842	813



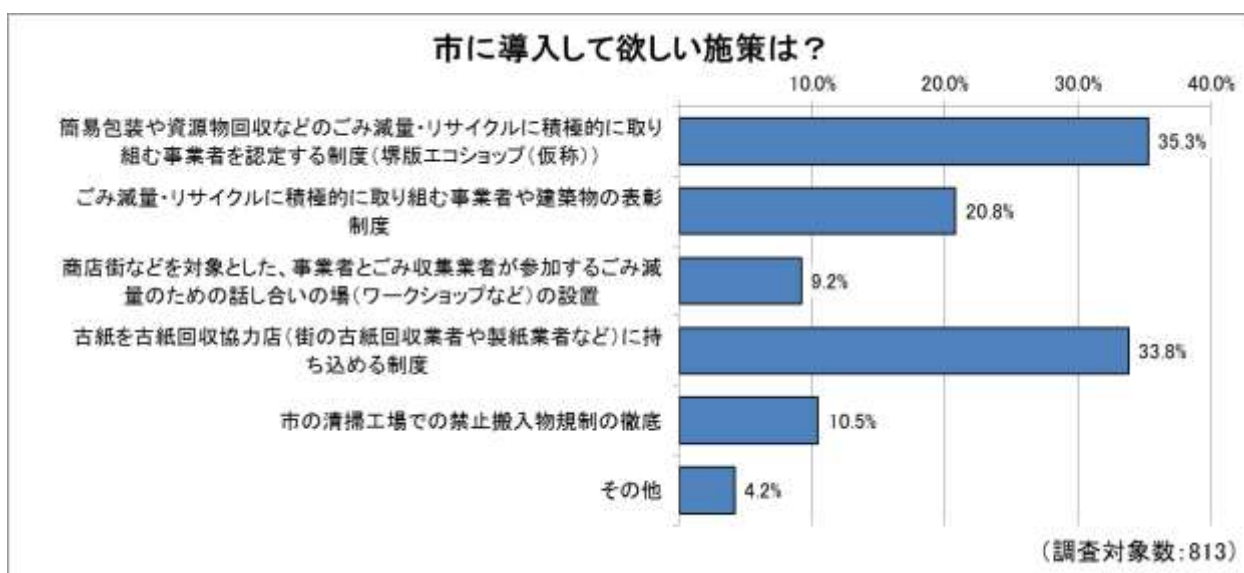
(5) その他、ごみ減量・リサイクルのために導入してほしいと思う施策(制度) すべてに〇をしてください。

- a. 簡易包装や資源物回収などのごみ減量・リサイクルに積極的に取り組む事業者を認定する制度(堺版エコショップ(仮称))
- b. ごみ減量・リサイクルに積極的に取り組む事業者や建築物の表彰制度
- c. 商店街などを対象とした、事業者とごみ収集業者が参加するごみ減量のための話し合いの場(ワークショップなど)の設置
- d. 古紙を古紙回収協力店(街の古紙回収業者や製紙業者など)に持ち込める制度
- e. 市の清掃工場での禁止搬入物規制の徹底
- f. その他(具体的に:)

【結果】

○ 市に導入して欲しい施策は、「堺市版エコショップ制度」(35.3%)、「古紙回収協力店に古紙を持ち込める制度」(33.8%)となっている。

簡易包装や資源物回収などのごみ減量・リサイクルに積極的に取り組む事業者を認定する制度(堺版エコショップ(仮称))	ごみ減量・リサイクルに積極的に取り組む事業者や建築物の表彰制度	商店街などを対象とした、事業者とごみ収集業者が参加するごみ減量のための話し合いの場(ワークショップなど)の設置	古紙を古紙回収協力店(街の古紙回収業者や製紙業者など)に持ち込める制度	市の清掃工場での禁止搬入物規制の徹底	その他	無回答	合計回答数	調査対象数
287	169	75	275	85	34	174	1099	813



(6) その他、今後のごみ行政に求めることがありましたらご記入ください。

--

【結果】

- ごみの減量に対して、より意識的に取り組めるようにわかりやすい働きかけをしてほしい。
- 分別に関する詳しい資料が欲しい。業種により出るゴミの種類が違う。
- もっと細かい分別を規定してもよいと思う。
- 分別、リサイクルによりどのように活用されたか分かるとより協力する。 など

